ŝtup / 段 /  
　・本来は階段の「段」や物事の「段落」などを表す漢字。  
　・日本語では「段」を「階段の段」「段取り」のように“ステップ”としても連想しやすく、中国語でも「段」は区切り・ランク等を表し、「階段の段を数える」用法も一応可能。  
　・学習コスト: 単独1文字で済むうえ、すでに他の語根(段階など)とも関連付けられそうなので使い回しやすい。

1. stadi / 阶段 /  
   　・中国語で「阶段」は「段階・ステージ」を意味し、エスペラント語根「stadi」の「段階・時期」というニュアンスに対応。  
   　・日本語でも「段階」の簡体字形だと捉えれば意味を推測しやすい。  
   　・学習コスト: 「段」はすでに(1)で登場済み。新たに「阶(=階)」を導入するが、画数は少なめ。
2. grad / 度 /  
   　・「程度」「角度」「温度」など、日中で「度」は“degree”として広く用いられる。  
   　・「grad」の「degree(段階/程度)」に比較的対応しやすい。  
   　・学習コスト: 1文字で汎用性も高い。
3. rang / 级 /  
   　・「级(=級)」は「等级(＝等級)」「级别(＝級別)」など“ランク・グレード”の意味で広く使われる。  
   　・日本語の「級」の簡体字形なので意味推定もしやすい。  
   　・学習コスト: 画数が少なく、再利用もしやすい。
4. polic / 警 /  
   　・「警察」を簡略化し1文字に。「警」は単体だと「警告・警備」の意味合いだが、中国・日本いずれも制服などで「警」の字が使われる場合があり、“警察”を直感しやすい面も。  
   　・学習コスト: 1文字だが画数は多め(※ただし「公安」「警察」など2文字以上を使うより、文字種類の増加を抑えやすい利点もある)。
5. ministeri / 部 /  
   　・中国語で「外交部・国防部・教育部」のように「○○部」が“省(日本)や大臣が管轄する省庁”に相当する。  
   　・日本語でも「部」は“部署”“学部”などで“部局”を連想しやすく、やや広義だが省庁のイメージにも近づける。  
   　・学習コスト: 既に広く使われる字であり、再利用もしやすい。
6. departement / 部 /  
   　・上記(6)と同じ漢字を使い回し。「ministeri」＝(大)省庁の感覚、「departement」＝部局/下位組織…など、運用時には上付き文字等で区別をつける想定。  
   　・学習コスト: 新規漢字を増やさずに済む。
7. kontor / 局 /  
   　・中国語では「办事处(事務所)」「办公室(オフィス)」が一般的だが、一文字では「局」が「事務所・官公庁の局・部署」等を広くカバー。  
   　・日本語でも「放送局」「郵便局」「○○局」という用法があり、“オフィス・事務局”のイメージと結びつきやすい。  
   　・学習コスト: 1文字で比較的汎用性がある。
8. kabinet / 内阁 /  
   　・中国語で「内阁」は“政府の内閣”。日本語の「内閣(ないかく)」の簡体字形としても推測可能。  
   　・学習コスト: 2文字。すでに「内」は比較的画数少なめ(4画)、「阁」は8画でやや多いが妥当。
9. kancelari / 官房 /  
   　・日本語で「内閣官房」のイメージ。“chancellery(官房/首相府)”に近い。  
   　・中国語では「官房」は日常的にはあまり使わないが、“官(官職)の部屋(房)”と理解でき、大きく外れた意味にはならない。  
   　・学習コスト: 2文字とも比較的ポピュラー。
10. kvartal / 区 /  
    　・「区」は中国語で“行政区・市区・地域”などを指すほか、日本語でも“〜区(く)”と市区町村の区を連想しやすい。  
    　・「kvartal」は「街区」「区画」「(市内の)地区」的な意味なので、単独「区」で対応可能。  
    　・学習コスト: 1文字、画数も少ない。
11. distrikt / 地区 /  
    　・「kvartal」が「区」なら、より広域な「distrikt」は「地区」で差別化。  
    　・すでに「区」は(11)で登場しているので流用。「地」は新出だが常用漢字。  
    　・学習コスト: 2文字だが意味の明確化を優先。
12. kanton / 郡 /  
    　・「フランスの郡」等、比較的“郡(canton)”に近いイメージ。  
    　・中国語で「郡」は古風だが“県より上/下”などの行政区画というニュアンスで通じなくもない。日本語ではそのまま“郡”の簡体字も同形。  
    　・学習コスト: 1文字、やや古めだが他に候補少。
13. provinc / 省 /  
    　・中国語で「省」は“province”そのもの。日本語でも「○○省(しょう)」が“地方区分(例:山口県はかつて長門国…など)”、または“省庁”を連想するが“州”よりはまだ“省=province”に近い。  
    　・学習コスト: 1文字、画数9。
14. guberni / 县 /  
    　・“県”の簡体字「县」。ロシアのгубернияなど地方行政区に由来するが、辞書には「県」としてあるので対応。  
    　・日本語話者は「县」が「県」の略字と理解でき、中国語では“县”が現行の“県”レベル区画。  
    　・学習コスト: 1文字。
15. sekci / 部 /  
    　・「部」は“部署・章・部分”を表す場合もあり、“section”として流用可能。  
    　・(6)や(7)と同じ字を使い回す。  
    　・学習コスト: 新規漢字不要。
16. fili / 支部 /  
    　・「支部」は“branch(支店・支局)”。「支」＋すでに出た「部」。  
    　・単独「支」だと“支える、枝分かれ”のイメージに留まるので、「支部」のほうが日本語でも中国語でも“支所”を連想しやすい。  
    　・学習コスト: 「支」は初出だが画数少なめ(4画)。
17. parti / 党 /  
    　・政治的な“党”を直接表す1文字。  
    　・日本語/中国語とも「政党」「共产党」「民主党」などで馴染みが深い。  
    　・学習コスト: 1文字で分かりやすい。
18. trup / 团 /  
    　・“troupe(劇団、集団)、troop(軍隊)”の意を合わせ、簡体字「团(=團)」を使用。  
    　・日本語の「団」に対応し、中国語の“团队(チーム・集団)”“军团(軍団)”なども連想しやすい。  
    　・学習コスト: 1文字、6画。
19. rot / 连 /  
    　・軍隊の編制用語として中国語では「连(連)」が“company(中隊)”に相当。  
    　・日本語だと直接は馴染み薄いが「連隊(れんたい)」などの“連”を想起できる。  
    　・学習コスト: 1文字、7画。
20. taĉment / 队 /  
    　・「隊(队)」は“チーム・分隊・部隊”を表す漢字。  
    　・(19)「团」と合わせて、軍/劇団など“集団”系統での使い分けも可能。  
    　・学習コスト: 1文字、4画と少ない。
21. karusel / 转马 /  
    　・標準中国語で「旋转木马」が回転木馬。ここでは簡略化し「转(=轉)＋马(=馬)」で「回る馬」の意を直感的に示す。  
    　・正式な単語ではないが、字面で“回転する馬＝メリーゴーラウンド”と推測はしやすい。  
    　・学習コスト: 2文字(うち「马」は後述でも再利用)。
22. kabriolet / 马车 /  
    　・本来は“幌付き・幌なし”など形態差があるが、簡単に「馬車」として割り当て。  
    　・「车(=車)」と「马(=馬)」で“horse carriage”を連想可能。  
    　・学習コスト: 2文字、それぞれ画数少なめ。
23. velociped / 单车 /  
    　・初期型自転車を示すが、現代中国語で“自転車”の一種表現「单车(単車)」。  
    　・日本語では「単車＝バイク」の印象もあるが、ここでは“人力車(自転車)”という解釈で流用。  
    　・学習コスト: 2文字(「单」は初出だが8画、「车」は再利用)。
24. bicikl / 单车 /  
    　・(24)と同様に「単車」で統一。用途や細かい違いは上付き文字等で区別想定。  
    　・学習コスト: (24)と同じ2文字、追加負担なし。
25. tandem / 双车 /  
    　・タンデム(馬車・自転車)を「二人乗り・二頭立て」的にシンプル化。「双(=雙)＋车(=車)」。  
    　・正確には“縦並び”を強調する語感はやや薄いが、「二人乗りの車両」として連想は可能。  
    　・学習コスト: 「双」は4画、「车」は既出。
26. fiakr / 马车 /  
    　・(23)「kabriolet」と同様に“馬車”で包括。厳密には「辻馬車(=タクシー馬車)」のニュアンスがあるが、細かい区別は上付き文字などで対応。  
    　・学習コスト: すでに(23)と同じく「马车」で新規なし。

kaleŝ

swift

Copy

kaleŝ/马车/「馬が牽引する車」を直接表す常用表現/「马」と「车」はいずれも頻出・基本字で学習コストが低い

* 「馬車」を意味する非常に一般的な2文字熟語。「马」(馬)と「车」(車)は両方とも基本的な漢字。

1. kariol

swift

Copy

kariol/轻马车/軽くて小型の馬車であることを表しやすい/既出の「马车」に「轻」を加えるだけで表現可能

* 二輪軽馬車を直接表す定訳は少ないため、「轻(軽)＋马车(馬車)」で「軽馬車」のニュアンスを示す。

1. vagon

swift

Copy

vagon/车厢/鉄道車両の主要部位である「車両」を表す常用語/「车」は既出で、「厢」も比較的よく使われる

* 「车厢」は列車の客車・貨車区画を指す標準的表現。

1. kamion

swift

Copy

kamion/卡车/トラックを表す最も一般的な簡体字表現/「卡」は画数が少なく、「车」と合わせ頻用される

1. lokomotiv

swift

Copy

lokomotiv/机车/機関車を指す簡体字の代表例/「机」は基本字、「车」との組合せも多用され学習コストが低い

* 「火车头」もあるが、より簡潔な「机车」を採用。

1. trajn

swift

Copy

trajn/火车/列車を指す最も一般的表現/「火」「车」いずれも頻出字で比較的学習が容易

* 「列车」も用いられるが、画数の少ない「火车」を優先。

1. tram

swift

Copy

tram/电车/市街電車(路面電車)を表す簡体字の定番/「电」「车」はすでに繰り返し登場しており学習コスト低

* 厳密には「有轨电车」だが、短縮形「电车」でも通じる。

1. ĉar/um##

bash

Copy

ĉar/um##/独轮车/手押し車(一輪車)として標準的/「轮」も今後「轮胎」などで再利用できるため望ましい

* 独輪の手押し車を指す常用語。

1. aŭtobus

css

Copy

aŭtobus/公交车/バスを表す簡体字で比較的短い表現/「公」「交」「车」はいずれも常用字

* 「公共汽车」も一般的だが、4文字より「公交车」の方が少し短い。

1. aŭt

css

Copy

aŭt/汽车/自動車を示す簡体字の最も代表的表現/「汽」「车」はいずれも基礎字で再利用性が高い

1. aŭtomobil

css

Copy

aŭtomobil/汽车/自動車を示す語としてaŭtと同義なので同じく「汽车」/学習コストを増やさないためにも使い回し

* aŭt と同義のため、重複割当で問題なし。

1. pneŭmatik

swift

Copy

pneŭmatik/轮胎/タイヤを指す標準表現/「轮」と「胎」は常用字で機械・車両関連で再出可能性あり

1. pedal

swift

Copy

pedal/踏板/ペダルとして一般的表現/足で踏む「踏」と板状の「板」で構成され理解しやすい

1. pivot

swift

Copy

pivot/枢轴/機械的な回転軸(ピボット)を指す技術用語/「枢」「轴」はやや専門だが他の軸系用語にも再利用可

* 「枢」は少し画数があるが、回転軸・中枢を表す際に広く使われる。

1. lift

swift

Copy

lift/电梯/エレベーターの最も一般的な簡体字/「电」「梯」は頻用される組合せで認知度が高い

1. traktor

swift

Copy

traktor/拖拉机/トラクターを指す標準用語/「拖」「拉」「机」いずれも高頻度字で機械類によく使われる

1. konduktor

swift

Copy

konduktor/列车员/車掌や列車係員を表す一般的呼称/「列」「车」「员」はいずれも高頻度字

* 車掌に該当する語として「列车员」や「乘务员」がよく使われる。

1. ŝofor

swift

Copy

ŝofor/司机/運転手を意味する簡体字/「司」「机」ともに既出または比較的基礎的で理解しやすい

1. pasaĝer

swift

Copy

pasaĝer/乘客/乗客・旅客を意味する代表的表現/「乘」「客」は旅行・運輸分野で頻出

1. kamp

swift

Copy

kamp/田野/野原・畑など広い野外を表しやすい/「田」「野」は基礎概念で今後他の語にも再利用可能

1. bivak

swift

Copy

bivak/露营/野営・キャンプを表す簡体字/「露」と「营」は旅行や屋外活動で比較的使用頻度あり

* 「野营」も可だが「露营」が広く使われる。

1. dezert

swift

Copy

dezert/沙漠/砂漠を意味する標準的熟語/「沙」「漠」はいずれも比較的基本的な地理用語

1. val

kotlin

Copy

val/谷/山間の谷を意味する単字/「谷」は穀物の意味もあるが山間の地形を表す用法も一般的

* 厳密には「山谷」だが、一文字で「谷」としても通用。

1. marĉ

swift

Copy

marĉ/沼泽/沼・湿地を表す代表的簡体字表現/「沼」「泽」は水辺や地形分野で使用頻度あり

1. bran

swift

Copy

bran/麸皮/ふすま(小麦などの外皮)を指す一般的表現/「麸」もやや画数多いが穀物関連で認知度あり

* 「麸子」「麸皮」などと呼ばれるが「麸皮」がよりポピュラー。

1. stopl

swift

Copy

stopl/茬/刈り株・刈りあとを指す単字表現/「茬」は農業や日常表現でも比較的用いられる

1. ŝpat

swift

Copy

ŝpat/犁/農具の「すき」(plow)として最も一般的/一文字で済み画数も少なめで使いやすい

* 英訳「spade」になっているが、日本語の「すき」は通常「plow」を意味するので「犁」を採用。

pajl / 麦秸 /

* + 選定理由: 「麦秸(màijiē)」は中国語で「小麦など穀類の茎の部分＝ストロー（麦わら）」を指す表現の一つ。日本語でも「麦」と「秸(茎)」で「麦わら」を連想しやすい。
  + 学習コスト: 「麦」は小麦(tritik)で既出予定、「秸」はやや画数多めだが、ストロー表現として短く収まる熟語。

1. herb / 草 /
   * 選定理由: 「草」は「草・草本」の意で、中国語・日本語ともに“植物・草”の基本字として直観しやすい。
   * 学習コスト: 画数は9画で比較的シンプル。今後、他の複合(除草など)でも「草」を再利用する見込みが高い。
2. fojn / 干草 /
   * 選定理由: 「干草(gāncǎo)」は「乾燥した草＝干し草(hay)」。日本語でも「干(乾)」「草」で意味が推測しやすい。
   * 学習コスト: 「草」は既出、「干」(4画)も非常によく使われる簡体字で重複利用しやすい。
3. sterk / 肥料 /
   * 選定理由: 「肥料(féiliào)」は最も一般的な「肥やし・肥料」の中国語表現。
   * 学習コスト: 「肥(8画)」「料(10画)」はいずれも高頻度字。「料」は他の語根(furaĝなど)でも流用可能。
4. furaĝ / 草料 /
   * 選定理由: 「草料(cǎoliào)」は「家畜の飼料（まぐさ・飼葉）」を指す表現の一つ。日本語でも「草＋料」で直感的に「草の飼料」と理解しやすい。
   * 学習コスト: 「草」は既出・「料」もsterkの「肥料」で既出予定。画数・字種の追加が抑えられる。
5. erp / 耙 /
   * 選定理由: 「耙(pá)」は「まぐわ・くまで・ハロー(harrow)」の意。耕地をならす道具として適切。
   * 学習コスト: 一文字で的確に表せるが、日本語ではそれほど馴染みはない字。ただし画数10程度で極端に難しくはない。
6. plug / 犁 /
   * 選定理由: 「犁(lí)」は「犂(すき)・犂く(たがやす)」を意味し、英語の“plow”にあたる最も直接的な単字。
   * 学習コスト: 画数は10画だが、農耕関連ではよく使われる字の一つ。
7. sark / 除草 /
   * 選定理由: 「除草(chúchǎo)」は「草を除く」＝「除草・草取り」。動詞フレーズとしても通用する。
   * 学習コスト: 「草」は既出、「除」は高頻度漢字(10画)で「取り除く」意味。分かりやすく再利用しやすい。
8. riz / 米 /
   * 選定理由: 「米(mǐ)」は「米・ごはん」の最も基本的な単字。「米国(アメリカ)」など慣用表現もあり、日本語圏からも馴染みやすい。
   * 学習コスト: 6画で比較的シンプル。世界的にも「米」は有名な漢字の一つ。
9. tritik / 麦 /

* 選定理由: 「麦(mài)」は「小麦・大麦」など穀類全般を指す代表的な字。ここでは特に「小麦」の含意で使用。
* 学習コスト: 7画と比較的シンプル。pajl(麦秸)などと関連づけられる。

1. sekal / 黑麦 /

* 選定理由: 「黑麦(hēimài)」は「ライ麦(rye)」を指す一般的な言い方。“黒い麦”の字面で日本語話者にもわかりやすい。
* 学習コスト: 「麦」は既出、「黑」は12画だが「黒」と同源でイメージしやすい。

1. gri / 粗粮 /

* 選定理由: 「粗粮(cūliáng)」は「粗い穀物・未精製の穀類(雑穀・挽き割り穀など)」の意味。gritsや粗挽き系の穀物をイメージしやすい。
* 学習コスト: 「粗(11画)」「粮(9画)」。やや画数は多いが、いずれも高頻度語彙。

1. gren / 谷 /

* 選定理由: 「谷(gǔ)」は中国語で「谷物」を指すほか、「谷＝穀」として日本語でも穀物を連想しやすい。
* 学習コスト: 7画と比較的シンプル。意味が「谷」「穀」で直感的。

1. grajn / 粒 /

* 選定理由: 「粒(lì)」は「粒・小さいつぶ(種子や粒)」の意。穀粒やあらゆる小粒を指す一字。
* 学習コスト: 11画だが単字で完結し、使用頻度も高い。

1. agronom / 农学家 /

* 選定理由: 「农学家(nóngxuéjiā)」は「農学者(agronomist)」を表す最もストレートな組み合わせ。
* 学習コスト: 「农(6画)」「学(8画)」「家(10画)」はいずれも常用字で、派生表現も多い。

1. agronomi / 农学 /

* 選定理由: 「农学(nóngxué)」は「農学・農業科学(agronomy)」。
* 学習コスト: 上記(15)の前半2字をそのまま再利用し、一貫性をもたせる。

1. vegetar / 素食 /

* 選定理由: 「素食(sùshí)」は「ベジタリアン(菜食)・精進料理」の意。日本語でも「素食」という表現は通じやすい。
* 学習コスト: 「素(10画)」「食(9画)」はいずれも高頻度字。「食」は多方面で再利用可能。

1. legom / 菜 /

* 選定理由: 「菜(cài)」は「野菜・料理」の意。中国語で「蔬菜(shūcài)」と言うことも多いが、単字「菜」でも「野菜」を連想しやすい。
* 学習コスト: 11画とやや多いが、非常に頻繁に使われる字。

1. burĝ / 中产 /

* 選定理由: 「中产(zhōngchǎn)」は「中産階級・ブルジョワ的層」のニュアンスで使われる表現。
* 学習コスト: 「中」は2画、「产」は6画でシンプル。意味も分かりやすい。

1. hebre / 希伯来 /

* 選定理由: 「希伯来(xībólái)」は「ヘブライ」の定訳(ヘブライ語・ヘブライ人)。
* 学習コスト: 3字構成だが、ヘブライを指す代表的表記。日本語話者も「希(望)」「伯(～はく)」「来(くる)」で類推しやすい。

1. humil / 谦 /

* 選定理由: 「谦(qiān)」は「謙虚・へりくだった」状態を意味する代表的な字。「谦卑」「谦虚」など派生も多い。
* 学習コスト: 10画ながら「谦虚」などでよく目にする要素。後続のmodest等で再利用予定。

1. modest / 谦虚 /

* 選定理由: 「谦虚(qiānxū)」は「控えめ・謙虚」の意味で最もポピュラーな二字熟語。
* 学習コスト: 「谦」は上記(humil)と共通、「虚」(11画)も比較的よく見る字。重複利用で理解を深めやすい。

1. naiv / 天真 /

* 選定理由: 「天真(tiānzhēn)」は「無邪気・純真・ナイーブ」の意を最も表す二字熟語。
* 学習コスト: 「天(4画)」「真(10画)」ともに日常的で覚えやすい。

1. trivial / 俗 /

* 選定理由: 「俗(sú)」は「俗っぽい・通俗・卑近・ありふれている」など、「低俗」「庶民的・平凡」というニュアンスを広く包含する。
* 学習コスト: 9画で一字完結。「庸俗」「俗气」など派生語も多い。

1. arogant / 傲 /

* 選定理由: 「傲(ào)」は「傲慢」「骄傲」など“高慢・横柄”を表す漢字。「傲慢(àomàn)」の省略形としても認知されやすい。
* 学習コスト: 12画だが、「人偏+敖」で構成が分かりやすい。

1. neŭtr / 中性 /

* 選定理由: 「中性(zhōngxìng)」は「中性・中間的・ニュートラル(文法・化学などで“中性”を示す)」。
* 学習コスト: 「中(4画)」「性(8画)」はどちらも常用字で、他分野にも転用可能。

1. neŭtral / 中立 /

* 選定理由: 「中立(zhōnglì)」は「中立・いずれの側にも属さない状態」の最も基本的な表現。
* 学習コスト: 「中」は既出、「立(5画)」も基本字で、「站立(立つ)」などとも関連付けやすい。

kripl / 残 /  
選定理由: 「残」単体には「残す・残り」という意味だけでなく「残疾(障がい)」「残廃」など「肢体不自由」を連想させる用法もあり、エスペラント語の“cripple(不具)”を大まかに表せます。日本語でも「残酷」「残念」「残存」などで使われ馴染みがあります。  
学習コスト: 画数はやや多め(9画)ですが、非常に頻出のため学習コストは比較的低いと考えられます。後続の「invalid(残疾)」との組み合わせにも役立ちます。

1. invalid / 残疾 /  
   選定理由: 中国語において「残疾(障がい・身体不自由)」は「disabled person」に相当する定訳です。「残」を再利用しつつ、新たに「疾」(病気・疾患のイメージ)を加えることで「廃疾者」の意味が明確になります。  
   学習コスト: すでに「残」を使っているので新出は「疾」のみ。どちらも日中で比較的よく見かける漢字です。
2. blind / 盲 /  
   選定理由: 「盲」は「盲目」「失明」を表す最も直接的な単字。日本語でも「盲点」「盲腸」などで使われます。  
   学習コスト: 画数(8画)はそこまで多くなく、意味がはっきりしているため学習しやすいです。
3. surd / 聋 /  
   選定理由: 簡体字の「聋」は日本語の「聾」に相当し、「耳が聞こえない(聴覚障がい)」の意味を端的に示します。  
   学習コスト: 日本語の旧字形「聾」と比べ画数が減っており、中国人にはもちろん、日本人にも類推しやすい漢字です。
4. mut / 哑 /  
   選定理由: 簡体字の「哑」は日本語の「唖」にあたります。発話障がい・口がきけない状態を示す漢字として適切です。  
   学習コスト: 「口」偏を含む分かりやすい構造で、意味の連想も容易です。
5. nud / 裸 /  
   選定理由: 「裸」は「裸体」「裸体」など「裸の状態」を直接意味する単字。日本語でも「裸」で通じます。  
   学習コスト: 画数はやや多め(13画)ですが、他に適切な単字が少ないため、シンプルに「裸」を採用しました。
6. barbar / 蛮 /  
   選定理由: 簡体字の「蛮」は日本語の「蛮」(旧字「蠻」)に相当し、「野蛮」「蛮族」など未開・粗野なイメージを明確に示します。  
   学習コスト: 画数(12画)は中程度ですが、中国語・日本語いずれでも「野蛮」「蛮族」などで比較的認知されています。
7. sortiment / 品种 /  
   選定理由: 「品种」は「品物の種類」「品種・種類」を指す日中で共通した熟語。商業における「取り揃え(アソート)」というニュアンスを表せます。  
   学習コスト: 「品」は画数(9画)、「种」は(9画)ですが、どちらも高頻度の常用字で構成されており、学習しやすいです。
8. ekzempl / 例 /  
   選定理由: 「例」は「事例」「例示」など「例」を示す最も代表的な一文字。日本語でも「例えば」という意味合いがすぐに連想できます。  
   学習コスト: 単字かつ画数(8画)も比較的少ないため取り入れやすいです。
9. specimen / 样本 /  
   選定理由: 中国語で「样本」は「サンプル・標本」に相当する最も一般的な表現。「样」単独でも「型・様式・種類」の意味を持ちますが、「本」を付けることで「サンプル・標本」の意味が明確になります。  
   学習コスト: 「本」は超高頻度字、「样」は初出ですが「木＋羊」で構造が分かりやすく、日本人にも「様」の簡体字としてある程度連想可能です。
10. model / 型 /  
    選定理由: 中国語では「类型」「模型」などに含まれる「型」は「モデル・タイプ・かた」を示す単字。エスペラントの“model”を手短かに表現可能です。  
    学習コスト: 画数(9画)で常用漢字。日本語の「型」と同じ形なので認識しやすいです。
11. prototip / 原型 /  
    選定理由: 「原型」は「prototype」「原形」「元のかたち」を意味し、中国語・日本語ともに「原型」で通じる表現です。「型」を再利用し、そこに「原(もと)」を組み合わせることで「原型」のニュアンスが正確に伝わります。  
    学習コスト: 既出の「型」と新出の「原」を組み合わせるのみで、どちらも日常的な常用漢字です。
12. konspir / 谋 /
13. intrig / 谋 /
14. komplot / 谋 /  
    選定理由: いずれも「陰謀を企てる」「画策する」といった意味の近い語根のため、中国語の「谋(謀)」一字で統一しました。単独で「謀る」「企む」という意味をカバーできます。  
    学習コスト: 1文字で複数の語根をまとめるため学習負担を軽減。「谋」はやや画数(11画)がありますが、陰謀・策略を示す最も代表的な漢字の一つです。
15. program / 程序 /  
    選定理由: 中国語で「程序」は「プログラム」「手順」「プロシージャ」を表す標準的な表現です。計算機プログラム・政治的プログラム(議事進行)など広い意味に対応可能。  
    学習コスト: 「程」は「工程」「程度」で頻出、「序」は「顺序」「秩序」等でもよく使うため、いずれも学習価値が高い常用字です。
16. plan / 计划 /  
    選定理由: 中国語で「计划」は「計画」を意味する最も一般的な単語。「プランを立てる」というニュアンスに非常に近いです。  
    学習コスト: 「计(計)」は4画で常用、「划(劃)」は6画で比較的簡単。両字とも日本語でも意味を推測しやすいです。
17. projekt / 方案 /  
    選定理由: 「方案」は「企画書」「プロジェクト案」「提案」を示す際に中国語で広く使われます。「方」は「方向」等で日中共に基本的、「案」も「提案」「法案」「考案」などでよく使われるため、企画の意味を示すのに適当です。  
    学習コスト: 2文字とも常用度が高く、画数も中程度(方4画＋案10画=14画)。日本語でも認識しやすい組合せです。
18. manifestaci / 示威 /  
    選定理由: 政治的なデモ行進や示威行為を表す際、中国語で「示威(デモをする)」が最も直接的な熟語。「威」は「威力」「威嚇」などの威、そこに「示(しめす)」が組み合わさり「威力を示す」=「デモ」を端的に示します。  
    学習コスト: 「示」(5画)と「威」(9画)はいずれも常見字。政治的なデモのニュアンスを一挙に示せるため効率的です。
19. spektakl / 演出 /  
    選定理由: 中国語で「演出」は「舞台公演」「ショー」「見せ物」を表す標準的な言い方。スペクタクル性のある「見せ物」に近い語感です。  
    学習コスト: 「演」(14画)は水偏で構造が分かりやすく、「出」はすでに他で再利用。組み合わせとしても日常的に出現頻度が高い熟語です。
20. ekspozici / 展览 /  
    選定理由: 「展览」は「展示会」「展覧会」を意味する最も典型的な表現。博覧会や各種展示イベントなど「エキスポ」のニュアンスに近いです。  
    学習コスト: 「展」(10画)と「览」(9画)でやや画数はあるものの、中国語では非常に頻出。日本語の「展覧会」ともほぼ同じ構造で意味を推測しやすいです。
21. aper / 出现 /  
    選定理由: 中国語で「出现」は「現れる」「出現する」という最も標準的な表現。すでに「出」は「演出」で登場、そこに「现(現)」を足して「出現」の意味を明快にします。  
    学習コスト: 「现」は(8画)で比較的覚えやすく、「出」は既出文字の再利用です。
22. prezent / 呈 /  
    選定理由: 「呈」は「差し出す・捧げる・提出する」を表す単字で、「贈呈」「進呈」「呈示」などの用例からも分かるように「(相手に)差し出す」ニュアンスを持ちます。  
    学習コスト: 7画で比較的覚えやすく、公的な場面などでよく登場するため日中ともにイメージがつきやすい漢字です。
23. afekt / 假 /  
    選定理由: 「假」には「偽る」「仮の」「ごまかす」という意味があり、「假装」(装う/見せかける)といった用法からエスペラント語の“見せかける・装う”に対応します。  
    学習コスト: 11画ですが「人偏＋叚」で構造が理解しやすく、日本語の「仮」「假」との対応関係も比較的分かりやすいです。
24. gest / 手势 /  
    選定理由: 中国語で「手势」は「ジェスチャー」「手振り」を意味する最も直接的な言い方。  
    学習コスト: 「手」(4画)は最頻出漢字の一つ、「势」(8画)は「威勢」「形勢」などにも登場し、前項「示威」の「威」と同じ力偏を含む仲間として覚えやすいです。
25. poz / 姿势 /  
    選定理由: 「姿势」は「ポーズ」「姿勢」を意味する定番の組み合わせ。「姿」だけでも姿・格好を示し、「势」は上記「手势」と同じで「様子・勢い」を伴うイメージ。  
    学習コスト: 「势」は使い回し、新出は「姿」(9画)のみ。日本語の「姿」とほぼ同形なので意味を取りやすいです。
26. kondut / 行为 /  
    選定理由: 中国語で「行为」は「ふるまい」「行動」「挙動」を指すもっとも一般的な語。「举止」もありますが、より簡易かつ使用頻度の高い「行为」を採用。  
    学習コスト: 「行」(6画)「为」(4画)はいずれも非常に基本的で、意味も直感しやすいため学習しやすいです。

### 1) sin/ten##

提案: 态度  
選定理由:

* 「態度」の簡体字である「态度」は、中国語でも日本語でも“態度”の意味がわかりやすい。
* 一文字「态」だけでは単独の語としてはあまり使われないため、2文字熟語「态度」を採用。  
  学習コストに関する考察:
* 「态」は画数が8画、「度」は9画で合計17画だが、日本語の「態度」や中国語の「态度」と同じ形で意味も直感しやすい。

### 2) impres

提案: 印象  
選定理由:

* 「インプレッション＝印象」に対応する標準的な中国語が「印象」。
* 一文字だけでは「印」「象」いずれも本来の「印象」とはズレが生じるため、2文字熟語を採用。  
  学習コストに関する考察:
* 「印」(6画)と「象」(11画)で合計17画。どちらも比較的よく使われる字で、日本語圏・中国語圏ともに意味を連想しやすい。

### 3) efekt

提案: 作用  
選定理由:

* 「efekt」は「効果」「影響」「印象」などを含む広い意味だが、中国語で「効果・影響」を比較的広くカバーする語として「作用」がある。
* 「效果」や「影响」なども候補だが、総画数(および汎用性)を考えて「作用」を採用。  
  学習コストに関する考察:
* 「作」(7画)＋「用」(5画)で合計12画と比較的シンプル。どちらの字も頻度が高く汎用性がある。

### 4) emoci

提案: 感动  
選定理由:

* 「emoci」は「感動させる／感動する」「感情を揺さぶる」というニュアンスが強く、日本語で言う「感動」に近い。
* 中国語でも「感动」は「強い感情を動かされる」意味に当たり、対応しやすい。  
  学習コストに関する考察:
* 「感」(13画)＋「动」(6画)で合計19画。やや多めだが、「感」は「感觉」など他の派生語にも登場し得るため、一度学べば応用が利く。

### 5) sensaci

提案: 轰动  
選定理由:

* 「sensaci」は「センセーションを引き起こす」「世間をあっと驚かせる」イメージ。
* 中国語の「轰动」も「世間を騒がせる」「大きな反響を引き起こす」という意味合いで、“センセーション”をよく表す。  
  学習コストに関する考察:
* 「轰」(8画)＋「动」(6画)で計14画。日本人には見慣れない字かもしれないが、中国語ではよく使われる組み合わせ。

### 6) simpati

提案: 同情  
選定理由:

* 「simpati」は英語の “sympathy” に近く、「共感」「同情」「好感」等のニュアンスを含む。
* 中国語で「同情」は「相手の気持ちに寄り添う」「同情／シンパシーを寄せる」意味が強く、最も近い。  
  （※「好感」「同感」なども部分的には近いが、やや意味が狭くなる。）  
  学習コストに関する考察:
* 「同」(6画)＋「情」(11画)で計17画。どちらも頻出字。

### 7) sent

提案: 感觉  
選定理由:

* 「sent」は「(を)感じる／感情をもつ」といった“感じる”動詞。
* 中国語の「感觉」は「感じる」「感覚・感触」という動詞兼名詞だが、動詞として「～を感じる」意味が強い。  
  学習コストに関する考察:
* 「感」(13画)＋「觉」(9画)で22画とやや多いが、「感」は既出（感动など）で再利用可能、「觉」も他の語で使う可能性がある。

### 8) sens

提案: 知觉  
選定理由:

* 「sens」は「感覚」「知覚」としての名詞的な意味。
* 「感觉」も名詞で使えるが、「sent」と区別するために、名詞主体の「知觉」（知覚）を割り当て。  
  学習コストに関する考察:
* 「知」(8画)＋「觉」(9画)で計17画。「觉」は「感觉」と同じ字を再利用。

### 9) kandidat

提案: 候选人  
選定理由:

* 「kandidat」は「候補者」という明確な意味があるので、中国語の「候选人」が最も直接的。
* 2文字の「候选」でも“候補”の意味は伝わるが、人を表すなら「～人」をつける方が自然。  
  学習コストに関する考察:
* 「候」(10画)＋「选」(9画)＋「人」(2画)で合計21画。やや長いが意味がはっきり伝わる。

### 10) elekt

提案: 选  
選定理由:

* 「elekt」は「選ぶ／選挙する」などの意味。
* 中国語では「选」(単独で“選ぶ・選挙する”の動詞)として成立し、画数も少なく簡潔。  
  学習コストに関する考察:
* 「选」は9画で比較的少ない。これ1文字で「選ぶ」の意味をカバーでき、汎用性が高い。

### 11) balot

提案: 投票  
選定理由:

* 「balot」は「投票する」という動作を直接表す。
* 中国語でも「投票」は“投票する”動詞としても使われ、意味が完全に合致。  
  学習コストに関する考察:
* 「投」(7画)＋「票」(11画)で合計18画。どちらの字も比較的頻出。

### 12) pet

提案: 请求  
選定理由:

* 「pet」は「(を)頼む、求める」の意味合い。
* 中国語で「请求」は“お願い・要請する”の意味が強く、動詞として自然。  
  学習コストに関する考察:
* 「请」(10画)＋「求」(7画)で17画。「请」はほかにも「邀请」などで再使用。

### 13) postul

提案: 要求  
選定理由:

* 「postul」は「要求する」「必須条件として求める」。
* 中国語の「要求」はそのまま“要求”のニュアンスなので対応がわかりやすい。  
  学習コストに関する考察:
* 「要」(9画)＋「求」(7画)で16画。「求」は「请求」と共有できる。

### 14) demand

提案: 问  
選定理由:

* 「demand」は「(を)質問する」「尋ねる」に近い意味（英語での “to ask, to question”）。
* 簡体字「问」は“尋ねる・問う”の動詞として成立。最短で意味を表せる。  
  学習コストに関する考察:
* 「问」は6画とかなり少なく、頻用字で学習しやすい。

### 15) interpelaci

提案: 质询  
選定理由:

* 「interpelaci」は議会などで大臣に質問する「(公式に)質疑・質問する」イメージ。
* 中国語の「质询」は公式な場での“質疑・質問”を表し、議会でのやり取りにもよく使う。  
  学習コストに関する考察:
* 「质」(8画)＋「询」(5画)で13画。いずれも「询」は「咨询」にも出るなど、讠偏(言偏)のバリエーションを共有。

### 16) rekomend

提案: 推荐  
選定理由:

* 「rekomend」は「推薦する」。
* 中国語で「推荐」は“人や物を推薦する”意味をカバーし、最も直接的。  
  学習コストに関する考察:
* 「推」(11画)＋「荐」(8画)で19画。「荐」はやや画数が少なめで、推測しやすい偏旁構成。

### 17) propon

提案: 提议  
選定理由:

* 「propon」は「(を)提案する」「提言する」「申し出る」。
* 中国語には「提议」「建议」「提案」など類語があるが、動詞としての “提案する” にいちばん近いのは「提议」。  
  学習コストに関する考察:
* 「提」(12画)＋「议」(5画)で17画。「议」は言偏で画数が少なく他語との共有も多い。

### 18) konsil

提案: 劝告  
選定理由:

* 「konsil」は「助言する」「忠告する」といったニュアンス。
* 中国語の「劝告」は「相手に助言・忠告を与える」の意味で最も近い。  
  学習コストに関する考察:
* 「劝」(4画)＋「告」(7画)で合計11画。比較的シンプルで、双方が馴染みやすい。

### 19) konsult

提案: 咨询  
選定理由:

* 「konsult」は「相談する」「専門家の助言を求める」など。
* 中国語では「咨询」がまさに専門家へ“相談・問い合わせ”する場合によく使われる。  
  学習コストに関する考察:
* 「咨」(9画)＋「询」(5画)で14画。すでに言偏「询」は他でも使用しており再利用できる。

### 20) varb

提案: 招募  
選定理由:

* 「varb」は「(会員などを)募集する」「(兵を)募集する」など“リクルート”の意味。
* 中国語の「招聘」もあり得るが、会員・ボランティア募集など幅広くカバーできる「招募」を採用。  
  学習コストに関する考察:
* 「招」(8画)＋「募」(8画)で16画。いずれも比較的よく使われる字。

### 21) vok

提案: 叫  
選定理由:

* 「vok」は「(を)呼ぶ」「声をあげて呼ぶ」。
* 中国語で「叫」は“呼ぶ・叫ぶ”という動詞として成立し、単独でよく使う。  
  学習コストに関する考察:
* 「叫」は5画と少なく、日本語でも「叫ぶ」の字形に近いので覚えやすい。

### 22) invit

提案: 邀请  
選定理由:

* 「invit」は「(を)招待する」。
* 中国語では「邀请」が“人を招いて誘う”意味として定着しており、最も自然。  
  学習コストに関する考察:
* 「邀」(11画)＋「请」(10画)で21画。「请」は既出(请求など)なので一部再利用できる。

### 23) intervju

提案: 采访  
選定理由:

* 「intervju」は「インタビュー」。
* 中国語の「采访」は主に記者などが取材・インタビューする意味。就職面接の「面试」と区別するため、こちらを選定。  
  学習コストに関する考察:
* 「采」(7画)＋「访」(6画)で13画。言偏(讠)系ではないが「访」は比較的簡単で使用頻度もそこそこ。

### 24) preleg

提案: 演讲  
選定理由:

* 「preleg」は「(知識的な)講演をする」ニュアンス。
* 中国語では「演讲」が“演説・スピーチ・講演”を幅広くカバーし、動詞としても名詞としても用いられる。  
  学習コストに関する考察:
* 「演」(およそ13画)＋「讲」(5画)で計18画。どちらも比較的高頻度。

### 25) lekci

提案: 讲课  
選定理由:

* 「lekci」は「講義(をする)」、授業めいた“教える講義”に近い。
* 「讲课」は中国語で“講義／授業を行う”という意味に当たり、動詞表現として自然。  
  学習コストに関する考察:
* 「讲」(5画)＋「课」(10画)で計15画。すでに「讲」は「演讲」と同じ字を再利用。

### 26) dialog

提案: 对话  
選定理由:

* 「dialog」は「対話」「会話」。
* 中国語で「对话」は“対話をする”“対話”そのものを表す定番の用語。  
  学習コストに関する考察:
* 「对」(5画)＋「话」(8画)で計13画。言偏(讠)を含む「话」は他の語と関連付けやすい。

### 27) babil

提案: 聊天  
選定理由:

* 「babil」は「(くだけた)雑談、ぺちゃくちゃおしゃべり」のイメージ。
* 中国語で「聊天」は“雑談・気軽なおしゃべり”を広くカバーする。  
  学習コストに関する考察:
* 「聊」(9画)＋「天」(4画)の13画。現代中国語で日常的に使われるため、覚えやすい。

### **1) parol**

swift

Copy

parol/说/「話す・言う」の代表的な動詞。口頭発話をイメージしやすい/単漢字で日中ともに頻出、画数9

* 理由: 「说」は現代中国語で「言う・話す」の最も基本的な単語。日本語話者にも「説」(日本の常用漢字)との類推で意味を推測しやすい。
* 学習コスト: 単漢字であり頻度も高く、採用しやすい。

### 2) konversaci

swift

Copy

konversaci/谈/「会話する・話し合う」を表す常用動詞/単漢字で比較的頻出、画数10

* 理由: 「谈」は「谈话(会話)」「谈判(交渉)」など、対話・話し合いのニュアンスが強い。
* 学習コスト: 中国語では常用字、日本語話者も「談」の簡体形として推測可能。

### 3) polemik

swift

Copy

polemik/争论/「(誌上などでの)論争、激しい意見対立」を直接表す熟語/2文字熟語だが両字とも高頻度

* 理由: 「争论」は「論争・議論」を意味し、「polemik(論争)」にほぼ対応。単字では「争」「论」だけではやや意味が足りないため熟語に。
* 学習コスト: 「争」は「争う」、「论」は「論じる」という意味でどちらも頻出。後述の他語根でも再利用される見込み。

### 4) disput

swift

Copy

disput/争/「争う・論じ合う・もめる」など広く「争い」の意/単漢字で画数6

* 理由: 口論・紛争などの「争い全般」をシンプルに表せる。
* 学習コスト: 上述(争论)と同じ「争」を用いれば字形を使い回せる。

### 5) kverel

swift

Copy

kverel/吵/「口げんかする・口やかましく言い争う」の意/単漢字で画数6～7

* 理由: 「吵」は「口論する」「騒がしく言い争う」ニュアンス。kverel(くだらないケンカ～口争)に近い。
* 学習コスト: 日常語「吵架(口げんか)」で高頻度。見た目も比較的シンプル。

### 6) diskut

swift

Copy

diskut/讨论/「討論する」の標準表現/2文字熟語だが非常に一般的

* 理由: 「讨论」は「討論する」の意味で現代中国語の基本単語。
* 学習コスト: 「讨」「论」いずれも常用・高頻度。上記「论」は既出。

### 7) debat

swift

Copy

debat/辩论/「討議・討論」をさらに論戦的に行う意味合い/2文字熟語だが一般的

* 理由: 「辩论」は「弁論・議論する」ニュアンスが強く、「debat(ディベート)」に対応。
* 学習コスト: 「论」はすでに登場、「辩」も「弁論」の字形として日本語話者になじみやすい。

### 8) boks

swift

Copy

boks/拳击/ボクシングを指す標準語/2文字熟語

* 理由: 中国語で「拳击」はボクシングの定訳。「拳」(拳)＋「击」(打つ)で意味がわかりやすい。
* 学習コスト: いずれも常用字。動作系で再利用の可能性はある(「击」=「打つ」など)。

### 9) duel

swift

Copy

duel/决斗/「決闘」の定訳/2文字熟語

* 理由: 「决斗」は正式に「決闘する」意。1文字で「斗」は漠然と「戦う」なので、「决斗」で区別しやすい。
* 学習コスト: 「决」は「決める」「決断」の常用字、「斗」は後述でも使用し得る。

### 10) milit

swift

Copy

milit/战/「戦争する・戦う」の意/単漢字、画数9

* 理由: 「战争(戦争)」の「战」を流用。単独でも「戦う(作战)」の要素を表せる。
* 学習コスト: 中国語で頻出語「战争」「战斗」「战术」などに使われ、日本語話者にも「戦」の簡体字とわかりやすい。

### 11) batal

swift

Copy

batal/斗/「戦う・争う・闘う」の基本イメージ/単漢字、画数4で非常に少ない

* 理由: 「斗」は「戦う・闘う」を端的に表せる(例:「战斗」で「戦闘」)。
* 学習コスト: 画数がわずか4画と少なく、かつ「决斗」「战斗」など応用先多数。

### 12) lukt

swift

Copy

lukt/斗/「格闘する、もみ合う」の意も「斗」で使い回し/同字再利用

* 理由: 「搏斗(格闘する)」などで使う「斗」を再利用し、字形の学習コストを削減。
* 学習コスト: 既出の「斗」と同じため、新たな字形負担なし。

### 13) spur

swift

Copy

spur/迹/足跡・痕跡などの「跡」を表す代表字/単漢字、画数9

* 理由: 「足迹」「踪迹」などの「迹」は「足跡」「跡」「痕跡」の意味を持つ。
* 学習コスト: 中国語でもよく使われる字で、「迹」は日本語の「跡/迹」に近い。

### 14) labirint

swift

Copy

labirint/迷宫/「迷路・迷宮」の定訳/2文字熟語

* 理由: 現代中国語で「迷宫」は「迷路・ラビリンス」の最も一般的表現。
* 学習コスト: 「迷」は5画と少なめ、「宫」は「宮」の簡体形で日本人にも連想しやすい。

### 15) spron

swift

Copy

spron/马刺/乗馬用の拍車(スパー)を直接表す熟語/2文字熟語

* 理由: 「马刺」は文字通り「馬 + 刺(突き具)」で「拍車」を指す。単字「策」等はやや古風・用途多義。
* 学習コスト: 「马」は画数3と非常に少なく、「刺」(8画)も比較的よく使われる。

### 16) pel

swift

Copy

pel/赶/「(家畜・人などを)追いたてる、急かす」を表す代表動詞/単漢字

* 理由: 「赶」は「追う」「追いつく」「追い立てる」などの意味。pel の「駆り立てる」に近い。
* 学習コスト: 日常的に「赶时间(時間を急ぐ)」「赶牛(牛を追う)」などで使用。

### 17) tir

swift

Copy

tir/拉/「(手で)引く」の代表的動詞/単漢字

* 理由: 「拉」は現代中国語で「引く」「拉动(引っ張る)」の意味で頻出。
* 学習コスト: 日本語の「拉致」の「拉」でもあり、字形は簡単。

### 18) tren

swift

Copy

tren/拖/「(地面を)引きずる、(重い物を)引きずって運ぶ」/単漢字

* 理由: 「拖」は特に「地面をこすりながら引く」ニュアンスが強い。「tir(引く)」より「引きずる」度合いが大きい。
* 学習コスト: よく使われる動詞「拖地(床を拭く)」「拖延(引き延ばす)」などあり。

### 19) ramp

swift

Copy

ramp/爬/「(四つんばいで)這う、(地面を)這って進む」/単漢字

* 理由: 「爬」は「爬行(はこう)」「匍匐前进」など「這う・のぼる」の意味。
* 学習コスト: 日本語の「爬虫類(はちゅうるい)」の「爬」と同じ字形。

### 20) vag

swift

Copy

vag/游/「さまよう・放浪する」の意を「游」で転用/既存字の再利用狙い

* 理由: 中国語で「游荡(さまよう)」「漫游(さまよう)」など「游」を用いた表現があり、vag(さまよう)にも近い。
* 学習コスト: 後述の「naĝ(泳ぐ)」にも同字「游」を使い回すことで学習負荷を低減。

### 21) salt

swift

Copy

salt/跳/「跳ぶ」の最も一般的動詞/単漢字

* 理由: 「跳」は「跳跃(跳躍)」「跳舞(踊る)」など「跳ぶ」動作全般に使える。
* 学習コスト: 13画だが、動詞として非常に頻度が高く覚えやすい。

### 22) glit

swift

Copy

glit/滑/「すべる・滑る」を表す常用字/単漢字

* 理由: 「滑」は「滑る」「滑らか」両方を表す。スケート(滑冰)の「滑」にも通じる。
* 学習コスト: 12画だが「滑冰」「滑手机(スマホをスワイプ)」など使用頻度は高い。

### 23) plonĝ

swift

Copy

plonĝ/潜/「(水中に)飛び込む・潜る」の意をカバー/単漢字

* 理由: 本来「潜水(ダイビング)」で使う「潜」。単字でも「潜る」ニュアンスが強い。
* 学習コスト: やや画数多(14前後)だが、「潜水」など基礎語に頻出。

### 24) ŝveb

swift

Copy

ŝveb/飘/「(空中を)ふわりと漂う・浮遊する」ニュアンス/単漢字

* 理由: 「飘」は「漂う」に近いが、とくに空中をふわふわ舞うイメージが強い。「hover」に近い表現として採用。
* 学習コスト: 10画ほどだが、日中ともに「飄(漂)」の要素で意味を推測しやすい。

### 25) rem

swift

Copy

rem/划/「(オールで)舟を漕ぐ」の意/単漢字

* 理由: 「划船(ボートを漕ぐ)」で用いる「划」を単独採用。
* 学習コスト: 6画と少なく、意味も「切る・引く」と通じる部分があり把握しやすい。

### 26) naĝ

swift

Copy

naĝ/游/「泳ぐ」を「游」で再利用/単漢字

* 理由: 中国語の「游泳」「游」は「泳ぐ」「遊ぶ」両方を含む。vag(さまよう)と同字で、最終的に上付き等で区別。
* 学習コスト: すでにvagで出現しており字形の追加負担なし。

### 27) vad

swift

Copy

vad/涉/「水の中を歩く、渡る」を表す単漢字/画数9

* 理由: 「涉」は「涉水(しょすい：水を渡る)」「涉猎(いろいろ手を出す)」などで「渡る・かかわる」意味。
* 学習コスト: 「歩く＋水」のイメージが強く、意味把握しやすい。

rifuĝ / 避难 / 「避難」の語感が最も直接的 /

* + 「避難」は日本語でもおなじみで、中国語でも「避难 bìnàn」で「危険を避けて逃れる」「難を避ける」といった意味。
  + 一文字での対応は難しく、「避」(簡体字：避) は比較的画数も多いため学習コストはやや高めだが、日本人には「避難」の熟語として馴染みがある。

1. fuĝ / 逃 / 「逃げる」「逃走する」に最適 /
   * 中国語でも「逃(táo)」は「逃げる」を示す常用字。日本語でも「逃」の字形は同じ。
   * 画数(9画)はそこそこだが、他の「逃げる」「逃れる」系の語根とも共有しやすく、学習コストを抑えられる。
2. eskap / 逃 / 「逃れる」「脱出する」ニュアンス /
   * 上記fuĝと同じく「逃」を再利用。エスペラント上は「fuĝ」と「eskap」で若干ニュアンスが異なるが、同じ漢字を使い回して上付き文字や振り仮名で区別する方針。
   * 漢字の種類数削減に寄与。
3. ĉas / 猎 / 「狩猟」や「狩る」の意 /
   * 中国語の「猎(liè)」は「打猎(狩猟する)」などで使われる常用字。画数(約8～9画)はそこそこ。
   * 日本語の「猟(りょう)」や旧字「獵」と対応しており、中国語話者には即座に「狩り」を連想させやすい。
4. ŝtel / 盗 / 「盗む」の意 /
   * 中国語では「盗(dào)」「盗窃(dàoqiè)」「偷(tōu)」などがあるが、日本語にも通じやすい「盗」で統一。
   * 画数(11画前後)はやや多いが、「偷」よりは日本語圏での意味推測が容易。
5. rab / 夺 / 「強奪する」「力ずくで奪う」の意 /
   * 中国語「夺(duó)」は「奪う」「奪取する」の意味で、画数(6画)も少なめ。
   * 日本語の「奪」と形は似ているため、ある程度は推測可能。学習コストは比較的低め。
6. vund / 伤 / 「傷つける」「ケガをする」の意 /
   * 中国語簡体「伤(shāng)」は「ケガ・負傷」を指す常用字で、画数(6画)も少なめ。
   * 日本語の「傷」と対応し、意味を連想しやすい。
7. cikatr / 伤痕 / 「傷跡」「瘢痕(はんこん)」「痕」の意 /
   * 「疤(ば)」も候補だが、日本語圏からの連想を考慮し、「傷痕(しょうこん)」に相当する\*\*「伤痕(shānghén)」\*\*を提案。
   * すでに登場している「伤」を再利用し、新出は「痕」のみで済む。やや画数は多いが意義は分かりやすい。
8. fend / 裂 / 「割れ目」「ひび割れ」「裂け目」 /
   * 中国語の「裂(liè)」は「裂ける・裂く」という意味。日本語でも同形の「裂」で「さく・さける」。
   * 「裂缝(ひび)」などの2文字熟語もあるが、単独の「裂」で「割れ目」のニュアンスを表現可能。
9. breĉ / 裂 / 「(壁などに生じた)裂け口、割れ目、突破口」 /

* 「割れ目」「破口」「欠口(けっこう)」などの候補があるが、fendと同様に「裂」を再利用。
* 若干意味は異なるが、同じ漢字を使い回し、学習コストを下げる。

1. difekt / 破 / 「(物を)損傷する、壊す、ダメにする」 /

* 中国語で「破(pò)」は「破れる」「壊れる」「ダメにする」の意味合いがあり、“ダメージを与える”ニュアンスに近い。
* 次のrompとも関連しやすいため、同字を使い回し可能。

1. frakas / 碎 / 「粉々に砕く、打ち砕く、粉砕する」 /

* 中国語「碎(suì)」は「粉々にする」の意。まさに「frakas(粉砕)」と意味が近い。
* 「破」と使い分けることで「粉砕感」を表現。画数(9画前後)も比較的抑えめ。

1. romp / 破 / 「(何かを)壊す、折る、破壊する」 /

* 上記difektと同様に「破(pò)」を再利用。「壊す・破る・割る・折る」など広範に使える。
* 同字重複により学習コスト軽減。

1. detru / 灭 / 「破壊する、滅ぼす、全滅させる」 /

* 中国語「灭(miè)」は「滅ぼす、消滅させる、絶やす」。画数(5画)と少なく、意味も非常に端的。
* 「破」「碎」とは違い、完全に滅ぼすニュアンスを分けるため新字を導入。

1. bar / 阻 / 「障害、妨げるもの、バリア」 /

* 中国語「阻(zǔ)」は「阻む・阻止する・塞ぐ」の意。短い(7画)わりに「遮る」「妨げる」「バリヤ」の意味を担える。
* 以下のobstakl, obstrukcなど類似意味でも再利用しやすい。

1. obstakl / 阻 / 「障害物、障碍物」 /

* 上記bar同様、物理的・抽象的な障害を示す「阻(zǔ)」で統一。
* 2文字熟語「障碍」「障礙」「阻碍」などもあるが、単独字を使い回して学習負担を減らす。

1. ĝen / 妨 / 「邪魔する、困らせる、妨げる」 /

* 中国語「妨(fáng)」は単独ではやや文語的だが、「妨碍」「妨害」などの語根としても使われる。
* 「阻」は「遮る」「通行を妨げる」ニュアンスが強いため、「煩わす・邪魔をする」的な意味に近い「妨」を提案。

1. obstrukc / 阻 / 「(通路などを)妨害する、塞ぐ、阻止する」 /

* 「obstruct」の語源的意味に忠実に「阻(zǔ)」を再利用。
* bar, obstaklと同様、同じ字を使い回し可能。

1. ŝtop / 塞 / 「(穴や隙間を)詰めふさぐ、詰め込む、塞ぐ」 /

* 中国語「塞(sāi)」は「詰める・詰まる・(穴を)ふさぐ」の意。日本語でも「塞ぐ(ふさぐ)」で馴染みがある。
* 「阻」は「妨げる」、こちらは物理的に「埋め塞ぐ」感じが強いため区別。

1. pane / 坏 / 「(故障により)停止する、壊れる、故障」 /

* 中国語で「坏(huài)」は「壊れる」「故障する・ダメになる」を広くカバーできる。
* 「故障」を示す熟語「故障」(gùzhàng)もあるが、\*\*単独「坏」\*\*の方が画数(7画)が少なく学習しやすい。

1. prokrast / 延 / 「延期する、引き延ばす」 /

* 中国語「延(yán)」は「引き延ばす」「伸ばす」「遅らせる」の意。
* 一文字で「延」を活用すれば、日本語の「延期」「延長」とも結びつけやすい。

1. intermit / 间歇 / 「断続する、間欠的に起こる」 /

* 中国語「间歇(jiānxiē)」は「一定間隔で止んだり続いたりする」＝「intermittent」を表す標準的な2字熟語。
* 一文字での適訳がないため2文字に。画数はやや多いが妥当な妥協案。

1. paŭz / 休 / 「(動きを)休止する、いったん止まる」 /

* 中国語「休(xiū)」は「休む」「やすむ」の意で、日本語でも「休」として通じる。
* 「暂停」や「休止」など2文字も考えられるが、\*\*単独「休」\*\*なら画数(6画)が少なく覚えやすい。

1. halt / 止 / 「止まる、停止する、ストップする」 /

* 中国語・日本語いずれでも「止(zhǐ)」は「止まる」を直接的に表す最簡字(4画)。
* 次のĉesとあわせて同じ字で運用し、学習コスト削減。

1. ĉes / 止 / 「(雨などが)止む、止める、やめる」 /

* 上記haltと似た「停止する」「終わる」ニュアンスのため、「止」を再利用。
* 微妙な意味の違いは上付き文字や振り仮名で区別。

1. boben / 线圈 / 「コイル、ボビン、リール」 /

* 中国語で「线圈(xiànquān)」が最も一般的。一文字では適切な対応が難しい。
* 新規漢字は「线(糸の簡体)」「圈(輪・環)」の2つだが、機械部品や電子部品を指す際には定番の表現。

1. galon / 饰带 / 「(服の)モール、装飾用の縁取りテープ」 /

* 中国語で「饰带(shìdài)」は「装飾用の帯・リボン」の意。やや広義だが「galloon」の概念をカバーしやすい。
* 一文字で該当する常用字がなく、2文字熟語を採用。

1. pasament / 花边 /
   * 選定理由: レースやモールなど“縁飾り”の意味合いが強いため、中国語で「花边(lace)」が比較的わかりやすい。
   * 学習コスト: 2文字熟語だが、「花」「边」ともに頻出の簡体字であり、意味も想像しやすい。
2. kabl / 缆 /
   * 選定理由: 中国語で「缆」はケーブルを指す。日本語話者にとってはやや馴染み薄だが、ケーブル(電缆)の核心字としては妥当。
   * 学習コスト: 画数はやや多め(纟+监)だが、ケーブル特有の語義を表しやすい単字。
3. stri / 条 /
   * 選定理由: 「条」は「細長いもの」「筋」「条文」など“細い帯状”を表し、中国語では「条纹(stripes)」の “条” にあたる。
   * 学習コスト: 7画と少なく、すでに非常に高頻度で使われる文字。日本語では「条(じょう)」の意味合いだが「すじ」に近い連想も可。
4. lini / 线 /
   * 選定理由: 「线」は「線」を意味する簡体字。線(ライン)を示す最も基本的な語として最適。
   * 学習コスト: 8画。線にかかわる多くの概念を「线」として一括管理すれば、漢字の種類を抑えられる。
5. strek / 线 /
   * 選定理由: 線・ストロークを描くイメージなので、(4)と同じ「线」を再利用。区別は上付き文字等で対応可能。
   * 学習コスト: 新規文字を増やさず、「线」の使い回しで負担を軽減。
6. rel / 轨 /
   * 選定理由: レール(rail)は中国語で「轨道(guǐdào)」。その核心字「轨」でレールを連想しやすい。
   * 学習コスト: 6画と比較的少ない。「车+九」の組み合わせで、日本語話者にはやや馴染みにくいが、鉄道・軌道を連想可能。
7. drat / 线 /
   * 選定理由: 金属線(針金)も含め、“ワイヤ”は中国語で「金属丝」や「铁丝」等だが、根本概念としては「线」を流用。
   * 学習コスト: 既出の「线」で対応し、新たな文字を増やさない方針。
8. kord / 弦 /
   * 選定理由: 楽器の弦は中国語でも「弦」。音楽的文脈で「线」より「弦」の方が直感的かつ正確。
   * 学習コスト: 8画。「線」と別の字だが、日本語の「弦」と同形のため比較的覚えやすい。
9. faden / 线 /
   * 選定理由: 糸やスレッド(thread)も「线」でまとめられる。
   * 学習コスト: 既出の「线」を再使用することで新規文字を増やさない。
10. ŝnur / 绳 /
    * 選定理由: 太めの紐・綱・ロープを表す「绳」(日本語の「縄/繩」の簡体字)。
    * 学習コスト: 9画。「线」と区別することで、太い綱のニュアンスを保持。
11. turn / 转 /
    * 選定理由: 「転(回す)」を表す簡体字で最も基本的な「转」。
    * 学習コスト: 8画。日本語の「転」に近く、回転・回すニュアンスがわかりやすい。
12. renvers / 倒 /
    * 選定理由: 「倒」は「倒す・倒れる・逆さにする」の含意があり、「転覆させる」ニュアンスに比較的近い。
    * 学習コスト: 10画だが「翻」(18画)などよりは画数が少なく、意味も取りやすい。
13. klin / 倾 /
    * 選定理由: 「傾ける」を意味する簡体字。「倾斜」などで使われる。
    * 学習コスト: 10画。日本語の「傾」に近く、斜めにする・傾くイメージが伝わりやすい。
14. fleks / 曲 /
    * 選定理由: 「曲げる・湾曲する」イメージ。中国語でも“弯曲”と同義だが、一文字なら「曲」が直観的。
    * 学習コスト: 6画と少ない。日本語でも「曲がる」の連想があり理解しやすい。
15. volv / 卷 /
    * 選定理由: 「巻く」の簡体字。日本語の「巻」とやや形が異なるが、春卷(春巻き)などで見かける字。
    * 学習コスト: 8画。巻き上げる・巻き取るニュアンスがはっきり表せる。
16. fald / 折 /
    * 選定理由: 「折り畳む」の動作は中国語で「折叠」。コアの「折」を1文字割当とした。
    * 学習コスト: 7画。日本語でも「折る」として認知されやすい。
17. cirkul / 回 /
    * 選定理由: 「回る・巡回する・循環する」の基本イメージ。「循环」は2文字だが、中核的に「回」を使用。
    * 学習コスト: 6画と少なく、日中ともに「回る」連想が容易。
18. rivolu / 转 /
    * 選定理由: 「回転・革命(revolution)」的な回す動きを表すので、(11)turn と同じ「转」を再利用。
    * 学習コスト: 新たな文字を増やさず、転回系の意味は「转」でカバー。
19. rul / 卷 /
    * 選定理由: 「転がす・巻物」のニュアンスで、(15)volv と同様に「巻く」概念に近い「卷」を再利用。
    * 学習コスト: 既出文字を使い回し、意味の違いは上付き文字で区別可能。
20. rul## / 卷 /
    * 選定理由: (19)と同一語根扱い(末尾##は派生？)のため、同じ「卷」を適用。
    * 学習コスト: 同上。
21. rad / 轮 /
    * 選定理由: 「車輪」は「轮(輪)」。中国語で“轮子”＝車輪。
    * 学習コスト: 8画。日本語「輪」の簡体字で、日中ともに“輪”を連想しやすい。
22. ring / 环 /
    * 選定理由: 指輪や環の基本字は「环(環)」。輪状の“ring”に通じる。
    * 学習コスト: 7画。日本語の「環」よりは簡略化されているが、リング形状を示すのに便利。
23. turb / 陀螺 /
    * 選定理由: 中国語で「陀螺(tuóluó)」が「こま(独楽)」を指す最も一般的な語。1文字では対応が難しい。
    * 学習コスト: 2文字合計で画数多めだが、他に適切な単字がないため妥協。
24. ŝiling / 先令 /
    * 選定理由: 中国語でシリングは「先令」。国際的通貨の一種として定訳。
    * 学習コスト: 2文字だが、いずれも頻出字であり、外来通貨として認識されやすい。
25. dekliv / 坡 /
    * 選定理由: 「坂・斜面」を表す代表的な簡体字は「坡(斜坡)」。
    * 学習コスト: 8画。日本語では「坂」に相当し、意味の類推はしやすい。
26. krut / 陡 /
    * 選定理由: 「切り立った・険しい」を意味する簡体字。「陡峭」の「陡」。
    * 学習コスト: 7画。日本語話者にはやや馴染み薄だが、中国語圏では“急勾配”を直感的に表す字。
27. oblikv / 斜 /
    * 選定理由: 「斜めの」を示す代表的字。中国語では「倾斜」、日本語でも「斜(ななめ)」で通じる。
    * 学習コスト: 11画とやや多めだが、傾きや斜線を連想しやすい。

kontur / 轮廓 /  
　・現代中国語で「輪郭・アウトライン」を表す標準的な語。  
　・「輪」「廓」いずれも画数はやや多めだが、日本語「輪郭」との対応が明快で、中国語圏でも意味が通じやすい。  
　・1文字では適当な字が見つけにくいため、2文字熟語「轮廓」で割り当て。

1. kurb / 弯 /  
   　・中国語で「弯」は「曲がっている」「曲げる」の意味を表し、曲線を示す際にも用いられる。  
   　・日本語では「弯」はあまり一般的ではないが、「弯曲(ワンキョク)」のように“曲がる”意を推測しやすい。  
   　・画数(8画)はそこそこだが、単字としては比較的シンプルで実用的。
2. ark / 弧 /  
   　・幾何学用語として弧（arc）を指す字。中国語でも「弧形」= アーク状を意味する。  
   　・日本語圏でも「弧」は「弧を描く」「弧線」などで馴染みがあり、意味を類推しやすい。  
   　・単字で「アーチ状」「弧」を表せるため、学習コストとしても悪くない。
3. konkav / 凹 /  
   　・「凹」は日中双方で「へこんだ形」「凹面」を指す際に使われ、学習者にとって分かりやすい。  
   　・1文字で「凹(おう)」を充てられる点が利点。  
   　・画数も5画と比較的少ない。
4. fald (末尾に ## 付き) / 折 /  
   　・日本語「折る」、中国語でも「折」(zhé：折り畳む、折る)が対応し、両言語話者に意味が通じやすい。  
   　・簡体字でも同形であり、画数7画はまずまず。  
   　・「叠」(畳む意)もあり得るが、日本語話者への連想のしやすさから「折」を優先。
5. pec / 片 /  
   　・「片」は日中ともに「一片の〜」「かけら」「薄片」のニュアンスが共通。  
   　・画数4画と少なく、学習しやすい。  
   　・類似語根（split, fragment など）にも応用しやすく、“断片”“碎片”などの熟語で「片」を再利用可能。
6. blok / 块 /  
   　・「块」は「塊」の簡体字で、中国語では「大きい塊」「ブロック」などを指す。  
   　・日本語の「塊(かたまり)」と対応しやすい。  
   　・画数7画だが、使用頻度が高い字のひとつで転用もしやすい。
7. split / 裂 /  
   　・「裂」は「引き裂く」「割れる」など、分割して細長い破片になるイメージが強い。  
   　・単字で動詞的・名詞的ニュアンス（裂片=裂けた欠片）を含意できる。  
   　・やや画数(12画)は多いが、他の“破損”関連語と使い分けしやすい。
8. fragment / 碎片 /  
   　・中国語で「碎片」は「こまかく砕けた破片」「断片」を表す標準的な熟語。  
   　・単字「碎」だと「砕ける・砕く」のイメージが強く、「片」を組み合わせた「碎片」で名詞化が明確。  
   　・「片」は既出なので、新出は「碎」のみ。語義がはっきり伝わるので2文字割当を選択。
9. stump / 株 /  
   　・中国語で樹木などの切り株を「树桩(樹桩)」とも言うが、日本人には「株」のほうが連想しやすい(「切り株」)。  
   　・「株」は簡体でも同形(画数10画)。  
   　・ただし現代中国語で「株」は株式のイメージもあるが、「植物の株(根元)」としても十分通じる。
10. trunk / 干 /  
    　・簡体字の「干」は「樹干(樹の幹)」「躯干(胴体)」などに用いられ、幹・中心部分の意を持つ。  
    　・日本語では「干」は「ほす/かわく」のイメージが強いが、中国語で「幹」(繁体)の簡体形が「干」。  
    　・画数も3画と少なく、他で多用される可能性も高い。
11. branĉ / 枝 /  
    　・「枝」は「えだ」を表し、中国語も同じ字形・意味。  
    　・画数8画だが、日本語・中国語双方で「枝(枝条)」と認知しやすい。  
    　・木偏で意味も想像しやすい。
12. verg / 杆 /  
    　・「細枝・棒・さお」のニュアンスを持つ字を1文字で当てるなら「杆」が比較的適切。  
    　・「杆」は中国語で「ポール状のもの」を指し、木偏＋干で学習もしやすい(画数7)。  
    　・日本語ではあまり見かけないが、簡体字圏で棒・さお類を意味し、細長い枝のイメージにも近い。
13. foli / 叶 /  
    　・「葉」の簡体字。日中ともに「葉っぱ」の意味で対応する。  
    　・日本語話者にも「叶(かのう)」など別義があるが、木偏＋十の形状から“葉”と連想しやすい。  
    　・画数5画でシンプル。
14. lob / 叶 /  
    　・解剖学的な「葉(lobe)」にも中国語では「肺叶(肺葉)」「肝叶(肝葉)」など「叶」を用いる。  
    　・foli(葉,植物)と同字使い回し可。「葉/lobe」という2種の意味で後に区別(振り仮名等)を予定。  
    　・同じ字を使うことで漢字の総種類を抑えられる。
15. riĉ / 富 /  
    　・「富」は日中双方で「豊か」「裕福」を示す常用字。  
    　・12画とやや多いが、「富裕」「富豪」など頻出度が高いため覚えやすい。  
    　・“金持ち”のイメージを1文字でカバーできる利点がある。
16. abund / 丰 /  
    　・「豐」の簡体字「丰」。日本語の「豊」と意味がほぼ同じ「豊か」「たっぷり」。  
    　・4画という非常に少ない画数で「豊かさ」を表せるのが大きな利点。  
    　・「丰」単独でも「豊富」的なイメージを連想しやすく、学習コストが低い。
17. sat / 饱 /  
    　・「飽」の簡体字で、「満腹である」「十分に食べる」などの意がはっきり伝わる。  
    　・日中ともに「腹がいっぱい」というニュアンスが連想しやすい。  
    　・画数7画で、食偏(しょくへん)の変形「饣」が学習者にはやや慣れが必要だが、よく使う字。
18. kontent / 满 /  
    　・「満足」の「満(満足/满意)」に相当する簡体字。  
    　・中国語で「满意」「满足」と組み合わせれば“満足・満ち足りた”を表し、日本語でも「満」で「みちる/まんぞく」の連想が可能。  
    　・後述の「plen」にも同字を再利用することで、学習する漢字総数を抑制。
19. sufiĉ / 足 /  
    　・本来の現代中国語では「足够(十分である)」「够(足りる)」を使うが、1文字なら古典的に「足」に「十分」の意味がある。  
    　・日本語でも「足りる」「不足」などの言葉から「足 = 十分」の連想は容易。  
    　・今後は「足りる」という抽象的概念として、転用・区別(上付きなど)で運用可能。
20. perfekt / 完 /  
    　・「完」は「完全」「完了」「完璧」など、完璧・仕上がった状態を示す字。  
    　・中国語・日本語ともに「すべてが整った」「完全な」という連想がしやすい。  
    　・3画の「元」の上に“宀(ウ冠)”を乗せた形で、比較的覚えやすい。
21. plen / 满 /  
    　・「いっぱいの、完全な」の意に適合し、中国語で「满」は「満ちる」「いっぱい」として使われる。  
    　・前出の“kontent(満足)”と同じ字を再利用することで、漢字の種類総数を削減。  
    　・実際の運用では「満¹(満たす)」「満²(満足)」など区別表記を行う予定。
22. komplet / 全 /  
    　・「全部」「完全」といった意味を1文字で表す場合に便利。日本語でも「全体」「安全」などでお馴染み。  
    　・6画とシンプル。意味も「完備・完結」と近く、完璧さを示す別手段として使いやすい。  
    　・「完」(perfekt)と区別しやすく、かつセットで覚えれば混乱を起こしにくい。
23. ŝarg / 充 /  
    　・「充」は中国語で「充電(バッテリーを充電)」「充满(いっぱいにする)」など、「中身を満たす/詰める」「チャージする」意味を含む。  
    　・画数6画と少なく、電気の「チャージ」や内容物を「満たす」イメージにつなげやすい。  
    　・「装(装填)」も候補だが、画数が多めなので「充」を優先。
24. ŝarĝ / 负 /  
    　・「负」は中国語で「負担する」「荷を背負う」「マイナス(負)」などの意味。  
    　・「重荷」「荷物」「積荷」として「负担(負担)」「负荷(負荷)」などによく使われる。  
    　・日本語の「負ける」イメージもあるが、「担う」「荷を負う」の含意から「荷/積荷」の方向へ連想は可能。
25. plus / 加 /  
    　・数学の「＋」(プラス)に直結し、日中双方で「加算」を連想させる。  
    　・画数5画と少なく、「追加」や「加法」など他の語根に転用しやすい。  
    　・最も直感的に「プラス」を表す文字。
26. suplement / 补 /  
    　・「补」は「補」の簡体字で、「補う」「付け足す」「修繕する」などを包括する。  
    　・日本語「補足(ほそく)」「補充(ほじゅう)」を連想させ、中国語でも「增补(増補)」「补充」で頻用。  
    　・画数7画だが、汎用度が高いので学習効果が見込める。

komplement / 补 / 文法上の「補語」のイメージ（“補う”）に近い / 「補(补)」は比較的画数が少なく、日本語の「補」も類推しやすい

1. rikolt / 收 / 収穫＝「刈り取って“収”める」のイメージ / 下記kolektと同じ字を流用し、学習コスト削減
2. kolekt / 收 / 収集＝「取り“収”める」のイメージ / rikoltと同字を再利用（区別は上付きや振り仮名で対応予定）
3. abstrakt / 抽象 / 中国語・日本語ともに「抽象」で通じやすい / 「抽」(pull)＋「象」(かたち・イメージ) で「抽象」の定訳
4. resum / 总结 / 「要約・まとめる」の標準表現 / 「总」(総) と「结」(結ぶ) の2字だが、比較的画数は少なめ
5. afiks / 附 / 「付属する」「付加する」のイメージ / 1字で“attach”を表し、比較的シンプル
6. apozici / 并 / 「並列・並置（同格）」のイメージ / 「並ぶ」の簡体字「并」は画数が少なく、意味も近い
7. konjugaci / 活用 / 日本語「動詞活用」に近く、中国語でも「活用」から推測可 / 単字での表現困難のため2字
8. konjunkci / 连词 / 中国語で「接続詞」を指す標準用語 / 「连」(連)＋「词」(詞)
9. asimil / 同化 / 「同じになるように化(変)わる」＝「同化」 / 画数も少なく、日本語・中国語で意味を共有
10. aneks / 合并 / 「併合する」「合併する」の意 / 「并」はapoziciと共通漢字
11. feder / 联合 / 「連合・連盟」の意 / 「联」は連合・連絡の連、後半に「合」を再利用
12. sintez / 合成 / 「合わせて作る」の意 / 「合」は再利用の多い漢字で汎用性大
13. miks / 混合 / 「混ぜる」「混じり合う」の標準表現 / 「合」も再利用
14. kombin / 组合 / 「組み合わせる」「結合する」 / 「组」(組)と「合」(合わせる) の組み合わせ
15. sum / 和 / 数学の「和」「合計」の意 / 日本語「和(わ)」、中国語「hé」で“総和”を連想しやすい
16. op / 共 / いっしょ・共同・全体というニュアンス / 集合数(複数をまとめる)の接尾に近い意味を「共」で表現
17. svarm / 群 / 「群がる」「群集」「大勢」のイメージ / 中国語・日本語共に「群」で通じやすい
18. kolektiv / 集体 / 「集合的・集団的」の標準表現 / 「集」と「体」で「集団」を明確に示せる
19. amas / 众 / 「大衆」「多数の人々」の意 / 簡体字の「众」は画数少なく“群衆”を連想しやすい
20. amas## / 众 / 上記amasと同じ意味・同字で対応 / 後で上付きや振り仮名で区別予定
21. grup / 组 / 「グループ」の意 / 「组合」の「组」を単独利用し、学習コスト削減
22. ar / 团 / 接尾で「集団」を表すイメージ / 「団」の簡体字で画数少なめ
23. imit / 仿 / 「模倣する」「倣う」の意 / 「模仿」の略として中国語圏にも通じやすい
24. analog / 类似 / 「類似の」「アナログ的」の意 / 「类」(類)＋「似」(似る)
25. analogi / 类比 / 「アナロジー」「類推」の意 / 「类」(類)＋「比」(比べる)
26. simil / 似 / 「似ている」「類似する」の意 / 「类似」の「似」を再利用、単字でも「似る」とわかりやすい

egal / 平 /

* + 選定理由: 「平」は「平等」「公平」「平均」など「等しい・均一」ニュアンスをもつ常用字。日中双方にとって「均等・等しい」の連想がしやすい。
  + 学習コスト: 画数5画と比較的少なく、頻出字でもあるため導入しやすい。

1. sam / 同 /
   * 選定理由: 「同」は「同じ・同一」を表す最も基本的な字の一つ。
   * 学習コスト: 画数6画と少なく、「合同」「同意」など他の熟語にも幅広く使われる。
2. ident / 同 /
   * 選定理由: 「ident」は「まったく同一の・差がない」意味だが、重複使用を許容する方針により「sam」と同じ「同」をあてる。
   * 学習コスト: 既出の「同」を再利用することで新たな漢字の導入を抑えられる。
3. kontrast / 对比 /
   * 選定理由: 「对比(対比)」は「対照・コントラスト」の意味合いで非常に一般的。
   * 学習コスト: 「对」(5画) + 「比」(4画) で合計9画。いずれも頻出字であり、他の文脈（比較・対立など）でも使いやすい。
4. relativ / 相对 /
   * 選定理由: 「相对」は「相対的・比較的」という意味で広く使われる標準的表現。
   * 学習コスト: 「相」(9画)と「对」(5画)。どちらも日中で頻出し、意味把握が容易。
5. kompar / 比 /
   * 選定理由: 単に「比」だけでも「比較する」という意味合いを持ち、簡潔。
   * 学習コスト: 画数4画と非常に少なく、「对比」にも含まれる字なので学習効率が良い。
6. apog / 支 /
   * 選定理由: 「支」は「支える・支援する」の基本字の一つ。「手で支える」「枝分かれして支える」などのイメージから「支持」のニュアンスを想起しやすい。
   * 学習コスト: 画数4画と少なく、「支援」「支持」など他語とも関連しやすい。
7. help / 助 /
   * 選定理由: 「助」は「手助けする」「助力」など“助ける”の意をもつ代表的な字。
   * 学習コスト: 7画で中頻度程度だが、「帮助」「助手」など多くの熟語に登場し、意味を把握しやすい。
8. asist / 助 /
   * 選定理由: 「補佐・補助」の「助」に近い意味。すでに「help」にも割り当て済みだが、同様の意味領域なので再利用。
   * 学習コスト: 新規の文字を増やさずに済むので学習コスト削減につながる。
9. konsent / 同意 /

* 選定理由: 「同意」は「同じく意を認める」という意味合いで「賛成・承認する」というニュアンスが強い。
* 学習コスト: 「同」は既出、＋「意」(13画) だが、日中両言語で「意思」「意味」など極めて頻繁に用いられるため導入メリットは大きい。

1. aprob / 认可 /

* 選定理由: 「认可」は「認める・承認する・同意する」ニュアンスの単語。公式な場面での「承認・許可」も表せる。
* 学習コスト: 「认」(4画) + 「可」(5画) と合計9画で比較的少なく、どちらも高頻度字。

1. akcept / 接受 /

* 選定理由: 「受け入れる」という意味としては「接受」が標準的かつ広範に使われる表現。
* 学習コスト: 「接」(11画) と「受」(8画) でやや多めだが、どちらも基礎的な熟語によく出る。

1. konced / 承认 /

* 選定理由: 「承认」は「(事実などを)認める、容認する、(相手の立場を)認める」意に最も近い。
* 学習コスト: 「承」(8画) + 「认」(4画) = 12画。すでに「认」は使用済みで、相乗効果あり。

1. taŭg / 合 /

* 選定理由: 「役に立つ・適している」の意を「合」一字で簡潔に示すことを提案。「合用」「合适」など多くの熟語に派生可。
* 学習コスト: 画数6画。基礎漢字のひとつで、他語根にも流用しやすい。

1. konven / 合 /

* 選定理由: 「ふさわしい・適切な」も「合」の派生・組み合わせ(「合适」「妥合」など)で表現できる。同義系統として重複割当。
* 学習コスト: 既に「taŭg」で使用したため追加負担なし。

1. dec / 合 /

* 選定理由: 「(に)かなう、適合する」ニュアンスも「合」と近い。同語系の重複割当により漢字数を減らす。
* 学習コスト: 同上。

1. adapt / 适应 /

* 選定理由: 「(～に)適応する、順応する」の意としては「适应」が最も一般的かつ正確な表現。
* 学習コスト: 「适」(9画) + 「应」(7画)=16画。やや多いが、非常に高頻度な熟語。

1. konform / 符合 /

* 選定理由: 「(規範や条件に)合致する・適合する」というときに「符合」はよく使われる。
* 学習コスト: 「符」(7画) + 「合」(6画)=13画。どちらも常用であり意味連想もしやすい。

1. koincid / 一致 /

* 選定理由: 「(完全に)一致する、重なる、同時に起こる」の意は「一致」がもっとも自然。
* 学習コスト: 「一」(1画) + 「致」(10画)=計11画。比較的よく見かける熟語なので理解されやすい。

1. proviz / 备 /

* 選定理由: 「備える・準備する・(物資などを)供給する」というニュアンスを一字で表すなら「备」が便利(「准备」「设备」など多用)。
* 学習コスト: 8画であり、「準備」「装備」など熟語に派生しやすい。

1. depon / 寄存 /

* 選定理由: 「(荷物などを)預ける・一時保管する」の標準的な表現が「寄存」。
* 学習コスト: 「寄」(11画) + 「存」(6画)=17画とやや多め。しかし動詞として分かりやすい慣用表現。

1. rezerv / 保留 /

* 選定理由: 「保留」には「(判断・席・権利などを)取っておく・留保する」の意味があり、「予約」に近い文脈にも転用可能。
* 学習コスト: 「保」(9画) + 「留」(10画)=19画とやや多いが、どちらも頻出度が高い。

1. gard / 守 /

* 選定理由: 「見張る・番をする・守護する」の意味を古くから担う基本字。「看守」「保守」など派生可能。
* 学習コスト: 6画と少なく、意味も直感的に理解しやすい。

1. ŝirm / 护 /

* 選定理由: 「かばう・遮蔽する・護る」は「保护」の「护」が分かりやすい。単独でも「护」は“守ってかばう”イメージを持つ。
* 学習コスト: 8画。「保护」「看护」など幅広く使われるため、一度覚えれば他の組み合わせにも応用可。

1. defend / 卫 /

* 選定理由: 「防衛・守る」に対応する簡潔な字が「卫」(旧字「衛」)。中国語では「保卫(守る)」「卫兵(衛兵)」などでよく使う。
* 学習コスト: 3画という非常に少ない画数で、「防衛」の意味を連想しやすい。

1. protekt / 保护 /

* 選定理由: 「保護する・守る」標準表現。「保护環境」「保护儿童」など使い所多数。
* 学習コスト: すでに「保」や「护」は部分的に登場しており、そこから合成されるため応用が容易。

1. sav / 救 /

* 選定理由: 「救う・救助する」の意味では単独字「救」が最も直接的。
* 学習コスト: 11画でやや多めだが、「急救(応急処置)」「求救(救助要請)」など熟語も多く使用頻度は高め。

konserv / 存 /

* + 選定理由: 「保存」「保管」などで使われる「存」は，古くから「存在」「存続」など「保ち続ける・残しておく」というニュアンスを持つ字です。画数(6画)も比較的少なく，簡体字・日本語双方で意味が類推しやすい(「保存」の一文字目)というメリットがあります。
  + 学習コスト: 単独の「存」は日本語話者にとってはやや抽象的かもしれませんが，複数の熟語（「存在」「保存」など）で馴染みやすい字でもあります。1文字で済むため，新たな漢字の導入数を抑制できます。

1. ŝpar / 节 /
   * 選定理由: 節約の「節」(簡体字: 节)と同源であり，中国語でも「节约」「节省」として「省エネ・節約」の語感が強い字。
   * 学習コスト: 画数(5画)が少なく，すでに日中双方で見かける場面も多い(日本語の「節約」，中国語の「节省」など)。
2. dorm / 睡 /
   * 選定理由: 中国語で「睡觉(寝る)」の「睡」に相当。日本語でも「睡眠」という熟語で認知されており，「眠り」「寝る」の意味が把握しやすい。
   * 学習コスト: 画数(13画)はそこそこありますが，「睡眠」のイメージは日中で共通するため，分かりやすい。
3. silent / 默 /
   * 選定理由: 中国語「沉默」(黙っている)の「默」にあたる。日本語の「黙(だま-る)」とほぼ同形で，「黙」の簡体字も「默」。静かに口を閉じるニュアンスを担う代表的な字。
   * 学習コスト: 画数(16画)が多めだが，「黙る」という漢字を知る日本語話者には比較的連想しやすく，中国語圏では「沉默」や「默读(黙読)」などの熟語で馴染みがある。
4. vak / 空 /
   * 選定理由: 「空(から)」「空(そら)」として日本語で「空っぽ」「真空」などの用例があり，中国語でも「空气(空気)」「空缺(空席)」などから「空=あいている」というイメージがつかみやすい。
   * 学習コスト: 画数(8画)は標準的で，日中ともに最初期に習う漢字。「空間」など多くの熟語にも使われ，汎用性が高い。
5. kuŝ / 卧 /
   * 選定理由: 中国語の「卧(臥)」は「横になる」を表し，「卧室(寝室)」などで用いられる字。日本語の旧字「臥」と同系統で「伏臥(ふくが)」といった形で残存。
   * 学習コスト: 画数(7画)が比較的少ない。日本語における使用頻度は低めだが，「臥(が)」として存在するので連想は可能。
6. pend / 挂 /
   * 選定理由: 中国語の「挂(掛)」は「掛ける」「吊るす」の意味。日本語の旧字「掛」と字形が似ており，連想しやすい。
   * 学習コスト: 画数(9画)でそこそこだが，「電話を掛ける」「壁に掛かる」などのイメージも日中共通なので導入しやすい。
7. rest## / 未対応 /
   * 理由: リスト上で「##」が付され，語根として不確定扱いとのことなので，ここでは「未対応」としています。
8. rest / 余 /
   * 選定理由: 「残り」「余り」を表す際，中国語で「剩余」などに含まれる「余」が適切。日本語でも「余り(あまり)」で残余のニュアンスが分かりやすい。
   * 学習コスト: 画数(7画)は比較的少なく，「余計」「多余(余計)」など日中ともに熟語があり連想しやすい。
9. sid / 坐 /

* 選定理由: 中国語で「坐下(座る)」，日本語でも「座る」の旧来の形として「坐」が存在(「座」は別字だが関連)。意味連想もしやすい。
* 学習コスト: 画数(7画)。日中ともに「座る」「座席」の関連で早期に学ばれる範囲。

1. star / 立 /

* 選定理由: 「立つ」「立っている」を表す最も基本的な字。日中ともに初級段階で学ぶ代表的漢字。
* 学習コスト: 画数(5画)と少なく，「成立」「站立(たんりつ/站=立つ意)」など連想も容易。

1. signif / 意 /

* 選定理由: 「意味する」「意図する」など，思考・意味関連を示すのに中国語・日本語で広く使われる「意」。本来は「心の動き」や「考え・意味」を示す字。
* 学習コスト: 画数(13画)は多めだが，「意味」「意見」「主意(アイデア)」「用意」「注意」など頻出の熟語が非常に多く，導入価値は高い。

1. senc / 意 /

* 選定理由: 「意味」「感覚」のニュアンス。厳密には「意思(いし)」「意义(いぎ)」など複数の熟語があるが，ここでは「signif」と同様に「意」を再利用し，「上付き文字などで区別」とする。
* 学習コスト: 同じ「意」の使い回しなので，新たな漢字の導入を抑制できる。

1. intenc / 意 /

* 選定理由: 「意図」「～しようとする意志」を表す。「意图」「意向」「故意」など，中国語・日本語ともに「意」の派生熟語で表現可能。
* 学習コスト: 既出の「意」を再利用し，新規導入を避ける。後で“意¹，意²，意³”のように区別可能。

1. cel / 目的 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「目的」は「ターゲット」「ゴール」「目的意識」などを直感的に示す代表的熟語。
* 学習コスト: 「目(5画)」＋「的(8画)」＝計13画だが，非常に汎用的(「目的」「目的語」「～的(～の)」)で学ぶ価値が高い。

1. tendenc / 倾向 /

* 選定理由: 中国語「倾向(傾向)」は「～の方向に傾く」，日本語でも「傾向(けいこう)」として馴染みがある。
* 学習コスト: 「倾(傾)」(10画)＋「向」(6画)＝16画でやや多めだが，いずれも意味が取りやすく，後述の派生(「倾」単独)にも繋げやすい。

1. inklin / 倾 /

* 選定理由: 「傾く」「～しがち」「傾斜する」というニュアンス。すでに「倾向」の一部として導入されている「倾」を単独使用。
* 学習コスト: 追加の新字なし(「倾」を流用)。

1. em / 倾 /

* 選定理由: エスペラントの接尾辞「-em-」は「～しがち」「～する傾向」を表す。したがって「傾(倾)」で「～しがち」のイメージを流用。
* 学習コスト: 同じく「倾」の再利用。

1. pozitiv / 正 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「正」は「正しい」「正面」「正の値(＋)」など，「積極的・肯定的」というポジティブ側の象徴的な字としてよく使われる。
* 学習コスト: 画数(5画)が少なく，初級段階で馴染みやすい。

1. objektiv / 客观 /

* 選定理由: 中国語では「客观(客觀)」が「客観的」の最も直接的な表現。日本語で「客観的」の「客観」と同根で把握しやすい。
* 学習コスト: 「客」(9画)＋「观」(6画)＝合計15画とそれなりにあるが，「主观」と対になるためセットで導入しやすい。

1. subjektiv / 主观 /

* 選定理由: 「主観的」。中国語の「主观(主觀)」，日本語でも「主観(しゅかん)」。上記(客观)との対比が明確で便利。
* 学習コスト: 「主」(5画)＋「观」(6画)。すでに「观」は登場しているので，新規は「主」のみ。

1. grav / 重 /

* 選定理由: 「重」は「重い」「重大」「重要」の意味を兼ね，中国語・日本語のいずれでも「重(おもい)」「重要(じゅうよう)」等から連想しやすい。
* 学習コスト: 画数(9画)は中程度だが，非常に汎用性が高く，「重量」「重視」「重点」「重大」「慎重」など多用される。

1. precip## / 未対応 /

* 理由: リスト上で「##」が付されているため，語根として未確定の扱いと解釈し，ここでは「未対応」としました。

1. precip / 主要 /

* 選定理由: 「chief, main, principal, especially」のニュアンスで，中国語の「主要(主に重要)」は日本語「主要(しゅよう)」にも通じる。
* 学習コスト: 「主」(5画)＋「要」(9画)＝14画。すでに「主」は(主观)で導入済みなので，新規は「要」のみ。

1. koncentr / 集中 /

* 選定理由: 「(を)集中する」の定番表現。日本語でも「集中」そのまま。
* 学習コスト: 「集」(12画)＋「中」(4画)＝16画だが，どちらも汎用性が高い(「集中力」「集団」「中央」など)。

1. centraliz / 集中 /

* 選定理由: 「centralize」は「一か所に集める」という意味合いが強いため，「集中」をそのまま再利用できる。
* 学習コスト: 既に「集中」で導入済みのため追加負荷なし。

1. mez / 中 /

* 選定理由: 「まん中」「平均」「中ほど」の「中」。日中ともに「中心」「中間」「中国」などで日常的に使われる代表的な字。
* 学習コスト: 画数(4画)と非常に少なく，初級段階の漢字。すでに「集中」でも使っているため重複利用。

centr

* + 提案: 中
  + 選定理由: 「中心」の意味を端的に示す非常に基本的な漢字。日本語でも中国語でも「中央・中心」のイメージが強い。
  + 学習コスト: 画数が少なく(4画)、頻出のため学習負担が低い。

1. ad##
   * 提案: 续
   * 選定理由: エスペラントの接尾辞「(行為の)継続・反復」を示すのに「续(続の簡体字)」が適切。「続く」「継ぐ」のニュアンス。
   * 学習コスト: やや画数は多め(13画)だが「連続」「继续」など他の派生でも使える重要漢字。
2. ad
   * 提案: 续
   * 選定理由: 上記2.と同様。接尾辞「継続・反復」のイメージに合致。
   * 学習コスト: 同上(再利用)。
3. kontinu
   * 提案: 连续
   * 選定理由: 「連続的な」という意味に最も一般的な簡体表現。「连」「续」の組み合わせ。
   * 学習コスト: すでに「续」は出現済み。「连」(7画)も比較的使用頻度が高く、再利用価値がある。
4. daŭr
   * 提案: 继续
   * 選定理由: 「続ける」「持続する」という意味に近い中国語の常用表現。「继续」は「継続」をストレートに表す。
   * 学習コスト: 「继」(7画)が新出だが「续」(既出)とあわせて、中国語では非常に頻出の語。
5. solidar
   * 提案: 团结
   * 選定理由: 「連帯」「団結」「共同責任」などを表す際、中国語では「团结」が“solidarity”に最も近い。日本語「団結」と対応。
   * 学習コスト: 「团」(6画)と「结」(6画)はいずれも基礎的な簡体字で、意義も分かりやすい。
6. korelativ
   * 提案: 相关
   * 選定理由: 「相関的な」「相互に関係し合う」の意味に合う常用語。「相互関係」を指す際にも多用。
   * 学習コスト: 「相」(9画)と「关」(6画)。以後「関係」「関連」等の語根とも親和性が高い。
7. rilat
   * 提案: 相关
   * 選定理由: 「関係する」「関連する」の意。7.と同じ漢字を流用し、学習コストを抑える。
   * 学習コスト: 新規漢字なし(再利用)。区別は上付き文字等で対応予定。
8. koncern
   * 提案: 相关
   * 選定理由: 「関係がある」「関与する」といった意味合い。再度「相关」を流用して差し支えない。
   * 学習コスト: 新規漢字なし(再利用)。
9. de/pend##

* 提案: 依赖
* 選定理由: 「依存する」「頼る」を表すもっとも一般的な簡体表現。「依靠」「倚賴」などの近義語もあるが、ここでは「依赖」が通用度高い。
* 学習コスト: 「依」(8画)・「赖」(13画)はやや画数多めだが、意味を的確に表せる常用組み合わせ。

1. laŭ

* 提案: 按
* 選定理由: 中国語で「～に従って」「～に基づいて」を示す単字。「按照」「按计划」などで「～によれば」のニュアンスを持つ。
* 学習コスト: 9画。単独でも使われ、簡潔で分かりやすい。

1. sekv

* 提案: 从
* 選定理由: 「(に)付き従う」「後に続く」の意味。「从」は中国語で「従う」の用法もある(“～跟随”に近い)。
* 学習コスト: 画数4画と非常に少なく、学習負担が低い。

1. ĉi##

* 提案: 这
* 選定理由: エスペラントで「近接」を示す小辞(「この～」「手元に近い～」というニュアンス)。中国語の「这(これ、この)」が該当。
* 学習コスト: 5画。中国語できわめて頻出。

1. proksim/um##

* 提案: 近似
* 選定理由: 「およその」「近似的な」という意味を表しやすい2文字熟語。「近」+「似」。
* 学習コスト: 「近」(7画)は他でも再利用可能。「似」(6画)は新出だが比較的わかりやすい。

1. preskaŭ

* 提案: 几乎
* 選定理由: 中国語で「ほとんど」「ほぼ」を表す最も一般的な表現の一つ。
* 学習コスト: 「几」(2～3画扱い)と「乎」(5画)で計7～8画程度。どちらも日中でそこそこ認知度あり。

1. najbar

* 提案: 邻
* 選定理由: 「隣人」「隣の～」を簡潔に示す。標準的には「邻居」と2文字になるが、ここでは短縮して単字に。
* 学習コスト: 7画。「隣」を示す基本要素として把握しやすい。

1. proksim

* 提案: 近
* 選定理由: 「近い」「近接する」の意。中国語・日本語ともに「近(ちかい)」のイメージが直感的に伝わる。
* 学習コスト: 7画。既に14.で「近」を使用済み。

1. apud

* 提案: 边
* 選定理由: 厳密には「そばに」「隣に」は「旁边」「身旁」などが自然だが、ここでは画数・既出再利用を重視し「边」を採用。
* 学習コスト: 5画と少ない。後述の「周边」などでも使われる頻出漢字。

1. perimetr

* 提案: 周边
* 選定理由: 「周辺」「(図形の)周囲」を示す表現。中国語では「周边商品」など「周囲のもの」という用例が多い。
* 学習コスト: 「周」(8画)は新出だが、「边」は再利用。

1. ĉirkaŭ

* 提案: 周边
* 選定理由: 「(～の)まわり」「おおよそ」を表す。近い意味として「周囲」「周辺」が妥当なので同じ表記を再利用。
* 学習コスト: 新規漢字なし(再利用)。意味区別は上付き等でカバー可能。

1. ĉirkaŭ##

* 提案: 周边
* 選定理由: 上記20.同様、近接・周囲・おおよそを示すので同じ対応。
* 学習コスト: 再利用。

1. bord

* 提案: 岸
* 選定理由: 「岸」「岸辺」「海岸」の意味を直接示す一文字。日本語・中国語ともに「岸」はよく使われる。
* 学習コスト: 8画。 shore/bank のイメージがわかりやすい。

1. rand

* 提案: 边
* 選定理由: 「縁(ふち)」「端」「境界」を示す。やや意訳だが「边」(へり/端)を再利用し学習コストを下げる。
* 学習コスト: 再利用(新規なし)。

1. flank

* 提案: 边
* 選定理由: 「側面」「横」「脇」を指すが、ここも画数削減のため「边」を再利用。
* 学習コスト: 同上(再利用)。

1. later

* 提案: 边
* 選定理由: 数学的な「辺」のニュアンス。中国語では「边」と言う場合も多いので統一。
* 学習コスト: 同上(再利用)。

1. apoge

* 提案: 远地点
* 選定理由: 天文用語「遠地点」を表す標準的な簡体表現(地球の軌道・衛星軌道の“apogee”)。
* 学習コスト: 「远」(7画)、「地」(6画)、「点」(9画)はいずれも基本的な漢字だが3文字組なのでやや多め。天文用語なので妥当と判断。

1. for

* 提案: 远
* 選定理由: 「離れて」「遠く」へ行くイメージに合致。すでに26.で使う「远」を単独で再利用。
* 学習コスト: 再利用のため新規なし。一文字で「遠い」イメージが伝わりやすい。

1. distanc / 距 / 「距」は「距離」を表し、日本語・中国語双方で「離れている」「隔たり」を連想しやすい / 画数(11画)は中程度。1文字で意味を示せるため学習効率は悪くない
2. medit / 沉思 / 「沈思(沉思)」は「黙って深く考える」「瞑想する」の意で標準的。日本語でも「沈思黙考」という熟語がありイメージしやすい / 「思」はすでに他でも使う予定(＝使い回し可能)。やや画数のある「沉」を新規導入するが、比較的頻度は高め
3. konsider / 考虑 / 「考慮する」という意味で日中ともに極めて一般的 / 「考」は比較的画数少(6画)、「虑」はやや多い(7画)が、非常に頻出の組み合わせで馴染みやすい
4. pens / 思 / 「思う」の意を1文字で明確に表せる。日本人・中国人いずれも「思=考える」のイメージは取りやすい / 画数9画だが漢字としての認知度が高く、他熟語にも転用しやすい
5. opini / 认为 / 「～と思う」「～という意見である」を表す最も一般的な言い回し / 「认(認)」「为(為)」はいずれも日中で高頻度に使われる字であり、学習コストは比較的低め
6. konklud / 结论 / 「結論」を意味する標準的表現 / 「结(結)」「论(論)」はいずれも常用・高頻度字。ほかの語(「理论」「评论」など)で「论」を再利用できるため学習コストも分散可能
7. rezon / 推理 / 「推論する」に対応する一般的な語 / 「推」(11画)と「理」(5画)の組み合わせ。既に「理」は今後も他語根で多用する予定なので使い回しが利く
8. diven / 猜 / 「推測して当てる」「見抜く」の意に近い単字。中国語でも「猜=推測する・当てる」の意 / 画数(9画)は中程度だが単独で意味がはっきりし、学習コストを抑えられる
9. supoz / 假想 / 「想定する」「仮にそうだと考える」の意。中国語では「假想」は「仮定して考える」ニュアンスで広く使われる / 「假」は「偽」の意味もあるが、「假设(仮説)」などにも登場し再利用しやすい
10. konjekt / 推测 / 「推測する」に相当する標準表現 / 「推」は既出、「测(測)」は新規だが「测试(テスト)」「测量(測量)」など頻出語にも出てくるためある程度汎用性が高い
11. raci / 理 / 「理性」の意をあえて1文字「理」で表現。中国語で「理」単体は「道理・理由」などの観念を含む / すでに「推理」「理论」などで用いる字であり、重複利用により学習負担を下げられる
12. teori / 理论 / 「理論」の定訳。最も一般的な現代中国語表現 / 「理」は既出、「论」も「结论」「评论」など他語で再利用するため新規負担は少ない
13. logik / 逻辑 / 「論理」「ロジック」を表す標準的現代中国語 / 「逻」「辑」はともにやや画数が多い(「逻」11画、「辑」9画)が、中国語で「逻辑」は定着度が非常に高く意味が明確
14. ide / 意 / 「観念」「アイデア」の核心を単字「意」で表現可能。日本語でも「意味」「意見」など派生が多く直感しやすい / 画数(13画)はやや多めだが頻度が高く、学習価値が高い
15. koncept / 概念 / 「概念」の定訳。中国語・日本語いずれでも完全に一致する / 「概」(13画)「念」(8画)はいずれも学術用語で頻繁に登場するため、学習効率は悪くない
16. premis / 前提 / 「前提」の直接的対応表現 / 「前」(9画)「提」(12画)はいずれも基本的漢字で、他の言葉(「提案」「提前」など)にも転用可能
17. hipotez / 假设 / 「仮説」を意味する最も一般的な表現 / 「假」は「假想」と共通、「设(設)」は「设备(設備)」「设定(設定)」などでも用いられるため比較的汎用性が高い
18. deĉifr / 破译 / 「解読・解碼・暗号を解く」のニュアンスに近い一般的表現 / 「破」(10画)「译(譯)」(7画)はどちらも日常で見かける機会が多く、意味が取りやすい
19. analiz / 分析 / 「分析する」に対応する標準的表現 / 「分」(4画)「析」(8画)はいずれも画数少なめで、組み合わせとして非常にポピュラー
20. kritik / 批评 / 「批判する」「批評する」を広くカバーできる語。口頭・文章いずれでも頻出 / 「批」(7画)「评(評)」(7画)は今後「评论」などでも再利用可
21. recenz / 评论 / 「批評する」「レビューする」に最適。中国語で「评论」は名詞「評論」兼動詞「評論する」を兼ねる / 「评」は既出、「论」も既出のため新たな負担は少ない
22. enket / 调查 / 「調査する」「アンケートをとる」の意に最も近い現代中国語表現 / 「调」(9画)「查」(9画)はいずれも高頻度語で「检查」「审查」などとの重複も期待できる
23. ekzamen / 检查 / 「(試験する意味も含めて)調べる、検査する」のニュアンスとして適宜 / 「检(檢)」(9画)と「查」(9画)の組み合わせ。後述の「检验」や「审查」と「查」を共有
24. kontrol / 检验 / 「検査・チェック・検証する」の意味に広く使える / 「检」は既出、「验(驗)」(10画)は「試す」「テストする」ニュアンスがあり、中国語の常用語
25. cenzur / 审查 / 「検閲する」の定番表現。行政的な「審査」「検閲」にも広く使われる / 「审(審)」(8画)と「查」(既出)。よく見かける組み合わせで理解しやすい
26. revizi / 校对 / 「校閲・校正・見直す」に相当する一般的表現 / 「校」(10画)と「对(對)」(5画)。文章を照合するイメージが強く、簡潔で分かりやすい
27. inspekt / 视察 / 「査察する」「現地を見回って検査する」の最適表現 / 「视(視)」(7画)と「察」(14画)。やや画数は多いが、公的ニュアンスで「現場を巡回・点検する」イメージがはっきり伝わる

malgraŭ / 不管 / 「〜にもかかわらず」「〜にかまわず」のニュアンスを、中国語で「不管◯◯(也…)」の表現が近いと判断 / 「不」(4画)は他で何度も使える汎用性が高い漢字

1. spit / 逆 / 「逆らう」「反抗する」「ものともしない」という含意から、単漢字の「逆」を採用 / 画数9とやや多めだが「逆転」「逆行」など日本語・中国語ともに連想可能
2. forges / 忘 / 「忘れる」に該当。中国語・日本語ともに「忘」の字はよく使われ、馴染みやすい / 画数7と比較的少なく、単独で「忘(れる)」の意味を持つ
3. ignor / 无视 / 「無視する」は現代中国語で「无视」が最も自然。日本語でも「無視」と同根で意味を連想しやすい / 「无」(4画)、「视」(7画)どちらも頻用字のため他への転用性あり
4. neglekt / 忽视 / 「ないがしろにする」「なおざりにする」は中国語で「忽视」が定訳に近い / 「忽」(8画)は「忽然」、 「视」(7画)は「无视」などとも共有可
5. rifuz / 拒绝 / 「拒絶する」は中国語で「拒绝」が標準的。単字「拒」でも通じるが、語義の明確さ重視 / 「拒」(7画)・「绝」(9画)はいずれもよく使われる字
6. kontest / 异议 / 「異議を唱える」「反論する」ニュアンスを表す際、中国語の「提出异议」などが定番 / 「异」(6画)・「议」(5画)ともに比較的シンプルで頻用
7. refut / 驳 / 「論破する」「反駁する」は中国語で「反驳」もあるが、なるべく簡潔に単字「驳」を採用 / 画数7と許容範囲。日本語の「駁(駁する)」と同根で意味も連想しやすい
8. hezit / 犹豫 / 「ためらう」「躊躇する」に相当し、中国語で「犹豫」がもっとも一般的 / 「犹」(7画)・「豫」(13画)とやや画数は多いが、標準的かつ分かりやすい表現
9. rezignaci / 放弃 / 「あきらめる」「放棄する」に相当。「放棄」と同じ意味だが、簡体で「放弃」が一般的表記 / 「放」(8画)・「弃」(7画)は他の語にも応用しやすい
10. atend / 等 / 「待つ」にあたる中国語「等(等待)」から、なるべく簡潔に単字「等」を採用 / 画数12とやや多いが「等候」「等等」など汎用性は高い
11. aŭgur / 占卜 / 「占う」に近く、中国語で「占卜」はまさに「占い」「予言」のニュアンスを含む / 「占」(5画)は「占用」「占领」など多数用例、「卜」(2画)も非常にシンプル
12. prognoz / 预测 / 「予測」「予想」に相当。中国語の定番表現 / 「预」(4画)と「测」(8画)はいずれも頻繁に使われるため学習コストを抑えやすい
13. dub / 疑 / 「疑う」「不確かに思う」の意味を単字で表すため「疑」を採用 / 本来は「怀疑」などが一般だが、区別のため敢えて単字とし、画数14はやや多いが汎用的
14. suspekt / 怀疑 / 「(を)怪しむ」「容疑をかける」ニュアンスは中国語で「怀疑」が最も定番 / 上記(14)「疑」と組み合わせ。すでに「疑」を使っているので学習コストは「怀」を新たに覚える程度
15. kred / 信 / 「信じる」に相当。「相信」とする手もあるが、単字「信」で簡潔に示す / 「信」は日本語でも「信用」「信念」など連想しやすいうえ画数9と許容範囲
16. fid / 信 / 「信頼する」も同じく「信」に集約し、将来の上付き文字等で区別予定 / 同じ漢字を使い回すことで学習コストを下げる
17. konfid / 信托 / 「信頼・委託する」「打ち明ける」イメージ。単字「信」再利用＋「托」(「託す」)を組み合わせた / 新規導入は「托」(6画)のみ
18. bis / 再 / 「アンコール！」「もう一度！」の掛け声や「bis」のニュアンスとして、中国語で「再」一字を採用 / 「再」(6画)は「再来」「再次」などで再利用しやすい
19. ripet / 重复 / 「繰り返す」の標準中国語。「重」(9画)＋「复」(9画) / 「重」は「重大」「重复」等、「复」は「复习」「恢复」等、いずれも汎用性が高い
20. foj / 次 / 「〜回」「〜度」といった回数や順序を表す際、中国語で「次」が馴染み深い / 日本語の「〜回」に相当するが、中国語では「第几次」など頻用
21. re / 再 / 「再び」「もう一度」という接頭辞。「bis」に使った「再」を再利用 / 同一漢字を積極的に使い回し
22. ili / 他们 / 三人称複数(人間)を示す標準中国語。単字では表しにくいので「他们」を採用 / 「他」(5画)＋「们」(5画)、いずれも非常に高頻度
23. si / 自己 / 三人称反身代名詞。「自分自身」を表す際、中国語で「自己」が最も自然 / 「自」(6画)と「己」(3画)。日本語話者にも意味が分かりやすい
24. anstataŭ / 代替 / 「〜の代わりに」「置き換える」に相当、中国語で「代替」が定番 / 「代」(5画)＋「替」(8画)はともに使用頻度が高い
25. anstataŭ## / 代替 / 上記と同語義(※語根でない注記あり)につき、同じく「代替」で対応 / 学習コスト削減のため使い回し
26. alternativ / 选项 / 「代替案」「オプション」の意味。中国語で「选项」が「代案」や「オプション」に近い / 「选」(9画)は「选择」等でも利用可、「项」(9画)は「项目」「事项」等にも転用

reciprok / 互 /

* + 選定理由: 「相互」「互い」を直接イメージできる簡体字として「互」は非常に代表的。画数(4画)も少なく学習コストが低い。
  + 学習コスト: 単独字で意味が伝わり、かつ日中双方で“互＝相互”の連想が比較的容易。

1. altern / 交 /
   * 選定理由: 「交替」「交互」「交流」などの語を連想できる。交差・交わるニュアンスがあり、「交互に起こる」との意味合いにも対応しやすい。
   * 学習コスト: 画数(6画)は多くない。日本語の「交(こう)」「交流」などからも意味を推測しやすい。
2. respond / 应 /
   * 選定理由: 中国語では「回应(返事する)」「应答(応答)」など、「答える・応じる」の意味に直結する字。
   * 学習コスト: 画数(7画)は比較的少なめで、「応」の旧字体とも近く、日本語話者も連想しやすい。
3. reflekt / 反射 /
   * 選定理由: 物理的な「反射」を表す標準的な熟語。「反」(逆・返す)＋「射」(放つ)で、光や音の反射をイメージしやすい。
   * 学習コスト: 「反」は既出で画数4画と少ないが、「射」(10画)が新出。ただし「反射」は中国語でも頻出。
4. eĥ / 回响 /
   * 選定理由: 中国語で「回响」は「こだま・反響・エコー」を意味する常用表現。「回声」も候補だが、後述の「影响(影響)」と部首「响」を共有できるため「回响」を採用。
   * 学習コスト: 「回」(6画)は比較的簡単、「响」(9画)は後述の「影响」にも登場し再利用可能。
5. reakci / 反应 /
   * 選定理由: 中国語で「反応」全般を表す最も一般的な単語。「反動」の含意も「反应(反応・リアクション)」に近い場面で用いられる。
   * 学習コスト: 「反」「应」はすでに登場(3や4)しており再利用。
6. efik / 效果 /
   * 選定理由: 「効果」「効き目」を示す標準表現。「有效(有効)」も候補だが、名詞としての「効果」感が強い「效果」を選択。
   * 学習コスト: 「效」(10画)＋「果」(8画)。「果」は後述の「结果」「后果」でも再利用。
7. influ / 影响 /
   * 選定理由: 「影響」を表す最も一般的な簡体字熟語。「影响力(影響力)」などでも使われる。
   * 学習コスト: 「响」は(5)で既出。「影」(15画)はやや画数が多いが、日中いずれも「影＝かげ」の意味で直感的に理解可能。
8. konsekvenc / 后果 /
   * 選定理由: 「後に生じる結果」→「後果」として、中国語で「事の帰結」「帰趨」を示す際によく使われる(特に悪い結果を連想しやすいが、広く“帰結”一般にも使われる)。
   * 学習コスト: 「后」(6画)＋「果」(8画)。「果」は(7)と共通。
9. rezult / 结果 /
   * 選定理由: 「結果として起こる」「帰結する」という意味を、中国語では「结果」で表しやすい。動詞的に「结果(…となる)」と用いる場合もある。
   * 学習コスト: 「结」(9画)＋「果」(8画)。すでに「果」は再利用。
10. rezultat / 结果 /
    * 選定理由: 名詞としての「結果」「成り行き」も中国語ではやはり「结果」を使う。動詞/名詞をエスペラントで派生的に区別しても、漢字は同じで問題ない。
    * 学習コスト: (10)と同じく「结果」を再利用。
11. renkont / 见面 /
    * 選定理由: 「(人と)会う」という最も一般的な中国語表現。「见(会う/見る)＋面(顔/面)」で「面会する」の感覚。
    * 学習コスト: 「见」(4画)は簡単で汎用性も高い。「面」(9画)も比較的頻出。
12. tuŝ / 触 /
    * 選定理由: 「触れる」「触る」をストレートに表す簡体字。単独でも「接触」の「触」部分としても使われる。
    * 学習コスト: 10画だが、「接触」(後述)で再登場予定のため有用。
13. kontakt / 接触 /
    * 選定理由: 「接触(する)」「コンタクト」を示す標準熟語。物理的・人的な「触れ合い」の両方を指せる。
    * 学習コスト: 「接」(11画)＋「触」(既出)。やや画数多めだが、中国語での認知度は高い。
14. traf / 击中 /
    * 選定理由: 「(的に)命中する」→「击中」は「狙いを打ち当てる/当たる」の定型表現。「打中」などの類似表現もあるが、「击」は後述「攻击」と統一。
    * 学習コスト: 「击」(5画)＋「中」(4画)はいずれも非常に基本的な字。
15. palp / 摸 /
    * 選定理由: 「(手探りで)触る/探る」を最も直接的に表す単字。「触診する」「手探りする」などのニュアンスで広く使える。
    * 学習コスト: 13画と少し多いが、中国語では頻用。単独で完結できる強み。
16. atak / 攻击 /
    * 選定理由: 「攻撃」を表す標準的な簡体字熟語。「攻」＋「击」で“攻める”＋“打つ”のニュアンス。
    * 学習コスト: 「击」は(15)と共通。新出の「攻」(7画)も比較的シンプル。
17. invad / 入侵 /
    * 選定理由: 「侵入」「侵攻」を意味する代表的表現。「侵入」と書く場合もあるが、中国語では「入侵」の形も非常に多用される。
    * 学習コスト: 「入」(2画)は最少レベルで、「侵」(9画)も常用。
18. penetr / 穿透 /
    * 選定理由: 「貫通する」「浸透する」の意でよく使う熟語。「渗透」もあるが、「穿透」は物理的な「突き抜け」を強調しわかりやすい。
    * 学習コスト: 「穿」(9画)＋「透」(10画)でやや多めだが、いずれも日常語彙。
19. infekt / 传染 /
    * 選定理由: 「感染」「伝染」を表す簡体字。「感染(感染)」もあるが、画数を抑えるため「传染」を採用。実際の用法範囲も広い。
    * 学習コスト: 「传」(6画)＋「染」(9画)。ともに頻出字なので学習価値は高い。
20. gajn / 赢 /
    * 選定理由: 中国語の「赢」は「勝ち取る」「勝利を得る」の最も直接的な単字表現。金銭を“勝ち取る”(博打・競争など)にも使える。
    * 学習コスト: 13画と少し多めだが、一文字で“勝ち(収益)を得る”を明確に表せる。
21. venk / 胜 /
    * 選定理由: 「勝利」「勝つ」の簡体字として最も代表的な「胜」。敵を倒す・試合に勝つ両方に使える。
    * 学習コスト: 9画。日本語「勝」の簡体字形であり、連想しやすい。
22. konker / 征服 /
    * 選定理由: 「征服」「制圧する」を意味する標準表現。敵国を攻め落とすなど“征圧”のニュアンスが明確。
    * 学習コスト: 「征」(8画)＋「服」(8画)はいずれも比較的常用。
23. aĉet / 买 /
    * 選定理由: 「買う」の簡体字。画数(3画)が非常に少なく、日本語「買」に対応し直感的。
    * 学習コスト: 極めて簡単。広く使われる基本字。
24. ricev / 收 /
    * 選定理由: 中国語で「収める/受け取る」の基本動詞。「收到(受け取る)」などの形でも使えるが、単字「收」だけでも「受取る」意味を担える。
    * 学習コスト: 6画。意味が広く、学習価値大。
25. akir / 取 /
    * 選定理由: 「取る」「獲得する」「入手する」を表す単字。中国語「取得(獲得する)」の基本要素で、比較的画数も少ない(8画)。
    * 学習コスト: 単字で「得る」行為を示せるので汎用性が高い。
26. kapt / 抓 /
    * 選定理由: 「捕まえる」「掴む」を表す際に頻用。「捉」や「捕」もあるが、画数(7画)がより少なく、かつ「逮捕」「逮捉」ほどの硬さもない。
    * 学習コスト: 比較的単純形で、中国語で日常的に使われる。

arest / 逮捕 /

* + 選定理由: 中国語でも日本語でも「逮捕」は非常に分かりやすく、「(犯人を)捕らえる・逮捕する」という意味が直接表れます。
  + 学習コスト: 「逮(辶+代)」「捕(扌+甫)」ともに多少画数はありますが、両言語での認知度が高く、“逮捕”という組み合わせは馴染みがあるため妥当と考えました。

1. ten / 持 /
   * 選定理由: 「持」は日本語の「持(も)つ」「保持」、中国語の「持有」「保持」など、いずれも「手に保つ・支える」というニュアンスで共通性が高いです。
   * 学習コスト: 9画とそこそこありますが、日中ともに頻出する常用漢字であり、意味も直感的に分かりやすいでしょう。
2. pren / 取 /
   * 選定理由: 「取」は日中で「(手に)取る」「取得する」の基本的な意味を持ち、非常に分かりやすい漢字です。
   * 学習コスト: 8画ですが、日本語・中国語ともによく使う漢字なので学習優先度は高めです。
3. konfisk / 没收 /
   * 選定理由: 中国語で「没收(mòshōu)」は「没収」を意味し、日本語の「没収」と漢字が共通しています。「没(沈む/失うの意)＋收(取り上げる意)」で、「取り上げる」「取り上げられる」というニュアンスが明確です。
   * 学習コスト: 「没」と「收」は単独でもそれぞれ常用度が高く、学習コストを比較的抑えられます。
4. uzurp / 夺 /
   * 選定理由: 「夺(奪の簡体字)」は「奪う、取り上げる」を意味し、中国語では「夺权(権力を奪う)」「夺取(奪取)」など「強引に自分のものにする」感が強い字です。
   * 学習コスト: 6画と画数は少なく、意味もはっきりしています。日本語の常用漢字ではありませんが、形の簡潔さを優先しました。
5. akapar / 买断 /
   * 選定理由: 中国語「买断(mǎiduàn)」は「(市場の在庫・権利等を)買い占める」「買い切る」「買い切りにする」の意で、比較的わかりやすい表現です。
   * 学習コスト: 「买(買の簡体)」「断(日本語の『断』と同形)」ともに頻度は高め。2文字ですが、今後「买」「断」を他でも流用可能です。
6. korupt / 收买 /
   * 選定理由: 中国語で「收买(shōumǎi)」は「買収する」「金や利益で人を取り込む」という意味を持ちます。日本語にも「買収(ばいしゅう)」の概念があり、対応が取りやすいです。
   * 学習コスト: すでに(4)「没收」で「收」、(6)「买断」で「买」を使っているため、新出漢字が増えず学習コストを抑えられます。
7. kon / 认识 /
   * 選定理由: 中国語で「认识(rènshi)」は「人や事物を認識する・知っている(面識がある)」という意味。エスペラントのkon(人や物事を“知っている・わかっている”= be acquainted with)のニュアンスに合致します。
   * 学習コスト: 「认(認の簡体)」「识(識の簡体)」はいずれも常用度が高く、今後「意識(意识)」などでも「识」を再利用できます。
8. sci / 知道 /
   * 選定理由: 中国語で「知道(zhīdào)」は「(情報や知識として)知っている」という意味。エスペラントsciの「(事柄を)知る」に相当します。
   * 学習コスト: 「知」「道」はともに非常に頻度が高く、日本語でも「知る」「道」の字として馴染みあり。
9. kompren / 理解 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「理解(lǐjiě)」は「(内容を)分かる、理解する」意味で共通し、非常に分かりやすい。
* 学習コスト: 「理」「解」はやや画数多めですが、頻出度が高く日中ともに意味が直感的です。

1. rimark / 发现 /

* 選定理由: 中国語「发现(fāxiàn)」は「気づく」「発見する」「発覚する」を含む広義で使われます。エスペラントrimark(気づく、注目する)のニュアンスにも十分対応します。
* 学習コスト: 後述のtrov(=見つける)にも同じ「发现」をあてて重複利用可能。新出漢字を増やさずに済む利点があります。

1. konsci / 意识 /

* 選定理由: 中国語「意识(yìshí)」は「意識(する)」「自覚(する)」の意味で、エスペラントkonsciの「意識している、わかっている」に対応。
* 学習コスト: 「意」「识」はどちらも常用度が高く(すでに“认识”で「识」を使用)、比較的わかりやすいです。

1. invent / 发明 /

* 選定理由: 中国語の「发明(fāmíng)」は「発明する」、日本語でも「発明」と同じ字で意味が一致。
* 学習コスト: 「发(發の簡体)」「明」はいずれも頻出字。後述(24)声明で「明」を再利用するなど、今後も応用可能です。

1. trov / 发现 /

* 選定理由: 中国語「发现」は「見つける」「発見する」の意味も含むため、rimarkと同様に割り当て可能。
* 学習コスト: (11)で既出の「发现」をそのまま流用することで、学習すべき新規漢字が増えません。

1. serĉ / 搜索 /

* 選定理由: 中国語「搜索(sōusuǒ)」は「(徹底的に)捜索する」「検索する」の意味で、「探し回る・探し出す」というニュアンスに近い。
* 学習コスト: 「搜」「索」はいずれも検索・捜索関連で頻繁に使われるため、学習価値があると言えます。

1. esplor / 研究 /

* 選定理由: 「研究(yánjiū)」は「探求・調査・研究する」という意味で、中国語・日本語ともに広く使われます。エスペラントの「探求・研究」のニュアンスに合致。
* 学習コスト: 「研」「究」は頻度も高く、他の学術関連語にも転用しやすいです。

1. aviz / 告知 /

* 選定理由: 「告知(gàozhī)」は「知らせる・通知する」という意味で、比較的簡潔。中国語でも「告知书」などと用いられ、日本語でも「告知」は馴染みがあります。
* 学習コスト: 「告」は後述(18)(23)(26)などでも使い回し予定。「知」は(9)「知道」と同じで既出。

1. avert / 警告 /

* 選定理由: 「警告(jǐnggào)」は日中ともに「警戒して告げる」⇒「警告する」として非常に分かりやすい表現。
* 学習コスト: 「警」は画数がやや多いですが、(19)や他の警報関連表現でもよく出る常用字。「告」は(17)「告知」で既出。

1. alarm / 警报 /

* 選定理由: 「警报(jǐngbào)」は「警報」を意味し、まさに“alarm”に相当。
* 学習コスト: 「警」は(18)で既出、「报」は(25)海报などでも再利用可能。

1. manifest / 表明 /

* 選定理由: 「表明(biǎomíng)」は「表して明らかにする」、転じて「自分の意志や態度をはっきり示す」意味。エスペラントの「manifest(明示する/宣言・声明など)」に近い。
* 学習コスト: 「表」「明」はいずれも中国語・日本語で常用されます。(13)発明で「明」既出。

1. deklaraci / 宣言 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「宣言(xuānyán)」は「公に表明する」「宣言する」という意味で完全に一致。
* 学習コスト: 「宣」「言」は今後(22)「宣布」などにも使われる可能性があり、汎用性が高いです。

1. proklam / 宣布 /

* 選定理由: 「宣布(xuānbù)」は「布告する、(正式に)公表・公布する」というニュアンスで、「proclaim(布告・声明)」に対応します。
* 学習コスト: 「宣」は(21)で既出、「布」は5画で比較的少なく、他の語にも使われる漢字。

1. anonc / 公告 /

* 選定理由: 「公告(gōnggào)」は「公に告げる」「公表する」の意で、エスペラントanonc(公にお知らせする)に近い。
* 学習コスト: 「公」は4画、「告」はすでに(17)(18)で使用しており、重複利用が可能。

1. deklar / 声明 /

* 選定理由: 「声明(shēngmíng)」は「(立場や意見を)声明する、はっきり表明する」の意味。エスペラント“deklar”の「宣言する、言明する」とほぼ一致。
* 学習コスト: 「声」は7画、「明」は(13)(20)などですでに用いるので、学習コストを抑えられます。

1. afiŝ / 海报 /

* 選定理由: 中国語の「海报(hǎibào)」は「ポスター」を意味し、日本語でも「海報」と書けば「ポスター」の意だと類推しやすい(実際にはあまり使われませんが、漢字としては対応)。
* 学習コスト: 「海」は10画、「报」は(19)警报で使用済み。後述(26)広告にも近い漢字「告」があり、関連づけて覚えやすい。

1. reklam / 广告 /

* 選定理由: 中国語「广告(guǎnggào)」は「広告」を意味し、日本語でも「広告」と同じニュアンスと認識しやすい(簡体字「广」+「告」)。
* 学習コスト: 「广」は3画と少なく、「告」は(17)(18)(23)などと共通。使い回しにより学習負担を軽減。

1. propagand / 宣传 /

* 選定理由: 中国語「宣传(xuānchuán)」は「宣伝する、広報する、(主張を)広める」といった意味合いで、プロパガンダや宣伝に相当。
* 学習コスト: 「宣」は(21)(22)で既出、「传(傳の簡体)」は6画で比較的シンプル。日本語「伝」と近く、イメージしやすいでしょう。

komunik

* + 通
  + 「通」は「通じる・通す・通じ合う」など「コミュニケーション」「連絡」「交通」等の意味を持ち、広く“伝達・通達”を表せる。
  + 画数はやや多い(「辶+甬」で計10画)が、中国語・日本語ともに頻出で汎用性が高い。

1. inform
   * 告
   * 「告」は「告げる・知らせる・告知する」の意味を持つ。日本語でも「広告」「告知」「報告」などで使われる。
   * 単独で「通知」「知らせ」のニュアンスを示せるため、学習コストを抑えつつ“inform”の意味を明示できる。
2. raport
   * 报
   * 簡体字「报」(日本語の「報」)は「報告」「報道」「報える」など“report”の語感とよく対応する。
   * 「告」と同じく非常に頻出の字であり、学習コストも比較的低い。
3. bulten
   * 通报
   * 中国語で「通报」は“公報・通報・公式なお知らせ”など“bulletin”に近い。既出の「通」と「报」を組み合わせるだけなので新規漢字を増やさない。
   * 学習コストを抑えつつ、意味も明確。
4. depeŝ
   * 急报
   * 「急报」は「急な知らせ」「緊急報」など“急報・緊急の伝達”にあたる。既出「报」を再利用し、新たに「急」を導入。
   * 「急」は日本語でも「急ぐ」「緊急」などに使い頻出度が高い。
5. peĉ
   * 沥青
   * 「沥青」は中国語でアスファルト/ピッチの一般的表現(日本語の「瀝青」に相当)。1文字で同義を示す漢字は存在しないため2文字熟語を採用。
   * やや専門用語であるため新規漢字(沥・青)が増えるが、正確な化学用語として適切。
6. punkt
   * 点
   * 「点」は“点・ドット・小さなマーク”などに対応し、“punct”=「点」を表すのにちょうどよい。
   * 日本語でも「点数」「重点」など頻用され、画数(9画)も極端に多くない。
7. poent
   * 分
   * 中国語で「得分(得点)」「积分(スコア)」など、試合やテストの“ポイント”を表すとき「分」を多用する。“score”の意味合いに適合。
   * 画数も4画と少なく、再利用性も高い。
8. not
   * 记
   * 「记」は「記録する・書き留める」を意味し、メモ(覚え書)や注記など“note”に相当。
   * 日本語の「記」とほぼ同じ概念で、5画とシンプル。
9. komentari

* 评论
* 中国語で「评论」は“論評・コメント・レビュー”全般を指す。“-ari”の動作性を強調するならこちらが自然。
* 新たに「评(評)」「论(論)」を導入するが、ともに頻出漢字で今後も使い回しやすい。

1. koment

* 评
* 上記「评论」のうち、ベースとなる「评」(=「評」)のみを用いて“comment(注釈・論評)”という核心部分を表す。
* 将来的に上付き文字などで「komentari(评论)」との区別をつける想定。

1. fokus

* 焦点
* 「焦点」は“focus(理学的・比喩的な焦点)”そのものを表す熟語。既出の「点」と新出の「焦」を組み合わせ。
* 「焦」はやや画数(12画)が多いが、中国語・日本語で「焦点」の組み合わせは非常に標準的。

1. akcent

* 重音
* 中国語で「重音」は強勢・アクセント(特に音声学でのストレス)を示す。
* 新たに「重」「音」を導入するが、いずれも基礎的で他用例(音乐、声音、重要等)も多く汎用性が高い。

1. emfaz

* 强调
* 「强调」は“強調する・力説する”に対応。
* 「强(強)」「调(調)」ともに中国語でよく使われる字。今後「音调(音調)」などでの再利用も可能。

1. ŝajn

* 似
* 「似」は「似ている・～のように見える」の意。“～と見える、～のように思える”という“appear/seem”のニュアンスに近い。
* 画数は4画と少なく、日本語の「似る」に通じるため理解しやすい。

1. aspekt

* 样子
* 中国語で「样子」は「見た目・様子・外観」の意味。見た目の“aspect/appearance”を表す場合に通用しやすい。
* 「样(樣)」「子」はともに頻用字。新規だが、学習コストは比較的低い。

1. vid

* 见
* 「见」(日本語の「見」)は「見る・会う」を意味し、“to see/meet”に相当。
* 4画と簡単で、最も基本的な「見る」を表すには最適。

1. rigard

* 看
* 「看」は「見つめる・眺める・注視する」などの意味で、“to look/watch”として適切。“vid(见)=見る(視界に入る)”と区別。
* 9画だが日本語の「看板」「看護」などにもあり、なじみは大きい。

1. aŭdienc

* 召见
* 「召见」は「(上位者が人を)召して会見する」を意味し、公的な“引見・公式謁見”に対応する。
* 既出「见」を再利用し、「召」を新規導入。どちらも画数は大きくなく比較的覚えやすい。

1. referenc

* 参考
* 「参考」は“参照”・“reference”に相当し、中国語でも極めて一般的。
* 新規「参」「考」を導入するが、いずれも学習者に馴染みやすい常用字。

1. indeks

* 索引
* 「索引」は辞書や書籍の“インデックス”を指す標準的な表現。
* 新規「索」、既出「引」(※後述の「引用」で重複使用)を使い、意味も分かりやすい。

1. sugesti

* 建议
* 「建议」は“提案・助言・提言・(行動を)勧める”の意味で、“suggest”に合う。
* 新たに「建」「议」を導入するが、いずれも使用頻度が高め。

1. revelaci

* 启示
* 「启示」は特に宗教的文脈などで“啓示・revelation”を指すのに用いられる。
* 新規「启」、既出「示」(後の「montr」「暗示」などとも関連)を利用。

1. montr

* 示
* 本来は単独使用より「表示」「指示」などでよく用いられるが、“to show/示す”の核心を担う部首的要素。
* 「启示」などでも既出のため、追加負担なく“示す”の意を割り当てられる。

1. indik

* 指
* 「指」は“指し示す”の意味をもち、“to indicate”に相応。
* 「指示」とも書けるが、本タスクでは1文字割当を優先し、9画と比較的わかりやすい「指」を採用。

1. alud

* 暗示
* 「暗示」は“ほのめかす・間接的に示す”の意味で“allude/hint”に近い。
* 既出「示」を再利用し、新規「暗」を追加。やや画数(13画)が多いが常用度は高め。

1. cit

* 引用
* 「引用」は“引用する・引き合いに出す”の標準表現で、“to cite/quote”に対応。
* 既出「引」と新規「用」を組み合わせており、新たな漢字は1つだけに抑えられる。

menci / 提 /

* + 理由：「提到」「提及」などで「言及する・述べる」という意味を持ち、中国語でも「mention」のニュアンスが比較的明確。
  + 学習コスト：画数はやや多め(提=12画)だが、比較的常用される字であり、日本語の「提案」「提起」等からもイメージしやすい。

1. pasi / 热情 /
   * 理由：「热情」は「情熱」「パッション」に相当し、日本語の「熱情」に近い。中国語でもポジティブな「強い情熱」の意味で広く使われる。
   * 学習コスト：既出または今後で使い回しが期待される「热」(熱)や「情」は常用字。二字熟語だが双方で意味を取りやすい。
2. fervor / 热心 /
   * 理由：「热心」は「熱心」「熱意」の意。情熱・熱心さを表す際によく使われる。
   * 学習コスト：「热」は先に登場しているため再利用。「心」は基本漢字で画数も少なく、複数語根で流用が期待できる。
3. entuziasm / 狂热 /
   * 理由：直訳すると「狂ったような熱」で、「熱狂」「狂熱」を表す標準的な中国語。日本語の「熱狂」に相当。
   * 学習コスト：「热」を再利用。「狂」は新出だが7画と比較的少なめで、常用頻度も高い。
4. sci/vol## / 好奇 /
   * 理由：C1にあるとおり「好奇」は「好奇心のある」「curious」に対応。
   * 学習コスト：「好」(6画)＋「奇」(8画)で計14画だが、「好奇心」は日中ともに馴染み深い表現。
5. interes / 兴趣 /
   * 理由：「兴趣」は「興味」「関心」「面白み」を表す最も一般的な中国語表現。動詞的にも「〜に興味を持たせる」文脈で使える。
   * 学習コスト：「兴」(6画)＋「趣」(15画)とやや多めではあるが、非常に高頻度の熟語。
6. interes## / 兴趣 /
   * 理由：上記(6)の名詞形「interest」に相当。「興味」「関心」という意味なので同じ「兴趣」で統一。
   * 学習コスト：同一語根(形容/動詞用法と名詞用法)なので、同じ表記にして学習効率を高める。
7. ambici / 野心 /
   * 理由：「野心」は日本語でも「野心」と書き、中国語でも“ambition”にあたる標準的な語。
   * 学習コスト：「野」(11画)＋「心」(4画)で15画。すでに「心」は再利用可能なので比較的覚えやすい。
8. dezir / 欲 /
   * 理由：「欲」は「欲望」「欲する」など「強い望み・欲求」を指す常用字。日本語でも「食欲」「性欲」などに使われ、意味の連想が容易。
   * 学習コスト：単字(10画)であり、「欲求」「欲望」など他の派生熟語にも応用可。
9. esper / 希望 /

* 理由：「希望」は「(を)希望する」の意味として中国語でも非常にポジティブな基本単語。日本語の「希望」と一致しわかりやすい。
* 学習コスト：二字熟語(希:7画＋望:7画=計14画)だが、どちらも日中でよく使われる。

1. avid / 渴望 /

* 理由：「avid」は「渇望している」「強く欲する」意味。中国語の「渴望」は「熱心に欲しがる/切望する」ニュアンス。
* 学習コスト：「渴」(11画)＋「望」(7画)。既に(10)の「望」、(14)で使う予定の「渴」を再利用でき、学習コストを抑えられる。

1. aspir / 志向 /

* 理由：「aspire」は「(高い目標を)志す」「熱望する」等。中国語の「志向」は「〜を志す」「〜の方向を目指す」の意味合い。
* 学習コスト：「志」(7画)＋「向」(6画)=13画。どちらも比較的よく使われる字で、他でも応用可能。

1. apetit / 食欲 /

* 理由：C1にある通り「食欲」はそのまま「(生理的な)食欲」。日本語でも同形で意味が直感しやすい。
* 学習コスト：「食」(9画)＋「欲」(10画)=19画。「欲」は(9)で既出、再利用可能。

1. soif / 渴 /

* 理由：「soif」は「喉が渇く」「渇き」を表すので、中国語の「渴」と完全対応。「口渴(喉が渇いた)」という使い方もある。
* 学習コスト：単字(11画)。前後で「渴望」(avid)と組み合わせるなど、再利用が利く。

1. sopir / 向往 /

* 理由：「sopir」は「恋しがる」「憧れる」「切望する」の意。中国語「向往」は「(将来/遠方を)憧れる・思い焦がれる」のニュアンスが近い。
* 学習コスト：「向」(6画)＋「往」(8画)=14画。「向」は(12)「志向」で既出。

1. verv / 活力 /

* 理由：「verve」は「(芸術・精神面での)活気・熱気・勢い」。中国語「活力」は「生き生きとした力」「バイタリティ」に近い。
* 学習コスト：「活」(9画)＋「力」(2画)=11画と比較的シンプルで、日中ともに馴染み深い。

1. vigl / 活泼 /

* 理由：「vigl」は「活発な」「生き生きとした」。中国語で「活泼」はまさに「元気ではつらつ」「子供などが活発」の意味。
* 学習コスト：「活」は(16)で既出。「泼」(8画)は初出だが常用。

1. aktiv / 活动 /

* 理由：「aktiv」は「活動的な」「積極的に動く」。中国語で「活动」は「(身体/社会的に)活動する、行動する」などに当たる。
* 学習コスト：「活」は再利用、「动」(6画)も基本字で、合わせて15画。

1. nervoz / 紧张 /

* 理由：「nervoz」は「神経質な」「緊張している」。中国語の「紧张」は「不安で落ち着かない、緊張した」の意に合致。
* 学習コスト：「紧」(10画)＋「张」(7〜10画と数え方次第)で常用表現。やや多画だが、頻度が高く広く使われる。

1. nerv / 神经 /

* 理由：「nerv」は医学的な「神経」を指す。中国語の「神经」はそのまま「nerve」。
* 学習コスト：「神」(5画)＋「经」(7画)=12画。いずれも比較的馴染み深い。

1. energi / 能量 /

* 理由：「energy」「エネルギー」に対応。中国語で物理的エネルギーや比喩的「活力」も表せる標準語。
* 学習コスト：「能」(10画)＋「量」(12画)=22画とやや多いが、どちらも使用頻度は高め。

1. anim / 魂 /

* 理由：「anim」は「魂」「霊魂」。単字「魂」は「霊魂」を直接表す常用漢字。
* 学習コスト：やや画数(13前後)は多いが、中国語・日本語いずれでも「魂＝たましい」として比較的認知されやすい。

1. spirit / 精神 /

* 理由：「spirit」は「精神」「心の働き」。中国語で「精神」は「精神・意識・活力」など総合的に「スピリット」を指す。
* 学習コスト：「精」(10画)＋「神」(5画)=15画。既出の「神」を再利用。

1. mens / 心智 /

* 理由：「mens」は「心」「知性」「知能」を含む「mind」。中国語「心智」は「心(感情)＋智(知能)」をまとめた表現。
* 学習コスト：「心」(4画)は頻出済み。「智」(8画)も比較的ポピュラー。

1. spion / 间谍 /

* 理由：「spion」は「スパイ」。中国語の「间谍」が最も一般的な訳。
* 学習コスト：「间」(7画)＋「谍」(12画)=19画。やや多めだが標準的単語。

1. sfinks / 狮身人面像 /

* 理由：「スフィンクス」は中国語でほぼ固定的に「狮身人面像」。
* 学習コスト：4文字で画数も多めだが、固有名詞であり標準表記。学習頻度は低いため割り切りが可能。

1. ĉampan / 香槟 /

* 理由：「シャンパン」は中国語で「香槟」が一般的(「香槟酒」とも)。日本語にも「シャンパン」の音を連想しやすい。
* 学習コスト：「香」(9画)＋「槟」(13〜14画)で二字熟語だが、外来飲料名として定着。

skandal

* + 提案: 丑闻
  + 選定理由: 中国語で「スキャンダル」に最も一般的なのは「丑闻」。1文字で表すのは難しく、2文字熟語「丑闻」が定着している。
  + 学習コスト: 「丑(醜)」と「闻」はそれぞれ画数は多くない(丑は4画、闻は9画の簡体字)ので比較的負担は少ない。

1. gust
   * 提案: 味
   * 選定理由: 「味」は「味・味わい・味覚」を表す常用字で、日本語圏にも馴染みが深く、画数も少ない(8画)。
   * 学習コスト: シンプルな1文字であり、「口」を含むため「嗅」「吸」「呼」などとも部品が共通し覚えやすい。
2. spic
   * 提案: 香料
   * 選定理由: 「spic」は「香辛料(スパイス)」の意。中国語でも「香料」は非常に一般的な表現。1文字「香」だけでは「香り」一般を指し、調味料という意味合いが伝わりにくいため、2文字熟語を採用。
   * 学習コスト: 「香」はのちに「香水」「麝香」などでも使えるため汎用性が高い。「料」は「料理」「材料」などに通じるため日本語圏にも馴染みがある。
3. parfum
   * 提案: 香水
   * 選定理由: 「perfume＝香水」は日中ともに対応が明確で、意味の混乱がない。「香」単独だと「香り/お香」になってしまうため、2文字熟語が望ましい。
   * 学習コスト: 「香」は既出(上記 spic など)、「水」は画数が少なく普遍的。再利用しやすい。
4. arom
   * 提案: 香气
   * 選定理由: 「aroma＝香り」「芳香」を指すとき、中国語では「香气」「香味」などが一般的。すでに「香」を多用しているので、「气」を組み合わせて「香气」とした。
   * 学習コスト: 「香」は既出、「气」は後述の「空气」「大气」「气味」「气体」などにも使えるため汎用性が高い。
5. odor
   * 提案: 气味 (※簡体字では「气味」)
   * 選定理由: 「odor」は「におい(臭い・香り含む)」全般。中国語では「气味」が最もポピュラー。「臭」だと悪臭のニュアンスが強く、ニュートラルな「におい」を表しにくいため2文字熟語「气味」を選んだ。
   * 学習コスト: 既出の「气」と「味」を組み合わせており、学習負担を抑えられる。
6. flar
   * 提案: 嗅
   * 選定理由: 「嗅」は「(鼻で)嗅ぐ」を端的に表す常用字。中国語でも「嗅觉(嗅覚)」「嗅到(嗅ぎ当てる)」などで使われる。
   * 学習コスト: 「口」+「臭」の組み合わせで構成される形で、やや画数が多い(13画)が、動詞「においを嗅ぐ」の意味としては最適。
7. mosk
   * 提案: 麝香
   * 選定理由: 「musk＝麝香」。1文字「麝」(麝香鹿等)はややマイナーで画数も多いが、「麝香」は日中ともに「ムスク」の定訳なので分かりやすい。
   * 学習コスト: 「香」は再利用可。「麝」はやや難字だが、専門用語的な性格もあるため妥協案として2文字熟語で確定。
8. incens
   * 提案: 香
   * 選定理由: 「incense＝お香、線香」を意味するとき、中国語でも「香」を使う。
   * 学習コスト: 既出の「香」。単独で「お香」を表す場合、中国語では「点香(お香を点じる)」などの表現があるが、基本の1字として「香」は妥当。
9. aer

* 提案: 空气
* 選定理由: 「空気＝空气」が最も一般的な中国語。1文字「气」だけでは「空気」か「ガス」かあいまいなので、分かりやすさ優先で2文字を採用。
* 学習コスト: 「空」は画数こそ9画だが日本語圏にも馴染みがあり、「气」は繰り返し活用できる。

1. atmosfer

* 提案: 大气
* 選定理由: 「大气」は「大気(地球の大気)」を指す標準表現の一つ。より厳密には「大气层」(大気層)という場合もあるが、ここでは短縮形を採用。
* 学習コスト: 「大」はごく基本字、「气」は既出。2文字で簡明。

1. vapor

* 提案: 汽
* 選定理由: 「vapor＝蒸気」を端的に示す単字は「汽」(例: 汽车の語源は「蒸気自動車」)。厳密には「蒸汽」と書く場合が多いが、ここでは画数を減らし、単字「汽」で「蒸気」の意味を与える。
* 学習コスト: 7画の常用字。「气」と部品が似ており、関連づけて覚えられる。

1. gas

* 提案: 气 (※簡体字「气」)
* 選定理由: 「gas＝気体」。中国語で「气体」とするのが一般的だが、1文字で「気(气)」とすれば学習コストを下げつつ「空気等とは違う“ガス全般”」を指すことも可能。
* 学習コスト: すでに多用している「气」で再利用性が高い。

1. stertor

* 提案: 喘
* 選定理由: 「あえぎ(喘ぐ)」「荒い呼吸」を表すには「喘」が最適。中国語で「喘息」(喘ぐこと)のように用いる。
* 学習コスト: 口偏+耑( Zhuān )で13画だが、「息」「哮喘」など後の語と組み合わせるときにも再利用できる。

1. astm

* 提案: 哮喘
* 選定理由: 「喘息・ぜんそく」は中国語で「哮喘」が定訳。1文字化は難しいため2文字熟語を選択。前項の「喘」とペアになっている。
* 学習コスト: 「哮」(10画) + 「喘」(13画) だが、医療用語としてはやむを得ない。今後「喘」を覚えていれば区別がつけやすい。

1. patent

* 提案: 专利
* 選定理由: 「特許」の中国語は「专利」が定着。1文字で済ませる表現がなく、2文字熟語で確定。
* 学習コスト: 「专」(4画)と「利」(7画)はいずれも常用・基本字。

1. inĝenier

* 提案: 工程师
* 選定理由: 「エンジニア」は中国語で「工程师」が最も一般的。日本語の「技師」寄りの表現だと「技师」もあるが、エンジニア全般は「工程师」の方が自然。
* 学習コスト: 「工」(3画)「程」(12画)「师」(6画)はいずれも常用字。少々長いが中国語としては標準的。

1. art

* 提案: 艺
* 選定理由: エスペラント「art」は「芸術・技芸」全般を指すことが多い。中国語で「芸術」は「艺术」だが、ここでは1文字化して学習負担軽減を図り「艺」を採用(簡体字で4画)。
* 学習コスト: 一文字で「技芸・芸術」の根幹を示せる。「艺术」と区別する場合は今後「术」を付けるなど応用が効く。

1. teknik

* 提案: 技术
* 選定理由: 「技術・テクニック」を表す場合、最も一般的なのは「技术」。
* 学習コスト: 「技」(7画)と「术」(5画)の組み合わせ。比較的簡明であり、「teĥnik」にも転用しやすい。

1. teĥnik

* 提案: 技术
* 選定理由: 「teknik」と同義(正書法上の違いのみ)なので、同じ「技术」で統一するのが簡潔。
* 学習コスト: すでに上記(19)で出現済みのため追加負担なし。

1. kvalit

* 提案: 质量
* 選定理由: 「品質・クオリティ」を中国語で最も表現しやすいのは「质量」(※質+量)。厳密には「品质」という言い方もあるが、製品品質など広く「质量」とするのが常套。
* 学習コスト: 「质」(8画) + 「量」(12画)はいずれも日常的に使われる字。やや合計画数は多めだが、一般用語として確立している。

1. karakteriz

* 提案: 特征
* 選定理由: 「～を特色づける」「特徴づける」という意味合いで、中国語では「特征」(名詞「特徴」)が核。動詞化して「使…具有特征」などと使うが、ここでは簡潔に2文字熟語を選択。
* 学習コスト: 「特」(10画) + 「征」(8画)。後述の「特色」などとも部品を共有(「特」)し、再利用しやすい。

1. atribut

* 提案: 属性
* 選定理由: 「属性・アトリビュート」は中国語で「属性」が一般的。
* 学習コスト: 「属」(12画) + 「性」(8画)で合計20画とやや多いが、IT用語などでも頻出で馴染みはある。

1. karakter

* 提案: 性格
* 選定理由: 「性格・キャラクター(人の人格的特徴)」を表す際、中国語の定訳は「性格」。
* 学習コスト: 「性」(8画) + 「格」(10画)。一般的で、日本語圏にもわかりやすい。

1. ec

* 提案: 性
* 選定理由: エスペラントの接尾辞「-ec-」は「性質・状態」の抽象名詞を作る機能をもつ。中国語でも形容詞を名詞化する際に「～性」と付ける用法があるため、「性」を割り当てるのが自然。
* 学習コスト: すでに「性格」「属性」などに登場している「性」を再利用できるので負担増を抑えられる。

1. funkci

* 提案: 功能
* 選定理由: 「機能・働き・機能する」は中国語で「功能」。1文字で正確に表すのは困難。
* 学習コスト: 「功」(5画) + 「能」(10画)。日常的にも「功能键(機能キー)」などでよく使われる組み合わせ。

volupt

* + 提案漢字: 欲
  + 選定理由: 「欲」は「欲望」「性欲」など、官能的・感覚的な欲求を連想しやすい漢字。
  + 学習コスト: 画数はやや多め(11画)だが、日本語・中国語双方で「欲しい／欲望」など馴染みがあり、意味の連想はしやすい。

1. pov
   * 提案漢字: 能
   * 選定理由: 「能」は「～できる」「能力がある」の意味を持ち、エスペラントの “pov” と対応しやすい。
   * 学習コスト: 10画だが、日本語の「才能・能力」、中国語の「能够」などで認知度が高い。
2. talent
   * 提案漢字: 才
   * 選定理由: 漢字「才」は日本語・中国語ともに「才能」「天才」の要素を示す非常に基本的な文字。
   * 学習コスト: 画数3画と少なく、汎用性も高い。
3. kapabl
   * 提案漢字: 能
   * 選定理由: 「capable, able」を示す語根。すでに pov で用いている「能」を再利用し、「～できる」「有能な」という意味をカバー。
   * 学習コスト: 同じ「能」を再利用するため、追加負担なし。
4. kompetent
   * 提案漢字: 能
   * 選定理由: 「competent, 勝任できる、適任である」のニュアンス。すでに使っている「能」で「有能」「能干」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 重複使用により学習負担を抑制。
5. merit
   * 提案漢字: 值
   * 選定理由: 中国語で「值得(～に値する)」といった表現に用いられる「値/值」は、「～に値する」「～するに値する」という語感を持つ。
   * 学習コスト: 10画だが、「値段」「価値」を表す要素として日本語圏にも馴染みあり(日本語の「値」は形がほぼ同じ)。
6. ind
   * 提案漢字: 值
   * 選定理由: エスペラントの接尾辞「-ind-」(～に値する、価値がある)も「值(～に値する)」で対応可能。
   * 学習コスト: 上と同一文字を再利用。
7. kost
   * 提案漢字: 费
   * 選定理由: 「cost, ～にコストがかかる」→ 中国語では「费用(費用)」「花费(費やす)」など「费」が中心的な語幹。
   * 学習コスト: 9画で、それほど複雑ではない。費用・消費など、日本語の「費」にも通じる。
8. valor
   * 提案漢字: 值
   * 選定理由: 「価値、値打ち」を表す。中国語で「价值(value)」の「值」を流用できる。
   * 学習コスト: すでに “merit” などで使用しており追加負担なし。
9. ŝat

* 提案漢字: 好
* 選定理由: 「(～を)好む」「大事に思う」など「価値を認める」ニュアンスを、中国語・日本語いずれも「好(好き・好む)」で連想しやすい。
* 学習コスト: 6画と少なめで、頻出漢字。

1. taks

* 提案漢字: 评
* 選定理由: 「評価する」「査定する」「値踏みする」→ 中国語の「评价(evaluate)」「评估(appraise)」に通じる。
* 学習コスト: 7画。日本語では「評(評価)」に対応する字で、意味を推測しやすい。

1. dign

* 提案漢字: 尊
* 選定理由: 「尊厳」を連想する場合、中国語の「尊严」、日本語の「尊厳」が非常に近い。
* 学習コスト: 12画だが「尊重」など基本的な語として認知度は高い。

1. estim

* 提案漢字: 尊
* 選定理由: 「尊敬・敬重」に相当するニュアンス。すでに “dign” で使った「尊」を流用。
* 学習コスト: 追加負担なし。

1. respekt

* 提案漢字: 尊
* 選定理由: 「尊敬・敬意」という意味で「尊重」にそのまま対応可能。
* 学習コスト: 同じ漢字を再利用。

1. fier

* 提案漢字: 傲
* 選定理由: 「誇らしさ」や時に「驕(おご)り」も内包する「誇り高い」というニュアンスを、「傲(傲慢・自傲)」で連想しやすい。
* 学習コスト: 13画でやや多めだが、「骄(骄傲)」より日本語との形の共通点は多い。

1. hont

* 提案漢字: 耻
* 選定理由: 「羞恥」「恥じる」に当たる概念。中国語で「耻(恥)」は「羞耻」などに用いられる。
* 学習コスト: 6画と少なめ。日本語の「恥」とほぼ同一ルーツ。

1. kar

* 提案漢字: 贵
* 選定理由: 「親愛な、大切な、高価な」というニュアンス。中国語の「贵(貴)」は「高価」「尊い」イメージが強く、日本語でも「貴い」「貴方」等で通じる。
* 学習コスト: 9画。「kar = dear/precious/expensive」の両面をカバーしやすい。

1. ĉarm

* 提案漢字: 迷
* 選定理由: 「魅了する、惹きつける」に近いイメージ。中国語でも「迷人(魅力的)」などで「迷」を使用。
* 学習コスト: 9画で比較的シンプル。日本語でも「迷う」「迷宮」などで見慣れた形。

1. bel

* 提案漢字: 美
* 選定理由: 「美しい」という最も直接的かつ基本的な文字。日本語・中国語共に視覚的に通じやすい。
* 学習コスト: 9画と平均的だが非常に頻出・汎用性が高い。

1. graci

* 提案漢字: 雅
* 選定理由: 「優美な、上品な」を表す際、中国語の「优雅」、日本語の「優雅」にある「雅」を単独で流用。
* 学習コスト: 12画やや多めだが、「雅(雅致)」は両言語圏で「エレガント」感を連想しやすい。

1. elegant

* 提案漢字: 雅
* 選定理由: 上記「graci」と同様、「雅」に「エレガント」「優美」のイメージが含まれるため再利用。
* 学習コスト: 重複利用により追加負担なし。

1. majstr

* 提案漢字: 师
* 選定理由: 「師匠、巨匠、大師」に相当。中国語の「老师(先生)」「师傅(師匠)」などで「师」が核心。
* 学習コスト: 6画と比較的少ない。日本語の「師」と同ルーツ。

1. geni

* 提案漢字: 才
* 選定理由: 「天才」を示す場合、「天才」は「天 + 才」。すでに「talent」でも「才」を使っているので流用可。
* 学習コスト: 重複利用により負担なし。

1. elokvent

* 提案熟語: 口才
* 選定理由: 中国語で「口才」は「弁が立つ」「雄弁」の意味。単字「辩/辨」もあるが、ややニュアンスが「弁論・論争」寄りになるため、「口才」が「雄弁・説得力」のイメージに近い。
* 学習コスト: 「口」(3画) + 「才」(3画)で合計6画。いずれも既出(才)または非常に初歩的(口)。

1. nobl

* 提案漢字: 贵
* 選定理由: 「高潔、高貴、尊い」の意。すでに「kar」で用いた「贵」を再利用し、「高貴」「尊い」のニュアンスをカバー。
* 学習コスト: 重複利用で追加負担なし。

1. solen

* 提案漢字: 肃
* 選定理由: 「厳粛」「荘厳」を表す際、中国語では「肃穆」「严肃」などに使う「肃」が近い。
* 学習コスト: 8画で、日本語では「粛」と書くが意味は推測しやすい。

1. majest

* 提案漢字: 威
* 選定理由: 「威厳」「雄大」「堂々とした」といったイメージ。中国語でも「威风」「威严」で「堂々・荘厳」のニュアンスを表現。
* 学習コスト: 9画。比較的よく使われる語根(威力・威信等)で学習連想もしやすい。

grandioz / 华 / 「华(華)」は「华丽」「豪华」など「壮麗・華やか」系に広く使われる / 「壮」「宏」等も候補だが、「华」は画数(6画)が比較的少なく汎用性も高い

1. pomp / 华 / 「pomp＝華麗さ・壮観さ」として同上にまとめる / 後で上付き文字などで区別可能
2. luks / 华 / 「奢华(豪華)」などの語にも「华」が含まれるため流用 / 意味重複は後で区別
3. nobel / 贵 / 「貴族」「高貴」など「贵」を用いるため直感的 / 日本語で「貴」、簡体で「贵」
4. aristokrat / 贵 / 「贵族」の直感から同じ漢字を採用 / 上付き文字等で区別予定
5. profit / 利 / 「利益」「有利」など「利」は日中双方で理解しやすい / 画数は7画で比較的シンプル
6. rajt / 权 / 権利の「権」に相当。簡体字で「权」。 / 「权利」「版权」など“権”の意味を持つ
7. privilegi / 特权 / 「特権」は中国語でも標準的表現 / 「特」は後述の「特別」にも使うため導入
8. vol / 要 / 「要」は中国語で「～したい」「～を要する」の意でも使われる / 画数は9画だが常用度が高い
9. volont / 要 / 「自発的・進んで～する」も「要(…したい)」に近いイメージでまとめる / 意味差は上付き文字等で区別
10. plaĉ / 好 / 「好む・気に入る」に直結するため直感的 / 日本語圏・中国語圏ともに“好き”の感覚
11. prefer / 好 / 「より好む」も「好」の延長で表現 / 細かいニュアンスは上付き文字で区別
12. feliĉ / 乐 / 「快乐」「乐观」など“楽しく幸せ”なイメージ / 画数(5画)が少なく汎用性が高い
13. ĝoj / 乐 / 喜び・嬉しさも「乐」で包括 / ニュアンスは後で細区分
14. plezur / 乐 / 「乐趣」「乐园」など“楽しみ・快い”にも通じる / 同上
15. gaj / 乐 / “陽気な・楽しげ”も「乐」一括で処理 / 意味の差は上付きで
16. agrabl / 乐 / “心地よい・快い”を「楽(たの)しい/心地良い」に近いイメージで / 同様に「乐」に統合
17. favor / 好 / “好意的な”→「好感」「好意」などを想起 / 「plaĉ」「prefer」と同じ字に
18. avantaĝ / 利 / “有利・優位・メリット”は「利」に内包 / 「profit」と同一で区別
19. util / 利 / “役立つ・有用”→「有利」「有益」系のイメージで「利」に集約 / 細かい差異は後で調整
20. oportun / 便 / “便利・都合が良い”→簡体で「方便」の「便」。 / 9画だが意味が直感的
21. special / 特 / “特別”そのもの。日中で「特別」として共通認識しやすい / 10画だが非常に頻出
22. ekstr / 加 / “追加・余分”→「加える」の感覚でわかりやすい / 5画と比較的シンプル
23. sol / 只 / “唯一・ただ一つ”→中国語の「只(ただ)～だけ」、日本語も「只」は「ただ」と読む / 5画
24. unik / 只 / “独特・唯一無二”のニュアンスも同じ字に集約 / 後で上付き文字で区別
25. apart / 分 / “分かれる・別々に”→「分離」「分割」の「分」 / 4画と少画数
26. izol / 分 / “隔離・孤立”も“分け離す”イメージで同字に統合 / 細かい差は上付き等で

### **1. fremd (**外国の，よその，見知らぬ**)**

swift

Copy

fremd/外/「外国」のイメージに近いため/「外」は画数も少なく日本人にも馴染みがある

* 理由・根拠: 中国語で「外国(外國)」「外人」など“よそのもの”を指す際に「外」を多用する。
* 学習コスト: 5画と比較的少なく、「外」は「ekster(外)」とも共有できるため汎用性が高い。

### 2. divers (様々な)

swift

Copy

divers/杂/「雑多」「复杂」など、「混ざり合った多様さ」を連想しやすいため/「杂」は6画程度で比較的シンプル

* 理由・根拠: 「各种各样」を一文字に圧縮したイメージとして「杂」を採用。
* 学習コスト: 「雑(雑誌の雑)」と同源なので日本人にも意味が取りやすい（簡体字は「杂」）。

### 3. diferenc (異なる，違い)

swift

Copy

diferenc/异/「差異」「奇異」など「違い」「異なる」を直接連想しやすい/6画で比較的簡単

* 理由・根拠: 「异」は「異なる・奇妙な」の意を持ち、diferenco(違い)に対応させやすい。
* 学習コスト: 日本語の「異」に近く、比較的覚えやすい。

### 4. ali (他の，別の)

swift

Copy

ali/另/「另外」「另一个」など「別の」を端的に示す/5画でシンプル

* 理由・根拠: 「另外(ほかに)」「另一方(もう一方)」などに使われる「另」は“他の”の意味がわかりやすい。
* 学習コスト: 「別(bié)」も候補だが、「另」は筆画が少なく覚えやすい。

### 5. ceter (残りの、それ以外の)

swift

Copy

ceter/余/「余り」「残り」をイメージしやすい/「余」は7画だが使い回しやすい部首構造

* 理由・根拠: 「余＝残り・余分」。
* 学習コスト: 日本語でも「余分」「余地」で馴染みがあり、中国語でも「多余(余計)」などで用いられる。

### 6. ekskluziv (排他的な，独占的な)

swift

Copy

ekskluziv/除/「排他」「除外」の含意をまとめて表現/「除」はやや画数多めだが後述語との共有を優先

* 理由・根拠: 本来「排」(排他)も候補だが、「除」は「escept, krom」と意味領域を重複できるためまとめて採用。
* 学習コスト: 同じ「除」でいくつかの単語をカバーし、総漢字数削減を優先。

### 7. escept (～を除外する)

swift

Copy

escept/除/「例外」「除外」などと直結するため/「ekskluziv」「krom」との重複利用で学習負担を軽減

* 理由・根拠: 「除外」「排除」など、「除」は“外す”“除く”の意。
* 学習コスト: すでに「ekskluziv」で使うため重複流用。

### 8. krom (～のほかに，～を除いて)

swift

Copy

krom/除/「除了…以外」＝「～のほかに(または除いて)」のイメージがある/既出利用で一貫性を図る

* 理由・根拠: 中国語表現「除了A以外(=Aのほかに)」にあるように、「除」が「except/besides」のニュアンスを持つ。
* 学習コスト: 「ekskluziv」「escept」と同じく「除」で統一し、漢字数を抑える。

### 9. ekster (～の外で，外部)

swift

Copy

ekster/外/「外部」「外面」の意味が直感的/「fremd(外の/外国の)」と同じ漢字を再利用

* 理由・根拠: 「外」は中国語でも“外側”全般に使う。
* 学習コスト: 既に「fremd」で使った「外」を再利用することで学習コスト削減。

### 10. intern (内部の)

swift

Copy

intern/内/「内側」「内部」を直接表す/4画で簡明

* 理由・根拠: 「国内」「体内」「内在」などで使われ、内側を示す最も基本的な字。
* 学習コスト: 画数が少なく日本語圏でも非常に馴染みがある。

### 11. inkluziv (含んだ，包含する)

swift

Copy

inkluziv/包/「包含」「包む」など、「含む」のイメージに近い/5画で比較的簡素

* 理由・根拠: 中国語の「包含(含む)」「包容(包みこむ)」など、含有のニュアンスをまとめられる。
* 学習コスト: 「包」は部首としても再利用されやすい。

### 12. hav (～を持つ)

swift

Copy

hav/有/「ある」「持っている」の最も直接的な字/6画だが超頻出字

* 理由・根拠: 中国語で「我有书(私は本を持っている)」など、所有を表す代表字。
* 学習コスト: 日本語の「有」と同じ形で認知しやすい。

### 13. est (～である)

swift

Copy

est/是/「～である」と断定する際に使う代表動詞/やや画数多め(9画)だが基本動詞

* 理由・根拠: 中国語の肯定文「A是B」＝「AはBである」の必須字。
* 学習コスト: 中国語学習では最も早期に習うため汎用性は高い。

### 14. ekzist (存在する)

swift

Copy

ekzist/在/「存在する」「～に在る」のイメージ/6画で比較的覚えやすい

* 理由・根拠: 「存在(súnzài)」の後半「在」を抜き出す形。中国語で「在」は“ある・いる”の基本表現。
* 学習コスト: 非常に頻繁に使われる字なので覚えやすい。

### 15. posed (～を所有する)

swift

Copy

posed/有/「拥有(所有する)」の核心/すでに「hav」と同字にして学習を一元化

* 理由・根拠: 「posedi＝所有する」は「hav＝持つ」とほぼ同義なので漢字も統一。
* 学習コスト: 「hav」で採用済みの「有」を再利用。

### 16. aparten (～に所属する)

swift

Copy

aparten/归/「归属(帰属する)」のイメージ/5画で比較的シンプル

* 理由・根拠: 「属于(～に属する)」「归于(～に帰する)」など、「归」は“帰属”の意味合いが強い。
* 学習コスト: 画数は少なめだが、日本語ではやや馴染みが薄い点に注意。

### 17. neces (必要な)

swift

Copy

neces/必/「必需」「必要」の「必」を抽出/5画と少なめ

* 理由・根拠: 「必要(bìyào)」「必须(bìxū)」などに共通するコア「必」を転用。
* 学習コスト: 意味が“必然”“避けられない”に直結しており分かりやすい。

### 18. bezon (～を必要とする)

swift

Copy

bezon/要/「需要」「要る」のイメージ/9画だが日本語「要る」にも通じる

* 理由・根拠: 中国語「需要(xūyào)」「要(～したい/～を要する)」などで“必要”を表す。
* 学習コスト: 「必」と区別するため、あえてこちらは「要」。

### 19. dev (～しなければならない，義務がある)

swift

Copy

dev/该/「应该(～すべき)」のコアを抜粋/8画(部首＋合計)

* 理由・根拠: 中国語「应该(yīnggāi)」＝“～しなければならない”に近いニュアンス。
* 学習コスト: 使われる頻度はそこそこ高いが、日本語話者にはやや馴染み薄いか。

### 20. end ([接尾辞]「～されるべき」)

arduino

Copy

end/当/「应当(～すべき)」「当～(～すべき)」のイメージ/5画と少なめ

* 理由・根拠: 中国語の「应当(yīngdāng)」などから、「当」だけを抜くことで“～されるべき”の感覚を表す。
* 学習コスト: 単独でも「当然」「适当」「当(あ)たる」など日中両言語で多用。

### 21. aplik (～を応用する，適用する)

swift

Copy

aplik/用/「应用(応用)」の主要要素を抽出/3～5画程度(字形の数え方による)

* 理由・根拠: 「应用(応用)」「使用(使用)」などに共通するコア「用」。
* 学習コスト: 次の「uz」「dispon」とあわせ、広義の“使う”でまとめ学習を簡略化。

### 22. uz (～を使う)

swift

Copy

uz/用/「使用」「利用」そのもの/既出の「用」を再利用して一貫性を持たせる

* 理由・根拠: 中国語「用(yòng)＝使う」の最も直接的な字。
* 学習コスト: 「aplik」「dispon」と同じ字で統一し、総漢字数を削減。

### 23. dispon (自由に使う，処分する)

swift

Copy

dispon/用/自由裁量＝“自分の好きに使う”/「aplik」「uz」と同じ「用」に集約

* 理由・根拠: 「disponi＝自由に処分する」は「使う」系統なので「用」にまとめる。
* 学習コスト: 同字再利用で学習負担を減らし、区別は上付き文字などで対処。

### 24. konsum (～を消費する)

swift

Copy

konsum/费/「消费(消費)」のコアを抽出/9画だが使用頻度は高い

* 理由・根拠: 中国語「消费」＝“消費する”に含まれる「费」(費用の費)。
* 学習コスト: 日本語の「費」に近く、中国語でも「花费(費やす)」「学费(学費)」など多用。

### 25. barakt (もがく，苦闘する)

swift

Copy

barakt/斗/「斗争(闘争)」を想起しやすい/4画で非常にシンプル

* 理由・根拠: 中国語「斗争(dòuzhēng)」は“闘う/もがく”という意味合いを含む。
* 学習コスト: 日本語でも「闘う」のイメージ（旧字体「鬥」）があり、画数が少ない。

### 26. pen (努力する)

swift

Copy

pen/努/「努力(どりょく)」の主要部首/7画でそこそこシンプル

* 理由・根拠: 中国語でも「努力(nǔlì)＝頑張る」。
* 学習コスト: 「力(ちから)」＋「奴」の組合せで覚えやすい。

### 27. klopod (奔走する，努力する，尽力する)

swift

Copy

klopod/努/「努力」「尽力」のイメージで「pen」と統一/重複利用で漢字数を減らす

* 理由・根拠: 「klopodi＝あれこれ奔走して努力する」は「pen」と近いため同字で十分カバー可能。
* 学習コスト: 既出の「努」を使い回し、学習負担を下げる。

prov / 试 /  
　- 選定理由: 「試す・試みる」という意味に対応する最も代表的な簡体字。「試」の簡体字が「试」。  
　- 学習コスト: 日本語の「試」に近く、意味も把握しやすい。画数(6画)も比較的少ない。

1. streb / 努 /  
   　- 選定理由: 「全力を尽くす」「努力する」ニュアンスを1文字で端的に表すには「努」が適切。「争(闘争)」よりも「努力」のイメージに近い。  
   　- 学習コスト: 日中ともに「努力」の「努」として馴染みがある。画数(7画)はそこそこだが難読ではない。
2. aŭdac / 敢 /  
   　- 選定理由: 「大胆」「ずぶとい」「あえて…する」という“挑む姿勢”を強調する意味合いにマッチ。中国語では「敢于…」(思い切って～する)などで使用。  
   　- 学習コスト: やや画数(11画)は多めだが、日本語「勇敢」の「敢」で意味連想しやすい。
3. kuraĝ / 勇 /  
   　- 選定理由: 「勇気」「勇敢」のイメージにもっとも直接的な字。簡体字も同形。  
   　- 学習コスト: 非常にポピュラーで、日中ともに「勇気」の「勇」として即時に意味を想像できる。
4. brav / 勇 /  
   　- 選定理由: 「勇敢さ」「勇ましさ」等が「kuraĝ」と近いため、あえて同じ「勇」を使い回し(後で上付き文字など区別想定)。  
   　- 学習コスト: 新規漢字を増やさずに済む利点が大きい。同じ字を再利用することで全体の漢字種類数を削減。
5. diligent / 勤 /  
   　- 選定理由: 「勤勉」「勤労」を示す際に最も一般的な字の一つ。中国語「勤奋」、日本語「勤勉」で共通認識しやすい。  
   　- 学習コスト: 画数(13画)はやや多いが、非常に頻出かつ常用字。
6. pacienc / 耐 /  
   　- 選定理由: 「我慢強い」「耐える」の意味合いに対応。中国語「耐心」(忍耐)の「耐」。  
   　- 学習コスト: 日中ともに「耐久」「耐性」などで見かけ、比較的イメージしやすい。画数(9画)も許容範囲。
7. persist / 坚持 /  
   　- 選定理由: 中国語で「頑張る」「粘り強く続ける」は「坚持」が代表的。「坚」1字だけでは「堅固」の意味寄りなので、2文字熟語とした。  
   　- 学習コスト: 「坚」(6画)＋「持」(9画)で計15画だが、いずれも高頻度字。日本語圏でも「堅持」の字面から意味を連想しやすい。
8. super / 上 /  
   　- 選定理由: エスペラントの「super」は「〜の上方に」「超えて」の両面があるが、まずは「上(うえ)」の空間的イメージを優先。  
   　- 学習コスト: 画数わずか3画で非常に初歩的な字。日本人にも直感的。
9. supr / 顶 /  
   　- 選定理由: 「頂上」「上面」のニュアンスを直接表す簡体字。「頂」の簡体が「顶」。  
   　- 学習コスト: 画数(8画)はそこそこだが、「上」だけだと「super」との混同が大きいため、意味を分けたい場合に有用。
10. lev / 举 /  
    　- 選定理由: 「上げる」「挙げる」に該当する中国語は「举」(伝統的には「舉」)が代表的。  
    　- 学習コスト: 日中ともに「挙(あげる)」「举(举手)」などのイメージがしやすい。
11. grimp / 爬 /  
    　- 選定理由: 「よじ登る」「這うように登る」というとき、中国語では「爬(爬山:山を登る)」を使うことが多い。  
    　- 学習コスト: 画数(8画)は少なめ、頻度も比較的高い。「攀」は画数が多すぎるので回避。
12. furor / 热 /  
    　- 選定理由: 「大流行・熱狂」「～が熱い(大人気)」を示す際、中国語では「热卖」「热潮」等の“熱”を用いるケースが多い。  
    　- 学習コスト: 画数(10画)は標準的だが非常に使用頻度が高く、“流行”感を連想しやすい。
13. sukces / 成功 /  
    　- 選定理由: 「成功」を表す最も直截的な2文字熟語。1文字「成」や「功」だけではニュアンスが不十分。  
    　- 学習コスト: 「成」(6画)＋「功」(5画)=11画。日本語圏からも意味を連想しやすい。
14. prosper / 兴盛 /  
    　- 選定理由: 「繁栄する」「盛んになる」を表す熟語の一例。中国語でも「兴盛」「兴隆」は「繁栄」「隆盛」と同義。  
    　- 学習コスト: 「兴」(6画)と「盛」(11画)で合計17画だが、いずれも常用かつ意味を取りやすい。
15. tro / 太 /  
    　- 選定理由: 「あまりに～すぎる」を表すうえで、中国語「太～」は定番(例:太大了=大きすぎる)。  
    　- 学習コスト: 画数わずか4画。「非常」「过度」等を使わずに1文字で済むのが利点。
16. eksces / 过多 /  
    　- 選定理由: 「過剰」「過度」の意を中国語で自然に表すなら「过多」や「过量」。1文字単独ではやや難しいため2文字熟語を採用。  
    　- 学習コスト: 「过」(5画)＋「多」(6画)=計11画と比較的コンパクト。
17. ekstrem / 极 /  
    　- 選定理由: 「極端」「極度」を示すときに用いられる中心的な字。中国語でも「极限」「极端」などで「極」を使う。  
    　- 学習コスト: 画数(7画)と少なめで、日本語の「極」にも通じる(簡体字では偏が糸へん→「极」)。
18. tre / 很 /  
    　- 選定理由: 中国語で「とても」「非常に」を表す基本単語。「很大」「很忙」など。  
    　- 学習コスト: 画数(9画)で難しくない。日本語話者には少し馴染みが薄いが、中国語初学でまず習う頻出字。
19. ampleks / 范围 /  
    　- 選定理由: 「大きさ」「範囲」「広がり」を総合的に示すには「范围」が代表的。  
    　- 学習コスト: 「范」(8画)＋「围」(7画)=15画。やや多いが「尺寸」だと「寸法」寄りになるため、意味合いを優先した。
20. larĝ / 宽 /  
    　- 選定理由: 「幅が広い」「ワイド」の主要表現。簡体字は「宽」(繁体字「寬」)。  
    　- 学習コスト: 10画だが頻繁に用いられ、日中とも「幅の広さ」を連想しやすい。
21. vast / 广 /  
    　- 選定理由: 「広大」「広範囲」「広い(空間)」などを示す基本的な字。繁体字は「廣」だが、簡体字は「广」。  
    　- 学習コスト: 3画と非常に少なく、見た目に反して意味は「広い」(日本語「広告」の「広」と類縁)。
22. grand / 大 /  
    　- 選定理由: 「大きい」を最も直接に表す最基本漢字。  
    　- 学習コスト: 画数3画。初歩で学ぶ漢字であり、日本語・中国語ともに即時判別可能。
23. eg / 巨 /  
    　- 選定理由: エスペラント接尾辞「-eg-」は「非常に大きい」を示すため、中国語の「巨(巨大な)」が単独字として合致。  
    　- 学習コスト: 画数4画でシンプル。「大」との併用(「巨大」など)も連想しやすい。
24. kolos / 巨像 /  
    　- 選定理由: 「巨像(コロッサス)」を端的に表現。1文字「像」だと「像(ゾウ/かたち)」だけで「巨大」が抜けるため、2文字熟語に。  
    　- 学習コスト: すでに「巨」は登場済みで、追加の「像」は12画だが常用頻度は高い(「印象」「画像」など)。
25. gigant / 巨人 /  
    　- 選定理由: 「巨人」「巨大な人(存在)」を示す日中共通のわかりやすい2文字。「巨人」そのまま。  
    　- 学習コスト: 「巨」は既出、追加の「人」は2画と極めて少ない。
26. tim / 恐 /  
    　- 選定理由: 「恐れる」「怖がる」の意を表す代表字。中国語では「恐怖」「恐怕」など、日本語も「恐ろしい」「恐れる」で共有。  
    　- 学習コスト: 画数(10画)はそこそこだが、互いに意味を直感しやすい。「怕(怕=恐れる)」も候補だが、日本語圏での認知は「恐」のほうが高い。

terur / 恐 / 「恐」は「恐怖」「恐れる」など、日中ともに“おびえる・怖がる”意味を直感しやすい / 画数は10画とやや多めだが、他の「恐吓(脅す)」などとも偏旁を共有して使い回せる

1. minac / 恐吓 / 中国語で「恐吓」は“脅迫する・脅す”意味に相当し、日中双方に理解しやすい / 「恐」を(1)と共通化できるため、追加されるのは「吓」(6画)のみ
2. kompromit / 危及 / 「危及」は“危険が及ぶ”→“危険にさらす”というニュアンスがある / 「危」(4画)は後の「危险」などにも転用しやすく、「及」(3画)も画数が少ない
3. risk / 冒险 / 中国語で「冒险」は“リスクを冒す・危険を冒す”の定番表現 / 「冒」(9画)と「险」(9画)をここで導入するが、「险」は後述の「危险」(危険)とも共有可能
4. danĝer / 危险 / “危険”の意味で中国語では最も一般的な単語 / 「危」(4画)と「险」(9画)を再利用することで学習コストを抑えられる
5. mizer / 惨 / “みじめ・悲惨”という形容に広く使える単字 / 11画だが「悲惨」「惨劇」など多義に転用しやすいため、一文字で割り当て
6. tragik / 惨 / 上記(6)と同じ「惨」を使い回し、「悲惨な」の意味をカバー / 厳密には「悲惨」と区別したい場合は二文字表記もあり得るが、学習コスト最小化を優先
7. tragedi / 惨剧 / “惨劇・悲劇”に相当する標準的な二字熟語 / 「惨」を(6)(7)で既出、追加されるのは「剧」(8画)のみ
8. plag / 灾 / “災い、天災、災禍”を指す際によく使う単字 / 7画と比較的少画数で、(10)「灾难」とも連動しやすい
9. katastrof / 灾难 / “大災害・大惨事”に相当する標準的な二字熟語 / 「灾」(既出) +「难」(9画)のみ追加
10. mir / 奇 / “不思議に思う・驚嘆する”ニュアンスに近い単字 / 8画で「奇妙」「奇迹」などとも組み合わせやすい
11. surpriz / 惊 / “驚く・驚かせる”を表す代表的な簡体字 / 8画と比較的少なく、今後「惊喜」「惊奇」などにも転用可能
12. mirakl / 奇迹 / “奇跡”の定番表記 / (11)の「奇」を再利用し、新出は「迹」(9画)
13. mir/ind## / 奇异 / “不思議な・奇異な”の意 / (11)「奇」再利用 +「异」(6画)は比較的画数が少ない
14. strang / 奇怪 / “奇妙な・不思議な”を示す常用表現 / (11)の「奇」再利用 +「怪」(8画)のみ追加
15. kurioz / 好奇 / “好奇心をそそる・珍奇な”を表す場合に最も馴染み深い二字熟語 / (11)「奇」を再利用し、新出は「好」(6画)
16. bagatel / 小事 / “些細なこと・つまらない事”の意で中国語でもよく使う / 「小」(3画)と「事」(8画)で比較的シンプル
17. inert / 惰性 / “惰性・慣性”を示す標準的な表現 / 「惰」(12画)と「性」(8画)でやや画数は多いが物理・心理両面で使える汎用性有
18. indiferent / 冷漠 / “冷淡・無関心”を示す際に頻出 / 「冷」(7画)と「漠」(13画)で計20画だが、次(20)でも「冷」を再利用
19. apati / 冷淡 / こちらも“無感動・無関心”を示す常用表現 / (19)の「冷」を再利用し、新出「淡」(12画)
20. van / 白费 / “むなしい・無駄に終わる”を表す口語的表現 / 「白」(5画) +「费」(9画)の計14画で比較的シンプル
21. vant / 虚荣 / “虚栄”の意味で中国語で一般的 / 「虚」(11画) +「荣」(9画)の計20画だが、概念的にも分かりやすい
22. stult / 笨 / “愚鈍・馬鹿げている”の意で最も簡潔な単字 / 11画だが「傻」「蠢」よりは画数が少なく使用頻度も高い
23. absurd / 荒诞 / “荒唐・非常識”に近い常用表現 / 「荒」(9画) +「诞」(8画)で17画、やや多いが意味は直感しやすい
24. koket / 妖媚 / “なまめかしい・媚びるような”を表す二字熟語 / 「妖」(7画) +「媚」(9画)で16画、女性的な“艶やかさ”のニュアンスを伝えやすい
25. komik / 可笑 / “可笑しい・こっけいだ”に相当する定番 / 「可」(5画)と「笑」(10画)=15画で比較的使い回ししやすい
26. cinik / 冷笑 / “冷笑的・皮肉っぽい”を端的に示す二字熟語 / (19)の「冷」を再利用 +「笑」(10画)も(26)と共通で学習コストを抑制

ironi / 讽 /

* + 選定理由: 「讽」は「讽刺(sarcasm)」「讽喻(風刺的に言う)」などに使われ、「皮肉・風刺」のニュアンスが比較的伝わりやすい。
  + 学習コスト: 新出漢字だが、画数(5～6画程度)は比較的少なめ。

1. frenez / 狂 /
   * 選定理由: 「狂」は日本語でも「狂気」などの語があり、「気が狂った」「発狂する」のイメージが伝わりやすい。
   * 学習コスト: 一文字で済み、画数(7画)もそれほど多くない。
2. delir / 乱 /
   * 選定理由: 「乱」は「混乱」「錯乱」などの表現で使われ、精神の錯乱や取り乱しを連想しやすい。
   * 学習コスト: 一文字で簡潔。既に日本語でも「乱れる」の意味が通じやすい。
3. avar / 贪 /
   * 選定理由: 「贪」は「貪欲」「貪る」のイメージが強く、「欲深い」「強欲な」ニュアンスに合致する。
   * 学習コスト: 新出漢字だが一文字で明快。「吝」「啬」などよりは字形が比較的シンプル。
4. ruz / 狡 /
   * 選定理由: 「狡」は「狡猾(ずる賢い)」の略示として使え、「ずるい」「ずる賢い」というニュアンスが伝わりやすい。
   * 学習コスト: 「猾」を併せた2文字「狡猾」よりも1文字に圧縮し、画数増を回避。
5. rapid / 快 /
   * 選定理由: 中国語で「快」には「速い」「速やかに」という用法があり、スピード感を連想しやすい(日本語の「快適」の「快」とはやや別義だが、覚えやすい)。
   * 学習コスト: 画数(7画)は多すぎず、一文字ですむ。
6. fru / 早 /
   * 選定理由: 「早」は「早い」「朝早く」など、中国語・日本語双方で「時間が前倒し」「始発の時刻」というイメージをすぐに連想可能。
   * 学習コスト: 非常に基本的な字で画数も少ない(6画)。
7. tuj / 即 /
   * 選定理由: 「即」は「すぐ」「即座に」(日本語)、「立刻」(中国語)と同義に使われ、短い字で「直ちに」「その場で」の意味を示しやすい。
   * 学習コスト: 1文字で明快かつ画数も7～8画程度。
8. baldaŭ / 不久 /
   * 選定理由: 中国語「不久」は「まもなく」「時間があまり経たないうちに」の意味で非常に一般的。1文字では表現しづらいため2文字熟語に。
   * 学習コスト: 「不」(4画)と「久」(3画)で合計7画(部品としてはやや少なめ)。既出漢字との重複は今のところなしだが、どちらも頻出字なので学習負担は大きくない。
9. hodiaŭ / 今天 /

* 選定理由: 中国語で「今天」は「今日」を指す最も一般的な表現。「今」だけだと「いま(現在)」と混同する恐れがあるため2文字で区別。
* 学習コスト: 「今」(4画)は後述の「nun」にも再利用。「天」(4画)も比較的シンプル。

1. aktual / 现 /

* 選定理由: 「现」(＝伝統字「現」)は「現在」「現実」「现实」など、「いま・実際に存在する」といったニュアンスを簡潔に表す。
* 学習コスト: 一文字だが、日常的に使われる語(“现实”“现在”など)にも含まれるため汎用性が高い。

1. nun / 今 /

* 選定理由: 「nun(今)」を表すには、日本語・中国語ともに馴染みのある「今」が簡潔。※「hodiaŭ(今日)」には「今天」を使ったので差別化できる。
* 学習コスト: 既出(10番で使用)の「今」を再利用すれば、学習コスト増を抑えられる。

1. modern / 现代 /

* 選定理由: 中国語で「现代」は「現代」「モダン」「近代以降」という意味を表す最も一般的な2文字熟語。
* 学習コスト: 「现」は(11)で既出を再利用。「代」は新出(5画程度)だが頻用字のため負担は大きくない。

1. mod / 时尚 /

* 選定理由: 中国語で「时尚」は「流行のファッション」を指し、日本語の「時尚(ときなお？)」は普段使わないが、意味は推察しやすい。
* 学習コスト: 「时」は「時間」を表す頻出字(“时候”“时区”など)で汎用性が高い。「尚」も基本的な字の一つ。

1. popular / 流行 /

* 選定理由: 「流行」は日本語でも「流行(りゅうこう)」、中国語でも「人気がある」「広く行き渡る」という意味で一致。
* 学習コスト: 「流」(10画)と「行」(6画)は比較的常用のため、やや画数はあるが意味は覚えやすい。

1. publik / 公众 /

* 選定理由: 「公众」は「公衆」「大衆」「一般人」を指す常用熟語。1文字「公」だけでは曖昧になりやすく、2文字のほうが意味が明確。
* 学習コスト: 「公」(4画)＋「众」(3画)＝合計7画ほどで、どちらも非常に頻度が高い字。

1. vulgar / 俗 /

* 選定理由: 「俗」は「世俗」「俗語」「低俗」「通俗」など、日本語・中国語とも「通俗」「下品」の感触を連想しやすい。
* 学習コスト: 一文字で「通俗的・庶民的・平凡」といったイメージを伝えやすい。

1. komun / 共 /

* 選定理由: 「共」は「共同」「共有」「共通」など、「一緒に・共に」の意味を担い、「共通の」という概念に近い。
* 学習コスト: 一文字で汎用度が高く、「共和」「公共」にも含まれる基本字。

1. ĝeneral / 总 /

* 選定理由: 「总」は「総合」「総じて」「全体をまとめる」というニュアンス。中国語「总的来说(総じて言えば)」「总和(合計)」などで“全般的”を示す。
* 学習コスト: 1文字で「全般的」「総括的」イメージが伝わりやすい。

1. universal / 普 /

* 選定理由: 「普」は「普遍」「普通」「普及」など「広く行き渡る」「全般に及ぶ」というイメージを包括。
* 学習コスト: 1文字で「普遍性」「全体に広がる」概念を表す。画数はやや多め(12画前後)だが、重要字。

1. bon / 好 /

* 選定理由: 「好」は日中ともに「良い」「好ましい」の意味で最も基本的。
* 学習コスト: 画数(6画)はそれほど多くなく、誰もが馴染みやすい。

1. eminent / 杰 /

* 選定理由: 「杰」は「杰出(優れた)」「俊杰(俊才)」などで「卓越している」「優れている」ニュアンスを示す。
* 学習コスト: 1文字だが多少画数(8画)はある。とはいえ「優」(優秀)などよりは簡体字化でややシンプル。

1. skrupul / 谨 /

* 選定理由: 「谨」(“谨慎”“谨严”など)は「慎み深い」「細心で注意深い」というニュアンスが強い。
* 学習コスト: 一文字で「細心・注意深さ」を示すが、15画ほどとやや多め。ただし2文字熟語(例:谨慎)よりは合計画数を抑えられる。

1. preciz / 准 /

* 選定理由: 中国語「准确(正確)」「标准(標準)」などで「正確さ・精密さ」を連想しやすいキーとなる字。「正確・厳密」という意味をざっくり1文字に集約。
* 学習コスト: 画数(10画前後)はそこそこだが、「标准」「准时」など多方面に使われる汎用漢字。

1. ekzakt / 准 /

* 選定理由: 「preciz(正確)」と非常に近い概念なので、同じ「准」を使い回し。最終的には上付き文字や振り仮名で区別予定。
* 学習コスト: 新規漢字を増やさずに済むため学習負担を抑えられる。

1. cert / 定 /

* 選定理由: 「確かな・揺るぎない」を指す場合、中国語では「一定(必ず)」「确定(確定する)」など「定」を含む表現が多い。一文字でも「決まる・確実」という感覚を伝えやすい。
* 学習コスト: 8画程度で比較的シンプル。既出の「准」と区別できるよう振り仮名で調整予定。

1. konkret / 具体 /

* 選定理由: 「具体」は中国語で「具体的(具体的な)」「明確・抽象ではない」を示す標準的な2文字熟語。
* 学習コスト: 「具」(8画)＋「体」(7画)で計15画ほど。1文字で「具体」を表しにくいので2文字を採用。

spert/经验/

* 選定理由: 「経験」や「熟練」の意味を最も分かりやすく表す常用語。「经(経験の経)」＋「验(試験・検証の意)」で“経験”を直接イメージしやすい。
* 学習コスト: 今後「实验(実験)」などにも登場する「验」を流用できるため、偏旁の使い回しが可能。「经」も「経(けい)」として日中両方で意味を推測しやすい。

1. praktik/实践/

* 選定理由: 「実践」の意味に最も近い常用2文字語。「实」は「実(じつ)」で日中とも馴染みがあり、「践」は「踏む／実行する」の意。
* 学習コスト: 「实验(実験)」などで「实」を再利用予定。「践」は画数はやや多いが、常用語「实践」ゆえ日本人・中国人双方が連想しやすい。

1. eksperiment/实验/

* 選定理由: 「実験」に対応する標準的な2文字語。「实」と「验」の組み合わせで、文字通り“実際に検証する”ニュアンス。
* 学習コスト: 「实践(実践)」の「实」や「经验(経験)」の「验」と重複するため、偏旁を使い回して総学習量を抑えられる。

1. pret/备/

* 選定理由: 「準備が整った」「用意ができた」を表す際に用いられる“備(备)”を1文字で採用。
* 学習コスト: 次の「准备(準備)」で再利用可能。「备」自体は画数(8画)も比較的少なく、意味も直感的。

1. prepar/准备/

* 選定理由: 「用意する」「準備する」を示す最も一般的な2文字語。「准备」は日中ともに「準備」という発想で理解しやすい。
* 学習コスト: すでに登場した「备」を再利用。「准」は新規だが、今後「準～」系の熟語で使える可能性が高い。

1. fin/完/

* 選定理由: 「終える」「完結する」の意を端的に表す1文字。「完了」「完成」など多数の熟語で使われるため汎用性が高い。
* 学習コスト: 画数(7画)はそこそこだが、日本語でも「完」の字形は同じで意味も掴みやすい。

1. ating/成/

* 選定理由: 「成し遂げる」「達成する」に対応。中国語で「成功」「完成」など“成”を含む語が多く、達成・到達のイメージが強い。
* 学習コスト: 「完成」「成功」などで再利用可能。すでに #6 で「完」があるため「完成」の形でも親和性が高い。

1. far/做/

* 選定理由: 「(を)する」「(を)作る」の意味を表す動詞として、現代中国語で最も一般的な「做」を採用。
* 学習コスト: 画数はやや多め(11画)だが、口語で頻出し、意味が分かりやすい。日本語の「作」との対応づけもしやすい。

1. plen/um##/完成/

* 選定理由: 「果たす」「遂行する」「満たす」のニュアンス。「plenumi＝完成する」の意味が近いため、既出の「完」＋「成」で対応。
* 学習コスト: #6「完」と #7「成」の組み合わせで全く新規の字を使わないため、学習負担を増やさない。

1. nov/新/

* 選定理由: 「新しい」をもっとも素直に表せる単文字。日中どちらでも“あたらしい”と“しん”を結び付けやすい。
* 学習コスト: 画数(13画)は多いものの、最重要常用漢字の一つで、今後「新鮮」などでも再利用可能。

1. freŝ/新鲜/

* 選定理由: 「新鮮な」「フレッシュ」を示す標準的表現。すでに導入した「新」に「鲜」を付け加える形。
* 学習コスト: 「鲜」は新規だが、「鱼(魚)」偏で“鮮度”を想起しやすく、日本語話者にも意味が伝わりやすい。

1. nur/只/

* 選定理由: 「ただ～だけ」「僅かに」の意味を表す際、現代中国語で非常に頻繁に使われる「只」を選択。
* 学習コスト: 画数(5画)が少なく、用法も幅広いため、有用度は高い。

1. ĵus/刚/

* 選定理由: 「たった今」「刚刚」のイメージを最も単純化した1文字。「刚」は「強い」の意味もあるが、「刚才」の略として“ちょうど今”を連想しやすい。
* 学習コスト: 6画でそこまで複雑ではない。日本語の「剛」と同系でイメージしやすい。

1. subit/突/

* 選定理由: 「不意の」「突然の」を示す字として「突」を使用。単独でも「突如」「突発」のニュアンスを持つ。
* 学習コスト: やや画数(8画)があるが、「犬＋穴」の組合せで日本語話者にも見慣れた字形。

1. abrupt/突/

* 選定理由: #14「subit」とほぼ同義の「突然の」「出し抜けの」を、同じ「突」で再利用。
* 学習コスト: 同じ字を使い回すことで学習負荷を増やさない方針。上付き文字等で区別予定。

1. provizor/临时/

* 選定理由: 「臨時の」「一時的な」を表す最も代表的な熟語の一つ。
* 学習コスト: 「临」「时」は共に日常単語(「临时」「时时」など)で頻用されるが、ともに今回初出のため、新規2字。

1. moment/时刻/

* 選定理由: 「瞬間」「一瞬」の意味合いを分かりやすく示す。「时刻」は“時”の“刻”＝小さな区切り時間。
* 学習コスト: 「时」は #16 ですでに導入済。「刻」は初登場だが、今後「深刻」「刻意」など他用途もある。

1. konstant/恒/

* 選定理由: 「不変の」「恒常的な」を端的に表す単字。「恒定」など関連熟語多数。
* 学習コスト: 9画だが、日本語の「恒(つね)」と同形でイメージしやすい。

1. etern/永/

* 選定理由: 「永遠の」を最も簡潔に表す1文字。日本語も同形で“えい”＝永遠の連想が容易。
* 学習コスト: 5画で比較的少なく、「永久」「永恒」などにも応用可。

1. nepr/必/

* 選定理由: 「必ず」「不可避」を示す際に最適な単字。「必須」「必要」などと関連付け可能。
* 学習コスト: 5画と少なく、基本的な概念で覚えやすい。

1. absolut/绝对/

* 選定理由: 「絶対の」「完全に」の意味をもっとも端的に示す熟語。現代中国語でよく用いられる組み合わせ。
* 学習コスト: 「绝」は初出(9画)、「对」は#24でも出るがすでにここで導入。2字だが頻度は高い。

1. dekstr/右/

* 選定理由: 「右の」「右側」を示す極めて基本的な1文字。
* 学習コスト: 5画と少なく、日常空間認識に不可欠。

1. just/公正/

* 選定理由: 「正義の」「公平な」の意味に近い2文字。「公正」は“公＋正”で公平・正当を表す代表的表現。
* 学習コスト: 「公」(4画)と「正」(5画)はいずれも比較的画数が少なく、意味合いも直感的。

1. prav/对/

* 選定理由: 「正しい」「その通り！」の感覚に最も近い単字。会話中の“你对了(あなたは正しい)”などで頻繁に使う。
* 学習コスト: #21「绝对」から「对」を流用し、すでに導入済み。

1. ĝust/正/

* 選定理由: 「正しい」「正確」「適切」を示す基本的な字。「正确」「正当」などの熟語でも広範囲に使われる。
* 学習コスト: #23「公正」の「正」と同一字を流用。上付き記号等で区別する方針。

1. valid/有效/

* 選定理由: 「有効な」「効力がある」を示す標準的な2文字熟語。法律や契約の「有効性」を連想しやすい。
* 学習コスト: 「有」(6画)「效」(7画)ともに常用で、今後ほかの派生語にも使い回せる。

1. ja/确实/

* 選定理由: 「実に」「確かに」「まさにその通り」という強調表現。「确实」が口語でも書き言葉でも頻出。
* 学習コスト: 「确」は初出(12画)だが、「实」は#2「实践」、#3「实验」などで再利用済み。

ver / 真 / 「真」は中日双方で「本当」「真実」を表す代表的な字 / 画数は10画ほどだが馴染みやすく、学習コストは比較的低い

1. aŭtentik / 真正 / 「真正」は「本物の・真正の」を端的に示す / 「真」は #1 から継続利用。「正」は常用字で画数(5画)も少なめ
2. fakt / 事实 / 「事实」は「事実」「ファクト」を表す代表的な語 / 新出の「事(8画)」と「实(8画)」はいずれも使用頻度が高く、再利用しやすい
3. efektiv / 实际 / 「实际」は「現実的」「実際の」意。効果的・有効といったニュアンスにも通じる / 「实」は #3 から継続利用。「际(7画)」も常用で、他単語へ転用しやすい
4. real / 真实 / 「真实」は「リアル」「真実らしい」を表す / #1 の「真」と #3 の「实」を組み合わせており、既出漢字のみで構成
5. virg / 纯洁 / 「純潔な」「汚れのない」といった意味合い / 新出の「纯(5画+2画＝計7画)」「洁(9画)」はいずれも「清らかさ」を表し、後述の語根でも再利用可能
6. pur / 纯 / 「純粋な」「混じりけのない」意 / #6 で登場した「纯」を単字で流用し、学習コストを抑制
7. ĉast / 贞 / 「貞節な」「操を守る」を表す簡潔な一字 / やや文語・古風だが、5画と少なく比較的わかりやすい
8. banal / 平凡 / 「ありふれた」「平凡な」を示す / 「平(5画)」「凡(3画)」ともに常用かつ画数が少なめ。後続の「平○」系熟語にも再利用
9. krud / 生 / 「生の」「未加工の」を表す / 5画と画数が少なく、多義(生命・生産など)で汎用性が高い
10. sovaĝ / 野生 / 「野生の」「未開の」意 / #10 の「生」を流用し、「野(11画)」を追加導入。自然や野外のイメージとも合致
11. aplomb / 安定 / 「落ち着き」「揺らがない」というニュアンス / 新出「安(6画)」「定(8画)」はいずれも高頻度字で、のちの用例(安○)でも再利用しやすい
12. flegm / 冷静 / 「冷静さ」「落ち着き」 / 新出「冷(7画)」「静(14画)」。後続の「平静」「安静」など「静」を含む熟語にも利用可
13. seren / 平静 / 「おだやか」「静かな」意 / #9 の「平」と #13 の「静」を再利用。追加漢字ゼロで学習コストを抑える
14. trankvil / 安静 / 「平穏」「安らか」 / #12 の「安」と #13 の「静」を再利用し、やはり新たな漢字追加なし
15. kviet / 安宁 / 「静かで落ち着いた」意 / #12 の「安」に、比較的常用の「宁(5画)」を組み合わせて「平穏さ」を強調
16. komfort / 安乐 / 「安楽な」「快適な」 / #12 の「安」に「乐(5画)」を加え、「楽で気楽な」ニュアンスを表現。音楽(音乐)などでも「乐」は頻用
17. pac / 和平 / 「平和」 / #9 で導入済みの「平」に、新出「和(8画)」を合わせる。以降「和○」系表現に転用しやすい
18. moder / 适度 / 「適度の」「ほどよい」 / 新出「适(8画)」「度(9画)」は常用かつ派生語(适合、程度 など)で再利用可
19. ekvilibr / 平衡 / 「平衡」「バランス」 / #9 の「平」を流用し、「衡(16画)」を追加。多少画数は多いが意味の汎用性が高い
20. kompromis / 妥协 / 「妥協」 / 新出「妥(7画)」「协(6画)」。どちらも会話やビジネス文脈で出現頻度高め
21. agord / 调和 / 「調和」「(楽器の)調律」等にも / #18 で導入した「和」を再利用し、「调(7画)」を追加。音声・意見の“調整”ニュアンスを含む
22. harmoni / 和谐 / 「(人間関係などの)調和」「和やかさ」 / 再び #18 の「和」を用い、新出「谐(10画)」。こちらも「调和」とほぼ同義
23. akord / 一致 / 「一致・合意」 / 新出「一(1画)」「致(10画)」は極めて一般的。簡潔ながら要旨を捉える
24. konkord / 和合 / 「和合」「完全に合致」「一致協力」 / #18 の「和」を再利用し、「合(6画)」を追加。やや古風だが意味は明瞭
25. virt / 德 / 「徳」「美徳」 / 簡体字「德(15画)」はやや画数多めだが、道徳(moral)関連で必須級の常用字
26. konscienc / 良心 / 「良心」 / 新出「良(7画)」「心(4画)」。モラル・倫理全般でも使用頻度が高く、学習メリットが大きい

etiket / 礼 /

* + 理由: 中国語「礼」(礼儀・礼節)は「エチケット」に通じる意味を持ち、日中でイメージしやすい。
  + 学習コスト: 画数が少なく、日本語の「礼」と同形で分かりやすい。

1. moral / 德 /
   * 理由: 「德」は道徳・倫理の「徳」に相当。道徳(道德)の核心を表す単字。
   * 学習コスト: 日本語の「徳」とほぼ同形で共通理解が容易。
2. etik / 伦 /
   * 理由: 「伦理(倫理)」の「伦」の要素を取り、倫理学(ethics)と関連づけ。
   * 学習コスト: 1文字化で画数を抑えた。実際の中国語では「伦理」と2文字になるが、単字「伦」でも「人倫・倫理」のイメージを持ちやすい。
3. ĝentil / 礼 /
   * 理由: 「礼」を重用して「礼儀正しい」「丁寧」「礼節」を示す。
   * 学習コスト: 「etiket」と同じく「礼」を再利用し、学習負担を減らす。
4. komplez / 仁 /
   * 理由: 「仁」は儒教でいう“慈しみ・思いやり”を表し、「親切にする」というニュアンスと近い。
   * 学習コスト: 画数が少なく、日中双方で「仁」の概念は馴染みがある。
5. honest / 诚 /
   * 理由: 「诚(誠)」は誠実・正直を表す基本的な語。「诚实」(誠実)の核心文字。
   * 学習コスト: 8画程度で比較的シンプル。日本語の「誠」に近い形。
6. sincer / 诚 /
   * 理由: 「honest」と同様、「誠実」「真心」を表す際に使える。重複使用でコストを削減。
   * 学習コスト: 既出「诚」と同一文字を再利用。
7. pi / 虔诚 /
   * 理由: 「虔诚」は「信心深い」「敬虔な」意味を表す最も一般的な熟語。
   * 学習コスト: 「诚」は既出なので新規は「虔」(やや画数多めだが標準的)。1文字「虔」だけでは意味が曖昧になるため、2文字熟語を選択。
8. fidel / 忠 /
   * 理由: 「忠」は「忠実」「真心を尽くす」意味を端的に示す。
   * 学習コスト: 単字で分かりやすく、画数もそれほど多くない(8画)。
9. lojal / 忠 /

* 理由: 「忠義・忠誠」の「忠」を再利用し、「忠義な」「忠実である」をカバー。
* 学習コスト: 既出の「忠」をそのまま使用。

1. intim / 亲 /

* 理由: 「亲」には「親しい」「親密」「密接」という意味が含まれ、中国語では「亲近・亲密」などに用いられる。
* 学習コスト: 単字かつ画数が少ない(4画)。日本語でも「親」の簡体字と把握しやすい。

1. familiar / 熟 /

* 理由: 「熟」は「慣れている」「なじみ深い」を示す。中国語「熟悉」のコア。
* 学習コスト: 画数はやや多いが(15画)、意味が明確で標準的。

1. afabl / 和 /

* 理由: 「和」は「穏やか」「和やか」「友好的」といったニュアンスを持ち、「愛想のよい・親しみやすい」に近いイメージ。
* 学習コスト: 日本語の「和」と同形で、日中ともにポジティブな概念として認識されやすい。

1. tener / 柔 /

* 理由: 「柔」は「やさしい」「柔らかい」「ソフトな」イメージを伝えやすい。
* 学習コスト: 単字で9画ほど。日本語の「柔」と同じ字形。

1. arĥaism / 古 /

* 理由: 「古語」の「古」。1文字で「古い」という概念を端的に示す。
* 学習コスト: 既出漢字化も可能なほど汎用性が高く、画数も少ない(5画)。

1. arkaism / 古 /

* 理由: 上記(15)と同じく「古」を流用。「古語」「旧式の表現」の含意をもたせる。
* 学習コスト: 同一文字の重複利用で負担軽減。

1. antikv / 古 /

* 理由: 「古代の」「アンティークの」イメージに通じるため同じ「古」を再利用。
* 学習コスト: 重複使用で新規漢字ゼロ。

1. klasik / 古典 /

* 理由: 「古典」は最も直接的な中国語表現。既出の「古」に「典」を足して古典を明確化。
* 学習コスト: 新規「典」は8画と比較的シンプル。既出「古」との組合せ。

1. arkaik / 古 /

* 理由: 「古風な」「時代がかった」という意味を「古」へ集約。
* 学習コスト: 重複活用。

1. arĥaik / 古 /

* 理由: 同上、古風・古めかしいニュアンスを「古」で一本化。
* 学習コスト: 既出漢字再利用。

1. matur / 成熟 /

* 理由: 「成熟」は「成熟した・大人びた・熟した」意味を表す標準的な2文字熟語。
* 学習コスト: 「成」は6画、「熟」はすでに(12)で登場。1文字追加のみ。

1. plen/aĝ## / 成人 /

* 理由: 「成人」は「成年になった」「大人になった」を示す表現として一般的。
* 学習コスト: 「成」は既出、新規「人」は2画のみ。

1. alt / 高 /

* 理由: 「高い」をそのまま示す単字。日中とも筆画や意味が共通しやすい。
* 学習コスト: 10画。広く知られた基礎漢字。

1. long / 长 /

* 理由: 簡体字「长」は「長い」の意味。日本語「長」に対応しつつ、簡体字化。
* 学習コスト: 4画と非常にシンプル。

1. lac / 疲 /

* 理由: 「疲」は「疲れる」「疲労」を表す代表的な字。
* 学習コスト: 10画。日本語の「疲」と同形で意味も分かりやすい。

1. enu / 闷 /

* 理由: 「退屈する」「つまらない」「鬱々とする」などを表すときに、中国語では「闷」がよく使われる。
* 学習コスト: 7画。比較的コンパクトで「无聊」「烦」より画数が少ない。

1. sek / 干 /

* 理由: 簡体字の「干」には「乾く」「乾燥する」の意味があり、1文字で「乾いた」を表せる。
* 学習コスト: 3画で非常にシンプル。日本語の「干」と同形。

humid / 湿 /  
選定理由: 「湿」は“湿気がある”“湿潤”といった意味を直接表す一般的な簡体字。  
学習コスト: 「氵(さんずい)」偏は他の水関連語でも再利用しやすい。比較的画数も多すぎず、日本語「湿」とほぼ同形で認知しやすい。

1. acid / 酸 /  
   選定理由: 「酸」は“酸っぱい”“酸性”を表すもっとも標準的な字。  
   学習コスト: 日本語でも「酸っぱい」「酸性」の「酸」とほぼ同形。頻度も高め。
2. ranc / 酸败 /  
   選定理由: 「酸敗」は“酸化・腐敗している”ニュアンスを明確に示す2文字熟語。「败」は“敗れる”以外に“変質する”イメージを含む。  
   学習コスト: 「酸」は既出で再利用。「败」は新出だが、他の語根(「敗北」や「失敗」など)にも転用しやすい。
3. fort / 强 /  
   選定理由: 「强」は“強い”を最も端的に示す簡体字。  
   学習コスト: 日本語「強(きょう)」の簡体形で、見た目が近く分かりやすい。
4. intens / 强烈 /  
   選定理由: 「强烈」は「強く激しい」「強烈な」という意味で、中国語でも極めて一般的な表現。  
   学習コスト: 「强」は既出。「烈」の画数はそこそこだが、意味の連想は容易。
5. firm / 坚 /  
   選定理由: 「坚」は“堅固だ”“しっかりしている”の意を表す簡体字。「牢固」「坚实」など関連表現多数。  
   学習コスト: 「坚」は日本語「堅(固)」に近い形。単独でも“堅い”の意が伝わりやすい。
6. fortik / 坚强 /  
   選定理由: 「坚强」は“頑丈・強固である”ニュアンス。身体的・精神的にも“丈夫でタフ”といった意味合いがある。  
   学習コスト: 「坚」「强」はいずれも既出で再利用。組み合わせ熟語なので意味把握が容易。
7. rigid / 硬 /  
   選定理由: 「硬」は“固くて曲がらない”ことを示す代表的な単字。「坚硬」の短縮形的用法も多い。  
   学習コスト: 単字ゆえ覚えやすいが、新規導入。水偏などもなく、形としては比較的シンプル。
8. obstin / 固执 /  
   選定理由: 「固执」は“頑固な”“意見を曲げない”という意味の常用熟語。  
   学習コスト: 「固」は“固い(固定)”、「执」は“執(もつ)”イメージ。どちらも使われやすい字だが2文字とも新規導入となる。
9. pez / 重 /  
   選定理由: 「重」は“重い”の最も直接的な単字。  
   学習コスト: 日本語の「重」と同形でわかりやすい。
10. masiv / 巨大 /  
    選定理由: 「巨大」は“非常に大きい、巨大な”という意味で日中ともに直感的に理解しやすい。  
    学習コスト: 「巨」「大」ともに画数が少なく、今後「大」を別の語根でも活用できる可能性が高い。
11. dik / 粗 /  
    選定理由: 「粗」は“太い・粗い”を示す単字で、径の太さを表す際に用いられる。  
    学習コスト: 日本語にも「粗大」「粗末」などがあり、意味の連想はしやすい。
12. dens / 密 /  
    選定理由: 「密」は“密集した”“濃い”などの意味で最も標準的。  
    学習コスト: 日本語「密」と同形。画数はそこそこだが非常に頻出度が高い。
13. elast / 弹性 /  
    選定理由: 「弹性」は“弾力”“伸縮性”を表すごく一般的な言い方。  
    学習コスト: 「弹」は“弾く/弾丸”等、派生語も多い。「性」は“性質”などで再利用度が高い。
14. mol / 软 /  
    選定理由: 「软」は“柔らかい”の意を直接示す単字。「軟」の簡体字。  
    学習コスト: 日本語「軟」と類似形で、連想しやすく画数も少なめ。
15. dolĉ / 甜 /  
    選定理由: 「甜」は“甘い”を示す最も一般的な単字。  
    学習コスト: 日本語の「甘(あま)い」とは別字だが、中国語で「甘い」を表す際はほぼ「甜」を使うため分かりやすい。
16. mild / 温和 /  
    選定理由: 「温和」は“気候や性格が穏やか・優しい”を表す常用熟語。  
    学習コスト: 「温」「和」はいずれも漢字圏で極めて頻度が高い。
17. glat / 滑 /  
    選定理由: 「滑」は“つるつる・なめらか”を指す代表的単字。  
    学習コスト: “氵(さんずい)”＋“骨”という構成でやや画数はあるが、中国語で“滑”はよく使われる。
18. delikat / 精致 /  
    選定理由: 「精致」は“繊細で洗練された”ニュアンスを表す標準的な熟語。  
    学習コスト: 「精」は“精巧/精神”等、多用される字。「致」も「一致/大致」など頻繁に出現。
19. subtil / 微妙 /  
    選定理由: 「微妙」は“繊細で捉えにくいニュアンス”を示すときの定番表現。  
    学習コスト: 「微」は“小さい/細かい”のイメージ、「妙」は“巧み”等で使われ、日本語・中国語ともに馴染みある。
20. ombr / 影 /  
    選定理由: 「影」は“影”“シルエット”などを広く表す字。  
    学習コスト: やや画数が多いが、日本語「影」と形が同じで分かりやすい。
21. nuanc / 细微 /  
    選定理由: 「细微」は“ごく微細な”“些細な”という意味。“ニュアンス”の微妙な差異に相当。  
    学習コスト: 「细」は“細い”を表し、「微」はすでに(微妙)で出現済み。再利用により負担を軽減。
22. fulm / 闪电 /  
    選定理由: 「闪电」は“稲妻、雷光”の標準的表現。単字「电」だけだと“電気”全般を指すため、稲妻のニュアンスは「闪电」がベスト。  
    学習コスト: 「闪」「电」ともに画数が少なく、他の語(例:「闪光」など)にも応用しやすい。
23. polur / 抛光 /  
    選定理由: 「抛光」は“磨いて光沢を出す”“ポリッシングする”という動詞的熟語。  
    学習コスト: 「抛」は“投げる”の意だが、研磨の決まり文句として頻用。「光」は後述の「光(光る)」にも転用可能。
24. hel / 明 /  
    選定理由: 「明」は“明るい”“はっきりしている”を表すもっとも基本的な単字。  
    学習コスト: 日本語の「明るい」と同形で連想容易。画数も比較的少ない。
25. lum / 光 /  
    選定理由: 「光」は“光”“光線”などの意味で最も直接的かつ汎用性が高い単字。  
    学習コスト: 既に「抛光」などで登場済み。再利用により学習負担を抑えられる。
26. bril / 闪 /  
    選定理由: 「闪」は“中国語で“閃く・きらめく・瞬間的に光る”ニュアンスの基本字。  
    学習コスト: 「闪电」で既出。単独でも“きらめき”を表せるため再利用に最適。

diafan/半透/「半透明」を2文字で簡略化。「半透膜」などの語形もあり、意味も推測しやすい/既出漢字との重複は少ないが「半」「透」は比較的基本的な偏旁を含む

konciz/简洁/「簡潔」の標準的な簡体表記。両文字とも頻出漢字/「简」は後述の「簡単(simpl)」と重複利用予定

facil/易/「容易」「簡単」の意を単字で表現。「易」は日本語でも「容易」の熟語に含まれ連想しやすい/画数が比較的少なく、学習コストも低い

simpl/简/「簡単」「単純」を意味する簡体字。「简」そのものに「シンプル」のニュアンスあり/「konciz=简洁」と重複利用し、偏旁の種類を抑制

klar##/未対応/語根ではない(末尾##)ため割当を行わず/—

evident/明白/「明白」「明らか」などを示す標準的表現。日本語話者にも直感的/「明」+「白」は双方とも基本字で学習コスト低め

klar/明/「明瞭」「明るい」の意を単字で表現。中国語でも「明了」「明白」として用例多/「evident=明白」との共有文字「明」を再利用

ebon/乌木/「黒檀」の標準的な中国語表現の一つ。「乌」は簡体で画数少/「黑檀」は画数が多いため、より簡易な「乌木」を選択

nigr/黑/「黒色」を表す単字。やや画数多めだが最も直接的/学習者に馴染みやすい基本色字

negr/黑人/「黒人」を表す標準的表記。既出の「黑」+「人」/「人」は今後も広汎に転用可能

blank/白/「白色」を示す単字。最も直接的で画数も少ない/色名として認識しやすい基本字

albin/白化/「アルビノ(白化)」の意に近い2文字。「白化病」の略イメージ/「白」は既出、かつ「化」(4画)も基本的偏旁

pal/苍白/「青ざめた」「蒼白」を示す標準的表現。/「白」は重複利用。「苍」は画数6と比較的少なめ

blond/金发/「金髪」を意味する簡体表現。/「金」は基本字(8画)、「发」は5画で比較的少なく済む

blu/蓝/「青(い)」「ブルー」を表す簡体字。/単字「蓝」は画数やや多い(13画)が標準色字

flav/黄/「黄色」を表す単字。/色名としても基本的かつ画数11でそこそこ

brun/褐色/「茶色」「褐色」の意味として比較的通じやすい2文字表現/日本語でも「褐色」と読むため連想しやすい

griz/灰/「灰色」を意味する単字。/「灰色」と2文字にしてもよいが、ここでは1文字で提示

lazur/天蓝/「るり色」「空色」に相当。中国語で「天蓝」は「空色」に近いニュアンス/既出「蓝」を活用しつつ、画数の少ない「天」を組み合わせ

purpur/紫/「紫色」を示す単字。/9画で済み、色としても直接的

skarlat/绯红/「猩紅」「緋色」「スカーレット」の代表的用法。「绯红女巫(Wanda)」など用例/「红」を既出「ruĝ」と共有

verd/绿/「緑色」を表す単字。/9画ながら色名として最頻出

verdigr/铜绿/「緑青」を意味する慣用的な中国語。「铜」+「绿」/「绿」は既出。新たに「铜」を導入

ruĝ/红/「赤色」を表す単字。/6画と比較的少なく、基本色名

punc/大红/「ひなげし色」「真っ赤」「鮮やかな赤」に近い中国語表現/既出「红」を活用。「大」は画数3

novjork/纽约/「ニューヨーク」の標準的表記/「纽」(7画) +「约」(6画)

jork/约克/「ヨーク」の中国語転写/「约」(既出),「克」(新規7画)。中国語でYorkの一般的音訳

### **1) nikola**

swift

Copy

nikola/尼/人名の「ニコラ」系を表すための簡易表記として「尼」を採用/「尼」は画数少なめで頻度も高め

* 理由・根拠: 中国語で「尼」単体は本来「尼僧」を意味しますが、外来名の音「ni」相当としても広く使われる漢字です。
* 学習コスト: シンプルな5画で、日本語・中国語とも初級レベルで目にする機会があり、再利用もしやすい。

### 2) nikodem

swift

Copy

nikodem/尼/「ニコデモ」も同様に「尼」を使い回し/同上

* 理由・根拠: 上記「nikola」と同様、外来名「Ni～」をまとめて「尼」にして学習コスト削減。
* 学習コスト: 上と同一の字を使い回すため、新たな漢字を増やさない。

### 3) nikel

swift

Copy

nikel/镍/「ニッケル」の正式な簡体字/金属関連で中国語では「镍」が定着している

* 理由・根拠: 「ニッケル」は中国語で「镍」（伝統的には「鎳」）が一般的。金へん(钅)＋「蔑」に相当する字形。
* 学習コスト: 新出の漢字にはなるが、化学元素名としては標準的で、中国語話者には即通じる。

### 4) nanken

swift

Copy

nanken/南京布/「ナンキン木綿」の由来である「南京(nánjīng)」＋「布」(布地)で表現/地名＋「布」でわかりやすい

* 理由・根拠: 「nankeen」は元来「南京から伝わった布」という意味のため、「南京布」と表せば中国語話者・日本語話者ともに連想しやすい。
* 学習コスト: 「南」「京」「布」はいずれも比較的初歩で学ぶ常用漢字なので、転用も期待できる。

### 5) nikotin

swift

Copy

nikotin/尼古丁/ニコチンの中国語表記として定着/外来語標準表記

* 理由・根拠: 中国語でニコチンは「尼古丁」と書くのが一般的。発音転写型で、日本語話者も見慣れやすい。
* 学習コスト: 「尼」は既出。「古」「丁」は基本的かつ画数が多くないため、比較的覚えやすい。

### 6) elektr

makefile

Copy

elektr/电/「電気」を意味する最もシンプルな簡体字/中国語の「电」(繁体:電)

* 理由・根拠: 「電」の簡体字が「电」。きわめて頻出の漢字なので覚えやすい。
* 学習コスト: 5画。日本語の「電」とよく似た形状で連想しやすい。

### 7) elektronik

swift

Copy

elektronik/电子/「電子(工学)」の基本形として「电子」が広く使われる/「电子学」などにも通じる

* 理由・根拠: 「电子(電子)」は「電子工学」を含む文脈で最も一般的かつ簡潔。
* 学習コスト: 「电」は既出。新たに「子」(画数少なめ)を足すだけで済む。

### 8) ret

swift

Copy

ret/网/「ネット・網」を簡体字で表す/日本語の「網」に近い概念を持つ

* 理由・根拠: 中国語では「网」(繁体:網)がネットワークやウェブを指す際にも使われる。
* 学習コスト: 4画でシンプル。両言語話者とも「網」を連想しやすい。

### 9) cirkvit

swift

Copy

cirkvit/电路/電気回路を表す標準語/「路」は道・回路など幅広く用いられる

* 理由・根拠: 「回路」は中国語で「电路」が一般的。
* 学習コスト: 「电」は既出。「路」は常用字であり転用可能性も高い。

### 10) orel

swift

Copy

orel/耳/解剖学的な「耳」を意味する常用字

* 理由・根拠: 中国語・日本語いずれでも「耳」はほぼ同形。
* 学習コスト: 6画で常用漢字。

### 11) aŭd

css

Copy

aŭd/听/「聞く」(聴覚を働かせる)に対応/中国語でも「听」は“聞く”を意味

* 理由・根拠: 簡体字「听」は「聽」の省略形。
* 学習コスト: 7画ながら、非常に頻度が高く、多義で使いやすい。

### 12) aŭskult

css

Copy

aŭskult/听/「(注意して)聴く」も同じく「听」を使い回し/区別は上付きなどで処理

* 理由・根拠: 中国語では「听音乐」「倾听」など、listenの意味領域でも同一字を用いる。
* 学習コスト: 同一字を使うことで学習負荷を下げる。

### 13) mikrofon

swift

Copy

mikrofon/话筒/中国語で「マイク」の意味に広く使われる/直訳すれば「話の筒」

* 理由・根拠: 中国語で「麦克风」も一般的だが、画数・文字種類の削減を考慮し、すでに「话」(電話で使用)を流用可能な「话筒」に統一。
* 学習コスト: 「话」は電話(14番)で既出。「筒」(竹冠＋同)は新出だが1文字追加で済む。

### 14) telefon

swift

Copy

telefon/电话/最も一般的な「電話」の簡体字

* 理由・根拠: 中国語で電話は「电话」。日本語話者にとっても類推しやすい。
* 学習コスト: 「电」は既出。新出の「话」(言＋舌の略形)は高頻度字なので有用。

### 15) telegraf

swift

Copy

telegraf/电报/「電信・電報」の中国語常用表現

* 理由・根拠: 中国語では「电报」が定番。
* 学習コスト: 「电」は既出。「报」(手＋巳の略形)は比較的頻度も高い。

### 16) faktor

swift

Copy

faktor/因/「要因」「因子」を端的に表す1文字/「因」は原因などにも使われる

* 理由・根拠: 中国語で「因素」「因子」等が「factor」を表すが、1字に圧縮して学習コストを下げるため「因」を採用。
* 学習コスト: 6画。「原因」「因为」などでも使われる字なので転用性高し。

### 17) kaŭz

swift

Copy

kaŭz/因/「原因」を表す漢字を「faktor」と同じく「因」で使い回す

* 理由・根拠: 「causal/ cause」を意味する際も中国語は「原因」「因」などを使う。1字化で重複利用。
* 学習コスト: 上記と同様。

### 18) motiv

swift

Copy

motiv/动机/「動機」の中国語で標準的かつ簡潔な表現

* 理由・根拠: 「动机」は「motive」や「モチベーション」の意味に広く対応。
* 学習コスト: 「动」は常用、「机」も電話機などで見かける頻出字(本リストでは新規だが簡単な部類)。

### 19) kial

swift

Copy

kial/为什么/「なぜ」「どうして」を表す最も一般的な言い方

* 理由・根拠: 中国語標準の疑問詞表現。日本語話者も「為什麼」という表記を見かける機会は多い。
* 学習コスト: 「为」は後述「为了」と共通。「什」「么」も画数は少なめ。

### 20) kial##

shell

Copy

kial##/为什么/同上(kialと同一)/厳密には語根でないが同義なので使い回し

* 理由・根拠: 上に同じ。
* 学習コスト: 追加負荷なし。

### 21) ial

swift

Copy

ial/某因/「ある理由で」を直訳的に「ある＋原因」の形で簡潔に2文字化

* 理由・根拠: 標準的な長い訳は「由于某种原因」だが、文字数削減のため「某因」を仮採用。
* 学習コスト: 「某」は比較的初歩的常用字。「因」は既出。

### 22) ĉial

swift

Copy

ĉial/凡因/「あらゆる理由で」を「凡(あらゆる)＋因(原因)」で簡潔に2文字化

* 理由・根拠: 直訳的表現にすると「种种原因」「各种原因」だが、新出漢字が増えるので「凡因」に圧縮。
* 学習コスト: 「凡」(3画)は覚えやすく、「因」は既出。

### 23) ĉar

swift

Copy

ĉar/因为/「~だから」(理由)の意味を表す標準的な中国語表現

* 理由・根拠: 中国語で「because」に当たるのが「因为」。日本語話者にも馴染みやすい。
* 学習コスト: 「因」は既出。「为」は19番(kial)ですでに登場。

### 24) ĉar##

bash

Copy

ĉar##/因为/同上(ĉarと同一)/荷馬車の意味は区別表記へ

* 理由・根拠: 同義として扱う。馬車(チャリオット)由来部分は後で上付き文字等で区別可。
* 学習コスト: 追加負荷なし。

### 25) tial

swift

Copy

tial/因此/「それゆえ」の標準的二字表現/「所以」も可だが「因」を再利用

* 理由・根拠: 中国語で「それゆえ」は「因此」「所以」など。既出の「因」を使う「因此」を選択。
* 学習コスト: 「因」は既出。「此」はやや新出だが6画でそれほど複雑ではない。

### 26) pro

swift

Copy

pro/由于/「~のために」(原因)を示す代表的表現

* 理由・根拠: 中国語で理由・原因を表す前置詞的表現として「由于」が頻出。
* 学習コスト: 新出の「由」「于」は合計8画程度と少なめ。

### 27) por

swift

Copy

por/为了/「~のために」(目的)を表す代表的表現

* 理由・根拠: 中国語で目的を示す際の定番。「为」は既出、「了」(2画)だけ新たに学習すればOK。
* 学習コスト: 新出は「了」のみで、ごく初歩的。

prez / 价 /

* + 選定理由: 「価格」に相当する簡体字として「价格」が一般的だが、ここでは1文字で「价」を採用。「价」は「価(日本語)」に近い意味を持ち、価格・値段を示唆しやすい。
  + 学習コスト: シンプルな6画の常用字。「価格」全体よりも1文字のほうが覚えやすい。

1. statur / 身高 /
   * 選定理由: 「身長」「体の高さ」を明確に表す2文字熟語。中国語でも「身高」は日常的に「背丈・身長」の意で使う。
   * 学習コスト: 「身」(7画)と「高」(10画)の2字だが、ともに常用かつ日本語話者にも比較的馴染みがあるため再利用価値はある。
2. diametr / 直径 /
   * 選定理由: 直径を表す標準的な2文字熟語。「径」単独で「(数学用語としての)径」を表す場合もあるが、やや専門的なので「直径」が分かりやすい。
   * 学習コスト: 「直」(8画)と「径」(8画)。ともに比較的基本的な字なので、それほど負担は大きくない。
3. latitud / 纬度 /
   * 選定理由: 緯度を表す一般的な語。「纬」(“緯”の簡体)と「度」で構成される。
   * 学習コスト: 「度」は後述の「経度」などでも再利用可。「纬」はやや画数少なめ(7画)で、地理用語として定着している。
4. longitud / 经度 /
   * 選定理由: 経度を表す一般的な語。「经」(“経”の簡体)と「度」で構成される。
   * 学習コスト: 「度」を再利用。「经」(7画)も地理用語で頻出。
5. milion / 百万 /
   * 選定理由: 「百万(1,000,000)」を示す最も基本的な表現。
   * 学習コスト: 「百」(6画)は後述の “cent(=百)” と共有可能。「万」(3画) も常用頻度が高く、使い回しが期待できる。
6. miliard / 十亿 /
   * 選定理由: 「十億(1,000,000,000)」の簡体字表現として「十亿」が一般的。「亿」は日本語の「億」の簡体形。
   * 学習コスト: 「十」(2画)、「亿」(3画)はいずれも画数が少なく学習しやすい。
7. mil / 千 /
   * 選定理由: 「千(1,000)」を示す単字で、日本語・中国語どちらの文脈でも分かりやすい。
   * 学習コスト: 3画と少なく、今後「千米(=キロメートル)」等でも再利用。
8. cent / 百 /
   * 選定理由: 「百(100)」を示す単字で、日本語・中国語双方に馴染みがある。
   * 学習コスト: 6画の基本字。上記「百万」でも再利用。
9. nul / 零 /
   * 選定理由: 「ゼロ」を表す標準的な漢字。簡体字でも「零」。
   * 学習コスト: 画数(13画)はやや多いが、「0」の概念を表す最重要字の一つ。
10. nul## / 零 /
    * 選定理由: 上と同じ「ゼロ」。同根ではないが同義なので再利用。
    * 学習コスト: 既出文字の使い回し。
11. miriad / 无数 /
    * 選定理由: 「無数」「数え切れないほど多い」という意味で、中国語でも「无数」が一般的。
    * 学習コスト: 「无」(4画)と「数」(比較的画数多めだが重要語)。後述する数字関連でも「数」を再利用。
12. cifer / 数字 /
    * 選定理由: 「数字」「数字上の符号」を最も直接的に表現する熟語。
    * 学習コスト: 「数」(既出) + 「字」(6画)。日常で頻出の組み合わせ。
13. nombr / 数目 /
    * 選定理由: 「数(すう)」「数目(すうもく)」は「(具体的な)数・数値」の意。単に「数」だけだと動詞/名詞が曖昧なので2文字熟語を選択。
    * 学習コスト: 「数」は既出。「目」(5画)は日本語でも「め/モク」として馴染みがあり、他用法との組み合わせも期待。
14. numer / 号 /
    * 選定理由: 「番号」「号数」を表す簡潔な単字。中国語では「号」は番地や日付などにも用いられ、日本語でも「号」は理解しやすい。
    * 学習コスト: 5画と少ないため学習コストは低め。
15. centimetr / 厘米 /
    * 選定理由: センチメートルの標準的な中国語表現。
    * 学習コスト: 「厘」(10画) + 「米」(6画)。「米」は後述のメートルやキロメートル等でも再利用。
16. col / 英寸 /
    * 選定理由: インチは中国語で「英寸」が一般的。1文字「寸」だと中国の伝統的「寸」を指し混同を招きやすいため、あえて2文字熟語に。
    * 学習コスト: 「英」(8画)と「寸」(3画)。後述の「英里」でも「英」を再利用。
17. kilometr / 千米 /
    * 選定理由: キロメートル。中国では「公里」も広く使うが、「千米」とすることで既出の「千」「米」が再利用でき、学習コストを抑えられる。
    * 学習コスト: 新規漢字なし。
18. mejl / 英里 /
    * 選定理由: マイルの中国語表現「英里」。
    * 学習コスト: 「英」は既出。「里」(7画)のみ新規だが、比較的基本的な漢字。
19. metr / 米 /
    * 選定理由: メートルを表す簡潔な単字。「米(メートル)」は中国語の量詞として定着。
    * 学習コスト: 既に「厘米」「千米」などにも登場しており、再利用。
20. milimetr / 毫米 /
    * 選定理由: ミリメートルの標準表記。「毫」+「米」。
    * 学習コスト: 「毫」(11画)は新規だが、「米」は既出。
21. centim / 分 /
    * 選定理由: サンチーム(通貨の1/100単位)を表すにあたり、中国語で“～分”と呼ぶ例は多い(例: 美分=US cent)。サンチーム固有の漢字はあまり一般的でないため「分」を転用。
    * 学習コスト: 1文字「分」(4画)のみ。後述の「セント」「時間の分」とも共通化可能。
22. cend / 分 /
    * 選定理由: セント(USドルの1/100)も中国語では「美分」と呼ぶなど、「分」で表現するのが普通。
    * 学習コスト: 上記と同じく再利用。
23. minut / 分 /
    * 選定理由: 時間の「分」。中国語では「分钟」とも書くが、ここでは1文字「分」を優先し、学習コストを削減。
    * 学習コスト: 通貨の「分」と同形だが、振り仮名等で区別予定。
24. sekund / 秒 /
    * 選定理由: 時間の「秒」を表す常用字。
    * 学習コスト: 9画でやや多いが、時間を扱う上で必須の基本字。
25. pasport / 护照 /
    * 選定理由: パスポートを表す標準的な中国語。「护」(保護の意) + 「照」(証明書き/照合)で構成。
    * 学習コスト: 新規の「护」(7画)と「照」(13画)だが、旅券を表す語としては必須。
26. viz / 签证 /
    * 選定理由: ビザ(査証)の中国語は「签证」が一般的。1文字化は困難なため2文字熟語を採用。
    * 学習コスト: 「签」(9画) + 「证」(7画)。いずれも「証明書」「サイン」等で使われる常用字。
27. diplomat / 外交官 /  
    　「外交官」は中国語でも日本語でも「diplomat」に相当する表現で非常に標準的。 /  
    　「外(5画)」「交(6画)」「官(8画)」はいずれも使用頻度が高く、他でも転用可能。
28. diplomati / 外交 /  
    　「外交」は中国語で「diplomacy」「diplomatic affairs」の意味。日本語でも「外交」といえば通じる。 /  
    　1番と同じく「外」「交」を再利用しており、学習コストを抑えられる。
29. ambasad / 大使馆 /  
    　「大使馆」は「大使館(＝Embassy)」の簡体字表記。非常に一般的。 /  
    　「大(3画)」「使(8画)」「馆(11画)」のうち「使」「馆」は後述の「大使」「图书馆」「博物馆」等で重複利用。
30. ambasador / 大使 /  
    　「大使」はアンバサダー(ambassador)に相当する簡体字。 /  
    　3番と同じく「大」「使」を再利用可能。
31. perspektiv / 观点 /  
    　「观点」は中国語で「見解」「視点」「観点」の意。日本語話者にも「観点」のイメージで分かりやすい。 /  
    　「观(6画)」「点(9画)」。今後「观」は「観光」(turism)などでも再利用を想定。
32. pejzaĝ / 风景 /  
    　中国語で「风景」は「風景」という意味。日本語圏にも馴染みやすい。 /  
    　「风(4画)」「景(12画)」。次の「全景」(panoram)でも「景」を使い回す。
33. panoram / 全景 /  
    　「全景」は「パノラマ」「全体の景色」の意。 /  
    　既出の「景」を再利用し、「全(6画)＋景(12画)」の二文字で表現。
34. vizit / 访问 /  
    　「访问」は中国語で「訪問する」という意味。日本語の「訪問」にも近い感覚で理解可能。 /  
    　「访(6画)」「问(6画)」。比較的画数が少なく、よく使われる漢字。
35. turism / 观光 /  
    　「観光」は日本語では馴染み深く、中国語でも「观光」は通じる(※やや書き言葉寄りだが「游览」等とほぼ同義)。 /  
    　「观(6画)」「光(6画)」。既に5番(观点)で「观」を使用しており画数を抑えられる。
36. turist / 观光客 /  
    　「観光客」は日本語では定番、中国語でも「观光客」という表現は通じる(「游客」のほうが口語的だが意味は同じ)。 /  
    　「观」「光」「客(9画)」はいずれも常用で、先の「观」を再利用。
37. guvern / 养 /  
    　エスペラントで「(子を)養育する」「個人教授する」イメージ。中国語の「养」は「育てる」「養う」。 /  
    　一文字で済むうえ画数(6画)も少なく、基本的な漢字。
38. instru / 教 /  
    　中国語でも日本語でも「教える」の基本漢字。 /  
    　常用かつ教育関連に頻出。以後も「教～」で派生を使い回せる。
39. eduk / 教育 /  
    　「教育」は中国語でも日本語でも同様の語感。「eduk」は「育てる・教育する」。 /  
    　すでに「教」を利用。「育(8画)」は新規だが「教育家」「教育学」など連携が取りやすい。
40. didaktik / 教法 /  
    　「教学法」がやや長めなので、簡略して「教法」(「教授法」のイメージ)。 /  
    　「教」は再利用。「法(8画)」も常用で、学習コストを抑えられる。
41. pedagog / 教育家 /  
    　「教育家」は「教育者」「教育に携わる著名人」等のニュアンス。 /  
    　「教育」を再利用＋「家(10画)」は専門家・一家言ある人を表す常用語。
42. pedagogi / 教育学 /  
    　「教育学」は「pedagogy」に対応。 /  
    　「教育」を再利用し、「学(8画)」を足すことで専門分野を示す。
43. seminari / 研讨会 /  
    　「研讨会」は「セミナー」「研究討論の会合」といった意味合いで中国語では定番。 /  
    　「研(9画)」「讨(5画)」「会(6画)」。いずれも再利用の機会が多い。
44. lecion / 课 /  
    　「课」は「授業」「レッスン」「課程」などの意味を持つ単体漢字。 /  
    　画数は10だが、教育関連では最頻出クラスの常用字。
45. kurs / 课程 /  
    　「课程」は「コース」「講座」に相当。 /  
    　既出の「课」を再利用。「程(12画)」は新出だが常用度が高い。
46. doktor / 博士 /  
    　「博士」は学術博士の意味合いで非常に分かりやすい。 /  
    　「博(12画)」「士(3画)」。後述の「博物馆」とも関連する「博」を再利用可能。
47. profesor / 教授 /  
    　「教授」はそのまま「professor」に合致。 /  
    　「教」を再利用し、「授(11画)」を追加。教育分野でよく使われる漢字。
48. dekan / 院长 /  
    　「院长」は大学の学部長・学部トップなどを指すのに一般的(「学院の長」)。 /  
    　「院(10画)」「长(4画)」。校内幹部職「～长」は後述の校长と同系列。
49. rektor / 校长 /  
    　「校长」は大学の学長や学校長の意味で広く使われる。 /  
    　「校(10画)」「长(4画)」。22番と同じく「～长」で幹部職を表現。
50. institut / 研究所 /  
    　「研究所」は研究機関・研究施設などに対応。 /  
    　「研」は17番と同じ。「究(7画)」「所(8画)」も比較的頻度が高く学習しやすい。
51. instituci / 机构 /  
    　「机构」は組織や施設(インスティテューション)の意。 /  
    　「机(6画)」「构(10画)」はともに簡体字で頻度が高い。
52. bibliotek / 图书馆 /  
    　「图书馆」は「図書館」の簡体字。 /  
    　「图(8画)」「书(4画)」「馆(11画)」。3番や27番でも「馆」を流用。
53. muze / 博物馆 /  
    　「博物馆」は「博物館」の簡体字。 /  
    　「博」は20番でも登場、「物(8画)」「馆(11画)」を再利用し施設系の建物を示す表現。

laboratori / 实验室 /  
　- 実際の中国語で「実験室」「研究室」に相当する標準的表現。「实」(実)と「验」(験)はいずれも日中双方で“実験/検証”のニュアンスが伝わりやすい。  
　- 3文字ではあるが、「实」「验」「室」は頻出度が高く、今後も転用しやすい。

1. observatori / 天文台 /  
   　- 中国語では「天文台」が天体観測所の定番表現。日本語でも「天文台」は馴染み深い。  
   　- 「天」「文」「台」いずれも画数が比較的少なく、かつ頻度が高い漢字のため学習コストは抑えめ。
2. komitat / 委员会 /  
   　- 「(実行)委員会」等を指す標準的な表現。  
   　- 「委」「员」「会」は今後、他の「会議」「集まり」関係の語にも転用可能であるため、比較的学習効率が良い。
3. komision / 委员会 /  
   　- 「(調査)委員会」を指す場合、中国語ではやはり同じく「委员会」で通じることが多い。  
   　- 「komitat」と同じ熟語を割り当て、必要に応じて上付き文字や振り仮名などで区別する想定。
4. senat / 参议院 /  
   　- 中国語で「上院」「元老院」「参議院」などを指す標準表現。  
   　- 「参」「议」「院」はいずれも政治関連用語で頻出度が高い。
5. parlament / 议会 /  
   　- 「国会」「議会」に相当する中国語標準表現の一つ。  
   　- 「议」(議)と「会」は他の「会議」系単語でも再利用しやすく、画数も少なめ。
6. konsistori / 枢机会议 /  
   　- カトリック教会の「枢機卿会議」にあたる語として、中国語では「枢机会议」が用いられる。  
   　- 「枢」「机」「会」「议」のうち、「机」「会」「议」は他でも再登場しやすいが、「枢」はややマイナー。しかし宗教専門用語としてはやむを得ないかもしれない。
7. sinod / 主教会议 /  
   　- キリスト教等における「主教会議」「宗教会議」として、中国語では「主教会议」などが用いられることが多い。  
   　- 「主」「教」「会」「议」の4文字で、「会」「议」は既出。「主」「教」も宗教関連語根で再利用が見込まれる。
8. konferenc / 会议 /  
   　- 一般的な「会議」「カンファレンス」は中国語で「会议」が基本。  
   　- 既出の「会」「议」2文字のみなので学習コストも低い。
9. kongres / 大会 /  
   　- 「(代表)大会」「カンファレンスの大規模版」などを表す際、中国語でも「大会」が広く用いられる。  
   　- 「大」「会」共に画数が少なく、既出の「会」と組み合わせるだけなので容易。
10. asemble / 大会 /  
    　- 「総会」「集会」なども含め、大きな会合を指す意味であれば「大会」で対応可能。  
    　- 「kongres」と同一熟語だが、エスペラント側では別語根なので、後で上付き文字等で区別をつける想定。
11. teodor / 西奥多 /  
    　- 中国語で「テオドール」に相当する人名表記として「西奥多」(「西奥多尔」など)が一般的。  
    　- 「西」「奥」「多」はいずれも日常使用頻度がそこそこ高い。
12. jod / 碘 /  
    　- 中国語で「ヨウ素(iodine)」は「碘」。  
    　- 化学元素名として頻度は高くないが、単字でわかりやすい。
13. sod / 苏打 /  
    　- 中国語で「ソーダ(soda)」を示す際は「苏打」。  
    　- 「苏」「打」はともに画数が多すぎず、一般単語としても見かけるため比較的学習しやすい。
14. jud / 犹太 /  
    　- 「ユダヤ人」を指す場合、中国語では「犹太人」または単に「犹太」とも。ここでは2文字で簡略化している。  
    　- 「犹」「太」はいずれもそこそこ使用頻度があり、画数も少なめ。
15. jud/ism## / 犹太教 /  
    　- 宗教としての「ユダヤ教」は「犹太教」。  
    　- 15)と同じ要素に「教」を付与するだけなので、関連づけて覚えやすい。
16. judaism / 犹太教 /  
    　- 上と同じく「ユダヤ教」。  
    　- 「jud/ism##」と同義のため重複割当になるが、エスペラント上の語根区別は後で補う。
17. johan / 约翰 /  
    　- 「ヨハン」は中国語表記で「约翰」(ヨハネ、ジョンに近い転写)が標準的。  
    　- 「约」「翰」は「聖書関連名」「人名転写」で出てくる頻度が高い。
18. jozef / 约瑟夫 /  
    　- 「ヨセフ」は「约瑟夫」が一般的な転写。  
    　- 18)の「约」と同じく、人名の頭に付くことが多い要素を再利用できる。
19. aŭgust / 八月 /  
    　- 月名としての「8月」は中国語ではシンプルに「八月」。  
    　- 「八」「月」は筆画が少なく、すでに日常語彙。
20. aŭgust## / 奥古斯特 /  
    　- 人名としての「アウグスト」を音訳した場合、中国語表記は「奥古斯特」が広く定着。  
    　- 画数はやや多いが、人名転写としては標準的。
21. juli / 七月 /  
    　- 「7月」。  
    　- 「七」「月」ともに画数・頻度とも非常に低コスト。
22. juni / 六月 /  
    　- 「6月」。  
    　- 同じく基本的な数字＋「月」。
23. septembr / 九月 /  
    　- 「9月」。  
    　- 数字＋「月」は共通パターンのため学習しやすい。
24. decembr / 十二月 /  
    　- 「12月」。  
    　- ここも月名で統一。
25. oktobr / 十月 /  
    　- 「10月」。  
    　- シンプルに数字＋「月」で揃える。
26. novembr / 十一月 /  
    　- 「11月」。  
    　- 同上、連続する月名として理解しやすい。

### **1) januar**

sql

Copy

januar/一月/「1月」の意味が直観的にわかりやすい/「月」は他の月名や「month」にも使い回せる

### 2) februar

swift

Copy

februar/二月/「2月」の意味が直観的にわかりやすい/「月」は再利用

### 3) mart

swift

Copy

mart/三月/「3月」の意味が直観的にわかりやすい/「月」は再利用

### 4) maj

swift

Copy

maj/五月/「5月」の意味が直観的にわかりやすい/「月」は再利用

### 5) april

swift

Copy

april/四月/「4月」の意味が直観的にわかりやすい/「月」は再利用

### 6) monat

sql

Copy

monat/月/「month」の意味に直結/画数が少なく日中双方で理解しやすい

### 7) lun

swift

Copy

lun/月/「月(天体)」だが、同じ「月」を流用/学習コスト削減のため再利用

※ 「monat」と同じ漢字ですが、将来は上付き文字等で区別予定。

### 8) sun

swift

Copy

sun/日/古来より「太陽」を「日」と書く用法あり/画数が少なく再利用しやすい

### 9) tag

sql

Copy

tag/日/「日(=day)」/同じく「日」を流用し学習コストを抑える

※ 「sun」と同じ漢字ですが、こちらも区別は後で工夫する想定。

### 10) dat

swift

Copy

dat/日号/「日」(day) +「号」(～番/日付の意)で「日付」を連想可能/「号」は比較的画数が少ない

* 厳密には「日期」が標準的ですが、「期」は画数が多いため「日号」を提案。
* 中国語としてはやや変則的ですが、「今天几号？」(今日は何日？) の「号」で日付を表す感覚を利用。

### 11) hieraŭ

swift

Copy

hieraŭ/昨天/中国語の「昨日」に相当/「昨」は画数多めだが他に適当な一字がないため標準表記を使用

### 12) morgaŭ

swift

Copy

morgaŭ/明天/中国語の「明日」に相当/「明」はやや画数が多いが、広く通用する表現

### 13) semajn

swift

Copy

semajn/周/「週」を表す簡潔な一字/「星期」よりも画数が少なく、学習コストを低減

### 14) sabat

swift

Copy

sabat/周六/「土曜日」を簡体字で略す場合の一般的な形/「六」は新出だが画数が少ない

### 15) dimanĉ

swift

Copy

dimanĉ/周日/「日曜日」を簡体字で略す際に用いられる/すでに「周」「日」は出現済み

### 16) ĵaŭd

css

Copy

ĵaŭd/周四/「木曜日」に対応/すでに「周」「四」は出現済み

### 17) vendred

swift

Copy

vendred/周五/「金曜日」に対応/「周」「五」は出現済み

### 18) lund

swift

Copy

lund/周一/「月曜日」に対応/「周」「一」は出現済み

### 19) mard

swift

Copy

mard/周二/「火曜日」に対応/「周」「二」は出現済み

### 20) merkred

swift

Copy

merkred/周三/「水曜日」に対応/「周」「三」は出現済み

### 21) in

swift

Copy

in/女/女性を示すシンプルな一字/画数が少なく日中で意味がわかりやすい

### 22) nj

swift

Copy

nj/女/女子愛称用接尾辞だが、同じ「女」を流用/今後の上付き文字等で区別予定

### 23) bert

swift

Copy

bert/伯特/中国語圏で「～bert」を音訳する際によく用いられる形の一つ/「特」は次項でも再利用

### 24) henriet

swift

Copy

henriet/亨利特/「Henrietta」の漢訳簡易形の一例/「特」を再利用、「亨」「利」は新出

### 25) s-ro##

shell

Copy

s-ro##/先生/中国語で男性敬称の代表格/日本語では「先生」は主に教師だが「Mr.」的用法も理解可能

### 26) s-ino##

shell

Copy

s-ino##/女士/中国語で女性敬称の代表格/「女」は既出で「士」だけ新出

### 27) sinjor/in##

swift

Copy

sinjor/in##/先生/女士/「sinjoro/sinjorino」のペアを簡体字で示すならこの対が一般的/学習コストは上記と同様

* 厳密には「sinjor＝先生」「sinjorino＝女士」で使い分け。まとめて書く場合は「先生/女士」。

dam / 夫人 / 「貴婦人」「レディ」に相当する敬称として中国語でも広く通じる / 「夫」「人」は画数が比較的少なく、他の語根(未婚夫など)でも再利用可能

1. varsovi / 华沙 / ワルシャワの正式な中国語表記 / 固有名詞のため一般的に定着した「华」「沙」を使用。どちらも頻度が高い漢字で学習コストも妥当
2. vaŝington / 华盛顿 / ワシントンの正式な中国語表記 / 固有名詞として定着済み。「华」は(2)で既出なので重複利用可。「盛」「顿」も地名で頻出
3. bulonj / 布洛涅 / ブーローニュの一般的な音訳表記 / 固有名詞。「布」「洛」「涅」は他の地名・人名でも見られるため、将来的に再利用される可能性あり
4. burnus / 斗篷 / アラブ風のフード付きマント「ブルヌス」に近いイメージとして「斗篷」(マント、ケープ)を採用 / 「斗」「篷」はやや画数があるが、他に適切な1字が存在しにくい服飾語のため熟語を選択
5. london / 伦敦 / ロンドンの正式な中国語表記 / 固有名詞。「伦」「敦」は地名として高頻度
6. pariz / 巴黎 / パリの正式な中国語表記 / 固有名詞。「巴」「黎」は地名にもよく用いられる組み合わせ
7. berlin / 柏林 / ベルリンの正式な中国語表記 / 固有名詞。「柏」「林」は画数少なめかつ他の単語にも転用されやすい
8. he / 喂 / 「おい！(注意喚起)」の呼びかけ / 中国語でも「喂！」は「おい！」「ねえ！」の呼びかけとして頻用。1文字で分かりやすい
9. ha / 啊 / 「ああ！（感動・驚き）」 / 中国語で感嘆を表す最頻出字のひとつ。「あ！」に相当。既出の「喂」「啊」など感嘆系は学習しやすい
10. ho / 呵 / 「まあ！（驚き）」「ほう！」に近い感嘆 / 「啊」と似た用法だが、やや驚き・感嘆ニュアンスを別字で区別。常用の感嘆文字なので学習コストも低め
11. fi## / 呸 / 「ちぇっ！（嫌悪、不快）」に相当 / 「呸」は嫌悪や軽蔑を示す感嘆詞として適切。1文字でインパクトがあり区別しやすい
12. ŭa / 哇 / 「わあ！（叫び声）」 / 驚き・喜び・感嘆など多様に使われる感嘆詞。1文字で覚えやすい
13. ve / 唉 / 「ああ！（悲哀・嘆き）」 / 嘆息や落胆の際によく使われる感嘆詞。1文字で明瞭
14. dank / 谢 / 「感謝する」 / 「感谢」の短縮形としても頻出の「谢」を採用。1文字で「ありがとう」を表せるため学習しやすい
15. bon/vol## / 请 / 「どうぞ～(してください)」 / 中国語の「请(どうぞ～してください)」が最適。礼儀表現かつ使用頻度が高い
16. ĉe / 在 / 「(～の)ところで」「(～に)いる」 / 場所・存在を示す最頻出語の一つ。1文字で使いやすく、学習コストも低め
17. nu / 那 / 「さて」「それでは」 / 会話の切り出し・転換に使う「那(じゃあ)」を利用。日常でも頻度が高く覚えやすい
18. pli/ig## / 加 / 「(を)増やす」 / 「加(加える)」は画数が少なく汎用性が高い。増加の意味に近く、一字で扱いやすい
19. daŭr/ig## / 续 / 「(を)続ける」 / 本来は「继续」が標準だが、なるべく1文字にまとめて「续」を採用。動詞「続ける」に近いニュアンスを持つ
20. hav/ig## / 给 / 「(を)持たせる」「(～に)与える」 / 「to cause to have」に近い意味として「给(与える)」を使用。単純で使用頻度も高い
21. od / 颂 / 「オード(詩歌)」 / 「颂」には「ほめたたえる詩歌」の意味が含まれ、オード(頌歌)に近い。1文字で表しやすい
22. ven / 来 / 「(に)来る」 / もっとも基本的な動詞のひとつ「来」。1文字で分かりやすい
23. ĉe/est## / 参加 / 「(に)出席する」 / 「出席」に近い意味で、より汎用度の高い「参加」を2文字で採用。「加」は(19)で既出
24. ĉj## / 哥 / 「[接尾辞]男子愛称」 / 中国語で男性に対する親しみ表現(～哥)を転用。1文字で「男性愛称」を示しやすい
25. fraŭl / 光棍 / 「未婚男子」「独身男性」 / 中国語で「独身男性」を指す口語的表現。2文字だが常用熟語で分かりやすい
26. fianĉ / 未婚夫 / 「婚約者(男性)」 / 中国語の一般的な言い方に準拠。既出の「夫(1番のdamで使用)」を再利用できる

sinjor

* + 提案: 先生
  + 理由: 「Mr.」「紳士」「～さん」などの呼称に近い意味合いを持ち、中国語でも「先生」は「～さん／～氏」の敬称として広く使われる。日本人にとっても「先生」は馴染みが深い。
  + 学習コスト: 常用漢字2文字。どちらも頻度が高いため、学習コストは比較的低い。

1. vir
   * 提案: 男
   * 理由: 「男性」「男らしい」の意味に対応。日中でほぼ同じ意味を持ち、画数も少ない。
   * 学習コスト: 単独1文字で意味が明瞭。学習コストは低い。
2. edz
   * 提案: 夫
   * 理由: 「夫」「配偶者(夫)」を直示する文字として分かりやすい。
   * 学習コスト: 画数は4画で比較的少なく、日本語でも「夫」は「おっと」と読むため意味を類推しやすい。
3. vilhelm
   * 提案: 威廉
   * 理由: 中国語で一般的な「ウィリアム」の音訳表記。「威」は「威力」などで日本語にも馴染みがあり、「廉」も日本語で「廉価」「廉直」に用いられる。
   * 学習コスト: 2文字合計でやや画数は多めだが、人名表記としては標準的で分かりやすい。
4. petr
   * 提案: 彼得
   * 理由: 中国語での「ペーター」「ピーター」の定訳表記として広く使われる。日本語でも「彼」「得」は常用漢字。
   * 学習コスト: 2文字とも常用漢字であり、学習コストは中程度。
5. paŭl
   * 提案: 保罗
   * 理由: 「パウロ」「ポール」の定訳。中国語で「保罗」は極めて一般的な表記。
   * 学習コスト: いずれも比較的使用頻度が高い字で、名前表記としては理解されやすい。
6. romantik
   * 提案: 浪漫
   * 理由: 「ロマンチック」「浪漫的」の意味を最短2文字で示す。日中いずれも「ロマンチック」の翻訳語として定着している。
   * 学習コスト: 2文字合計やや画数多めだが、頻出語で認知度が高い。
7. romanc
   * 提案: 浪漫曲
   * 理由: 「[楽]ロマンス曲」の意。音楽用語として「浪漫曲」(ロマン曲) は中国語でも比較的通じる表現。
   * 学習コスト: 「浪漫」は既出。そこに「曲」(音楽・曲の意味) を足した3文字で分かりやすい。
8. amor
   * 提案: 爱神
   * 理由: Cupid, Eros(愛の神)を示す表記として「爱(愛)の神」。2文字で分かりやすい。
   * 学習コスト: 「爱」は既出なので「神」のみ追加学習。どちらも比較的初歩的な漢字。
9. am

* 提案: 爱
* 理由: 「愛する」動詞としても「愛」という名詞としても最も直接的な表現。
* 学習コスト: 単独1文字で意味がはっきりし、頻用漢字。

1. zamenhof

* 提案: 柴门霍夫
* 理由: 中国語で一般的に見られるザメンホフの音訳(「柴门霍夫」は複数表記の中の一例)。
* 学習コスト: 4文字合計画数は多めだが、人名の固有表記として割り切って採用。

1. hetman

* 提案: 司令
* 理由: 「hetman」は歴史的に「司令官」「首領」の意。中国語で「盖特曼」と音訳もあるが、意味重視で「司令」を推奨。
* 学習コスト: いずれも画数少なめ、かつ「司」「令」は他でも転用しやすい。

1. kapitan

* 提案: 船长
* 理由: 「船長」を最も直接的に示す中国語。「队长」は陸上の“チームリーダー”色が強いため不適。
* 学習コスト: 「船」(ふね)と「长」(ながい/ちょう)はそれぞれ比較的常用。2文字で済む。

1. kaporal

* 提案: 下士
* 理由: 「伍長」「コーポラル」を指す中国語の軍階級。PLAでも「下士」は英語でいうcorporalに相当。
* 学習コスト: 既出の「士」と同系統(今後も上士・中士などで応用可)。学習コスト低め。

1. major

* 提案: 少校
* 理由: 陸軍少佐に対応する中国語軍階級は「少校」。
* 学習コスト: 常用部首で構成されており、2文字ながらシンプル。

1. kolonel

* 提案: 上校
* 理由: 陸軍大佐(Colonel)に相当する中国語の軍階級。
* 学習コスト: 「上」は基礎漢字。「校」も日本で「学校」「校長」などに使われる常用字。

1. leŭtenant

* 提案: 中尉
* 理由: 「中尉」が軍隊階級「Lieutenant」を最も直接的に示す。
* 学習コスト: 「尉」は軍階級によく出る字。「中」は既知・汎用。

1. general

* 提案: 将军
* 理由: 「将軍」の意味を持ち、中国語では「～将军」と階級を示す。日本語でも「将軍」は有名。
* 学習コスト: 2文字合計画数は少し多めだが、歴史的にも頻出する。

1. oficir

* 提案: 军官
* 理由: 「士官/軍官」に相当。中国語で軍の「Officer」は一般に「军官」。
* 学習コスト: 「军」は軍関連で今後も使用機会大。「官」も政官僚関連に応用可。

1. serĝent

* 提案: 中士
* 理由: 「軍曹」に相当。PLA階級では「中士」が英語の“Sergeant”に近い。
* 学習コスト: 「中」は既出。「士」も既出。追加学習は不要。

1. herold

* 提案: 传令官
* 理由: 「伝令使・軍の使者」を意味し、中国語では「传令官」が適切。
* 学習コスト: やや画数があるが、「传(伝)」「令」「官」それぞれ今後も汎用性高い。

1. marŝal

* 提案: 元帅
* 理由: 「元帥」に相当。中国語でも「元帅」と書く。
* 学習コスト: 「元」は基本漢字。「帅」は軍階級でも常用(师帅など)で、比較的わかりやすい。

1. stab

* 提案: 参谋
* 理由: 「軍の幕僚・参謀」に相当。現代中国語の軍用語として定着。
* 学習コスト: 「参」(参加)、「谋」(謀)ともに比較的頻度高。2文字で意味が明瞭。

1. admiral

* 提案: 海军上将
* 理由: 海軍大将を中国では「海军上将」と呼ぶ。
* 学習コスト: 「海」「军」「上」「将」はすべて既出・頻用で、学習コストを抑えられる。

1. komisar

* 提案: 专员
* 理由: 「委員」「特命官」「コミッサール」等をまとめるなら「専員／専任の行政官」のニュアンスが近い。
* 学習コスト: 「专」は「専門」「专心」で頻度高く、「员」は「人員」「成员」など広範囲に使える。

1. ministr

* 提案: 部长
* 理由: 行政府の「大臣」に相当する最も一般的な表現。
* 学習コスト: 「部」「长」いずれも既出・汎用性高く、習得負荷も比較的低い。

1. konsul

* 提案: 领事
* 理由: 「領事」を示す中国語の標準表記。
* 学習コスト: 2文字だがどちらも外交・行政関連用語としてよく使われる。

prefekt / 令 /

* + 選定理由: 旧時代の地方官(県令など)を連想しやすい漢字。「长官」や「官」も考えられるが、画数が少なく分かりやすい「令」を採用。
  + 学習コスト: 「令」は日本語にも「命令」「号令」などで出現し、中国語でも「命令(mìnglìng)」などに含まれるため比較的認知度が高い。

1. kvestor / 财 /
   * 選定理由: ローマ時代の「財務担当(出納官)」という役職にちなんで、「財(财富の‘财’)」を割り当て。単独で「お金・財務」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 画数も少なく、日中ともに「財」系統の語で意味が取りやすい。
2. vasal / 臣 /
   * 選定理由: 君主に仕える「家臣」の連想から「臣」を選択。古くから「家臣・臣下」の意味をもつ。
   * 学習コスト: 非常に基本的な漢字(中国語「大臣」「臣服」、日本語「大臣」「臣下」など)であり、汎用性も高い。
3. eŭnuk / 太监 /
   * 選定理由: 宦官を意味する現代中国語の一般的表記。「宦」1文字も候補だがやや使用頻度が低いため、認知度の高い「太监」を優先。
   * 学習コスト: 2文字だが、「太」(大きい)と「监」(監視・管理の意)はどちらも頻出。今後「监」は他語根(例: kurator)とも共有可能。
4. ĉambelan / 侍 /
   * 選定理由: 「侍従」や「侍臣」を連想しやすい漢字として「侍」を採用。宮廷や高位者に付き従うイメージ。
   * 学習コスト: 「侍」は日本語の「侍」にも通じ、中国語でも「侍卫(近衛)」などに見られるため比較的覚えやすい。
5. kadet / 士 /
   * 選定理由: 士官候補生という軍関連の訓練生をイメージしやすい。「士」には「兵士」「武士」など軍人的ニュアンスも含まれる。
   * 学習コスト: 「士」は画数が少なく、日中双方で馴染みがある。
6. adjutant / 副 /
   * 選定理由: 副官の「副」をそのまま割り当て(「副～」の形で「副隊長」「副司令」なども想起)。
   * 学習コスト: 極めて基本的な漢字の一つで、今後「deput」などにも転用可能(ただし区別は上付き文字等で行う想定)。
7. inkvizici / 审 /
   * 選定理由: 「宗教裁判」→「審問」「審理」を連想させるため「审」を選択。
   * 学習コスト: 「审」は「审判(審判)」「审查(審査)」など非常に基本的で、のちに他語根(inkvizitor, revizor)とも共有可能。
8. inkvizitor / 审 /
   * 選定理由: 上記 inkvizici(宗教裁判)と同様、「審理を行う人」→「审」に紐づけ。
   * 学習コスト: 同じく「审」を再利用して区別は後述の上付き文字等で。
9. inspektor / 查 /

* 選定理由: 「査察官」のイメージ。中国語の「检查(検査)」「巡查(巡察)」などから「查」を選定。
* 学習コスト: 画数も少なく「調査」「検査」等、日中ともに連想しやすい。

1. revizor / 审 /

* 選定理由: 検察官・監査官など「監査・審査」のイメージ→「审」。すでに inkvizici, inkvizitor で使っているため再利用。
* 学習コスト: 同一漢字の使い回しで総学習負担を低減。

1. delegaci / 派 /

* 選定理由: 「代表団を派遣する」「delegationを派遣する」の「派」に着目。動詞的ニュアンス(送り出す)にも合う。
* 学習コスト: 「流派」「派出所」などで目にしやすく、画数も少ない。

1. reprezent / 代 /

* 選定理由: 「代表する」「代理する」の根幹概念を表す漢字として「代」を採用。
* 学習コスト: 非常に基本的。「代理」「代行」「代表」など多くの語で使うため汎用性が高い。

1. deput / 委 /

* 選定理由: 「誰かを議員や代理に任命(委任)する」のニュアンスから「委」を選択。
* 学習コスト: 「委员会(委員会)」「委托(委託)」など馴染みやすい漢字。画数もさほど多くない。

1. notari / 公 /

* 選定理由: 公証人→「公証」の「公」。公的に認める立場を示唆。
* 学習コスト: ごく初歩的な漢字で、日本語の「公」「公共」、中国語の「公共」「公司」(意味は違うが)などで認知度が高い。

1. kurator / 监 /

* 選定理由: 監督・監護するイメージから「监」。中国語の「监护人」「监管」などに対応。
* 学習コスト: (4) eŭnuk の「太监」にも含まれる「监」を単独利用しており、文字数の重複を抑えられる。

1. agent / 代 /

* 選定理由: 「代理人」→「代」を再利用。reprezent(13)とも同一漢字だが、上付き文字等で区別予定。
* 学習コスト: 一度覚えれば「代理」「代行」「取代」など派生も理解しやすい。

1. advokat / 律师 /

* 選定理由: 現代中国語の一般的な「弁護士」の表記。単一漢字で「讼(訟)」等もあるが、意味が狭く通じにくいので2文字熟語を選択。
* 学習コスト: 「律」「师」ともに比較的高頻度かつ他でも応用しやすい(「法律」「老师」など)。

1. asesor / 评 /

* 選定理由: 「陪席判事」や「審査員」のように評価・評定を行う立場。「评」=「評価する」の意。
* 学習コスト: 中国語の「评价」「评估」「评审」などに広く使われるため、覚えやすい。

1. mentor / 导 /

* 選定理由: 若い人を導く指導者 → 「指导」「领导」の「导」。
* 学習コスト: 画数が少なく汎用性も高い(「导游」「引导」「导体」など)。

1. orator / 讲 /

* 選定理由: 演説・スピーチをする人 → 中国語「演讲」「讲话」等で使われる「讲」を採用。
* 学習コスト: 「讲」は「讲课」「讲解」など日常的に頻出するため理解しやすい。

1. profet / 预 /

* 選定理由: 預言者・予言する人 → 「预言」「预报」「预计」等の「预」。
* 学習コスト: 画数も少なく、未来を先取りするイメージが日中で似通っている。

1. ist / 者 /

* 選定理由: 「～する人」「従事者」を表す普遍的接尾辞 → 中国語でも「工作者」「研究者」などの「者」。
* 学習コスト: きわめて基本的な人称表現。さまざまな単語に応用可能。

1. patron / 保 /

* 選定理由: 後援者・保護者 → 「保护(保護)」「保佑(加護)」「保管」など守るイメージが強い「保」。
* 学習コスト: 常用漢字の一つで、日中ともに学習しやすい。

1. anonim / 匿 /

* 選定理由: 「匿名」「隠匿」などで使われる「匿」。匿名性(身元を隠す)のイメージが直接的。
* 学習コスト: 画数はやや多めだが、「匿名(nìmíng)」の「匿」として中国語学習者にも分かりやすい。

1. pseŭdonim / 假 /

* 選定理由: 「仮名」「仮の名」＝「假名」の発想。「假」は「偽」のように「本物でない」意味を持つ。
* 学習コスト: 中国語では「假期(休暇)」「假装(ふりをする)」など使用頻度が高く、単独でも「偽」の概念が分かりやすい。

1. pseŭd / 伪 /

* 選定理由: 「pseŭdo(偽～)」に対応しやすい。中国語「伪造」「伪装」なども頻出。
* 学習コスト: 「伪」は「假」と同様、「偽り」を表す基本的な字として学びやすい。

nom

* + 提案漢字: 名
  + 選定理由: 「名」は「名前」「名称」を表す最も基本的な漢字の一つ。
  + 学習コスト: 画数が少なく、日本人・中国人ともに「名」の意味を直感しやすい。後続でも頻繁に再利用可能。

1. titol
   * 提案漢字: 题
   * 選定理由: 簡体字「题」(旧字体:「題」)は「題名」「題目」「タイトル」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 一般的かつ頻度の高い常用字なので比較的学びやすい。
2. nominal
   * 提案熟語: 名义
   * 選定理由: 「名义」は「名目上の」「表面上の」「名義だけの」を表す常用表現。
   * 学習コスト: 「名」は既出を再利用。「义」はやや新規だが画数少なめで常用字。
3. nominativ
   * 提案熟語: 主格
   * 選定理由: 中国語で文法上の「主格」に相当する。
   * 学習コスト: 「主」は頻出かつ画数が少ない。「格」は新規だが比較的基本的な漢字。
4. fam
   * 提案漢字: 名
   * 選定理由: 「名高い」→中国語でも「名」(有名)のイメージが強いため、同じ「名」を使い回す。
   * 学習コスト: 既に「nom」で用いた「名」を再利用。学習コストを削減。
5. virtuoz
   * 提案熟語: 名人
   * 選定理由: 「名人」は「一流の名手・名士」「名高い人」を示し、virtŭozo(名手)のニュアンスに近い。
   * 学習コスト: 「名」は既出、「人」は画数が少なく最頻字の一つ。
6. reputaci
   * 提案熟語: 名声
   * 選定理由: 「名声」は「評判」「世評」「名誉ある評判」を意味する定番の組み合わせ。
   * 学習コスト: 「名」は既出、「声」は新規だが常用かつ画数も多くない。
7. honor
   * 提案熟語: 名誉
   * 選定理由: 「名誉」は「名」と「誉」で「栄誉」「尊ぶべき称号」のニュアンスが強い。
   * 学習コスト: 「名」は既出、「誉」は新出だが比較的よく見かける常用字。
8. glor
   * 提案熟語: 光荣
   * 選定理由: 中国語で「光荣」は「光(ひかり)」「荣(栄え)」の組み合わせで「栄光」を表す代表的な語。
   * 学習コスト: 「光」は画数が少なく頻出。「荣」はやや新規だが「名誉」「栄光」関連で再利用可能性あり。
9. prelat

* 提案熟語: 主教
* 選定理由: 「高位聖職者(司教・主教・司祭長など)」に相当する中国語として「主教」が代表的。
* 学習コスト: 「主」は既出、「教」は新規だが頻度高め。

1. superlativ

* 提案熟語: 最高级
* 選定理由: 文法用語としての「最上級」は「最高级」がもっとも標準的。
* 学習コスト: 「最」「高」「级」はいずれも常用かつ文法関連でしばしば登場。

1. eminenc

* 提案熟語: 显贵
* 選定理由: 「显贵」は「顕要な地位」「高貴」「非常に身分の高いこと」の意味合い。英語の“Eminence”に相当。
* 学習コスト: 「显」「贵」ともによく使われる語彙(“显示”“贵族”など)で、意味をつかみやすい。

1. moŝt

* 提案熟語: 阁下
* 選定理由: 「~閣下」「~殿下」のうち、中国語では高位者への敬称に「阁下」がよく使われる。
* 学習コスト: 「阁」は新規、「下」は最基礎字の一つ。今後も転用しやすい。

1. ekscelenc

* 提案熟語: 阁下
* 選定理由: 「Excellency」は「阁下」とほぼ同義なので再利用可能。
* 学習コスト: 上記(13)と同じ表現を使いまわすことで学習コスト削減。

1. for/est##

* 提案熟語: 不在
* 選定理由: 「不在」=「いない」「欠席している」。日本語とも意味が近く、分かりやすい。
* 学習コスト: 「不」は後述の否定でも用いる。「在」は新規だが最頻出級の基本漢字。

1. ajn

* 提案熟語: 任何
* 選定理由: 「无论/任何/不管〜」の「どんな〜でも」に相当。最も直接的に「any」を表せる。
* 学習コスト: 「任」「何」はいずれも常用字。

1. nenial

* 提案熟語: 无故
* 選定理由: 「無故に」「理由なく」の意。「无缘无故」の簡略形としても通じる。
* 学習コスト: 「无」は以降も「無〜」系列で多用。「故」は比較的基本的。

1. neniel

* 提案熟語: 绝不
* 選定理由: 「絶対に〜ない」「決して〜ない」の意味に最も近い短い言い方。
* 学習コスト: 「绝」は新規だが「不」は既出。よく使われる表現で覚えやすい。

1. nenies

* 提案熟語: 无主
* 選定理由: 「誰のものでもない」「持ち主のいない」の意味で「无主」は自然。
* 学習コスト: 「无」は再利用、「主」は既出(主格, 主教)。

1. neniu

* 提案熟語: 无人
* 選定理由: 「誰もいない」「人っ子一人いない」の意味。「nobody」に相当。
* 学習コスト: 「无」は再利用、「人」は既出(名人)。

1. neniu##

* 提案熟語: 无人
* 選定理由: 20番と同義なので同じ表現で統一。「どの〜もない」「誰もいない」
* 学習コスト: 重複割当で学習負荷を下げる。

1. sen

* 提案漢字: 无
* 選定理由: 「〜なしで」「〜が無い」の基本イメージ。最短で「無」を表すのに適切。
* 学習コスト: すでに「无」は使っており、更なる学習負担は生じにくい。

1. ne

* 提案漢字: 不
* 選定理由: 中国語の標準的な否定辞。「〜ない」を表す最頻出字。
* 学習コスト: 漢字圏で馴染みやすく、以降何度も使える。

1. neniom

* 提案熟語: 全无
* 選定理由: 「少しも〜ない」「全く(量が)ない」を簡潔に示す言い方。
* 学習コスト: 「全」は新規だが画数少、「无」は再利用。

1. nenia

* 提案熟語: 绝无
* 選定理由: 「どんな種類の〜も全くない」のニュアンス。「绝无〜」で「決して〜ない」。
* 学習コスト: 「绝」は既出、「无」は既出。組み合わせによる再利用でコスト低減。

1. nek

* 提案熟語: 也不
* 選定理由: 「〜も〜ない(neither〜nor〜)」のイメージとして「X也不Y」などで否定併用を表現。
* 学習コスト: 「也」は新規だが画数は3画で少なめ。「不」は既出。

1. nenie

* 提案熟語: 无处
* 選定理由: 「どこにも〜ない」「どこでも存在しない」を指す常用表現。
* 学習コスト: 「无」は再利用、「处」は新規だが5画と比較的覚えやすい。